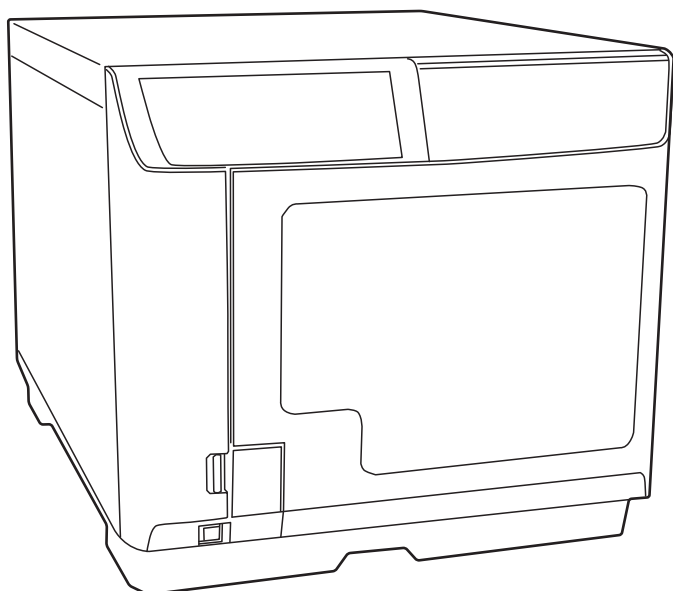
PP-100Ⅱ PP-100 PP-100AP PP-50 ユーザーズガイド for Mac

インストールと設定

本製品に同梱されているソフトウェアのインストールと設定方法を説明します。

ソフトウェアの使い方

ソフトウェアの基本的な使い方を説明します。

ディスクの作成～基本編～

ディスク作成の基本的な操作を説明します。

ディスクの作成～応用編～

ディスク作成の応用的な操作を説明します。

メンテナンス

本製品を最適な状態でご使用いただくためのメンテナンスなどを説明します。

困ったときは

困ったときの対処法を説明します。

付録

本製品で使用できる消耗品、各種サービス・サポート、製品仕様を説明します。

M00050901

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

商標

- Apple、Mac、Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel は Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

掲載画面

本書に掲載する Mac の画面は、特に指定がない限り PP-100 使用時の OS X v10.7 の画面を使用しています。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が用意されています。

Windows OS をお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業、およびソフトウェアのインストールと設定について説明しています。はじめにお読みください。
ユーザーズガイド	本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Dsicproducer Utility & Documents Disc に収録されています。ソフトウェアのインストール後は、スタートメニューから表示させることもできます。

Mac OS をお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業について説明しています。はじめにお読みください。 ※ ソフトウェアのインストールと設定については、ユーザーズガイド for Mac（本書）をご覧ください。
ユーザーズガイド for Mac（本書）	ソフトウェアのインストール、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Dsicproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OS に収録されています。ソフトウェアのインストール後は、[Launchpad]-[EPSON Software]-[EPSON Total Disc Maker] から表示させることもできます。

もくじ

困ったときは................ 103

付録........................ 137

インストールと設定

セットアップ（「スタートアップガイド」参照）が終わったら、本製品を使用するために必要なソフトウェアをパソコンにインストールし、基本的な設定を行います。

ソフトウェアのインストール

インストールを行うと、以下のソフトウェアがインストールされます。

- EPSON Total Disc Utility
  本製品を設定し、本製品の状態をパソコンから確認するためのソフトウェアです。
- EPSON Total Disc Maker
  書き込みデータの編集*、レーベル面の印刷データの編集、および本製品での発行を行うためのソフトフェアです。
- プリンタードライバー

* データの書き込みは PP-100AP では行えません。

注意

- **重要な通知**
  お客様は、このソフトウェアを使用することにより、当社製品を使用することができます。当社製品によりお客様は CD および DVD を複製することができます。お客様が CD および DVD を複製するに際しては、当該 CD および DVD に記録されている著作物につき著作権が存在していないこと、お客様ご自身が著作権を有していること、もしくはお客様が著作権者より当該複製に関する許諾を受けていること、または当該 CD および DVD に記録されている著作物のお客様による複製行為が法令上認められていることのいずれかの条件を満たす必要があります。
  これらの条件を満たさずに行う CD および DVD の複製行為は違法ですので、絶対に行わないでください。
- ソフトウェアは必ず本書の手順説明に従ってインストールしてください。
- Mac の共有設定機能を使って、本製品を共有プリンターとして使用することはできません。
- Mac のファストユーザスイッチ機能を使って、本製品を複数のユーザーで使用することはできません。
- Apple Remote Desktop を使った本製品の動作は保証しません。

ソフトウェアの動作条件

付属のソフトウェアを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は、以下の通りです。

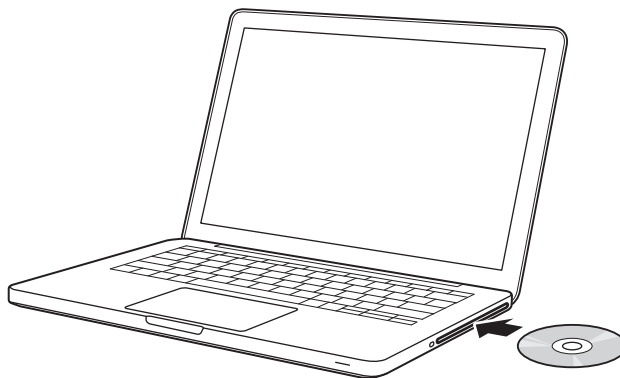
項目		条件
OS（オペレーティングシステム）		• Mac OS X v10.8.2 Mountain Lion • Mac OS X v10.7.5 Lion • Mac OS X v10.6.8 Snow Leopard
CPU	Mac OS X v10.8.2 Mac OS X v10.7.5	Intel 64bit CPU
	Mac OS X v10.6.8	Intel Core Duo 1.83Ghz 以上
メモリー	Mac OS X v10.8.2 Mac OS X v10.7.5	2GB 以上
	Mac OS X v10.6.8	1GB 以上
HDD 空き容量		25GB 以上
HDD 回転数		7200rpm 以上
ディスプレイ		XGA（1024×768 ピクセル）以上 65,536 色以上
インターフェイス		USB 2.0 ただし、以下の条件を満たす必要があります。 • USB 2.0 規格に準拠していること • Hi-Speed USB パフォーマンスを確保していること

注意

- 市販のライティングソフトやウィルスチェックソフトなどがインストールされている環境、および本製品以外の USB 機器が接続されている環境では、本製品が正しく動作しない場合があります。
- コピー元ドライブは、コマンドや動作が MMC4 以上に準拠し、サブチャネルの読み取り可能なドライブを使用してください。（PP-100II/PP-100/PP-50 のみ）

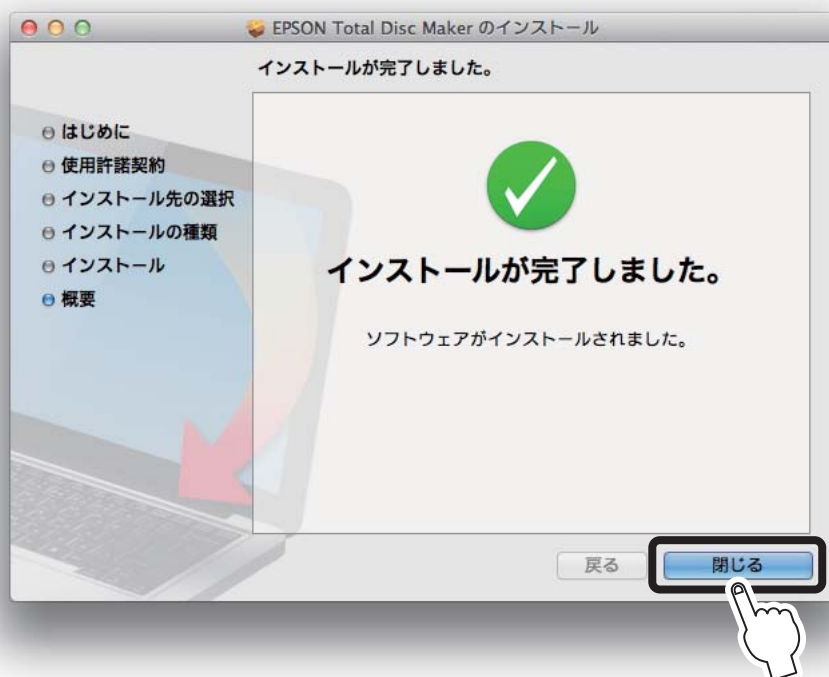
インストール手順

以下の手順でインストールを行います。

1　Mac を起動し、本製品に同梱の「Dsicproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OS」（CD-ROM）をパソコンの光学ドライブにセットします。

2　以下の画面が表示されたら、[EPSONTotalDiscMaker.mpkg] をクリックします。

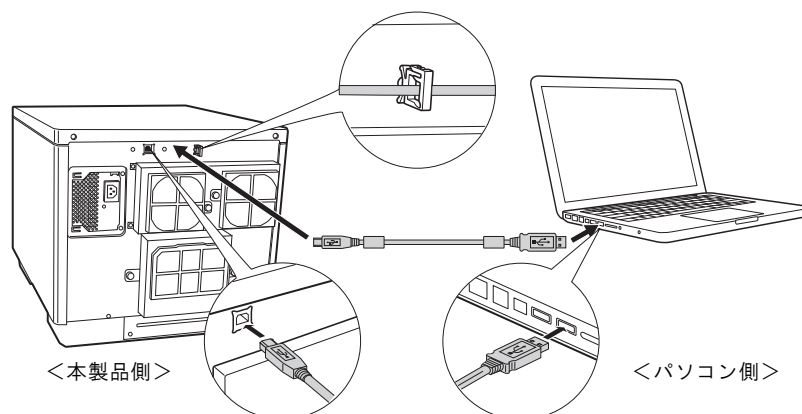
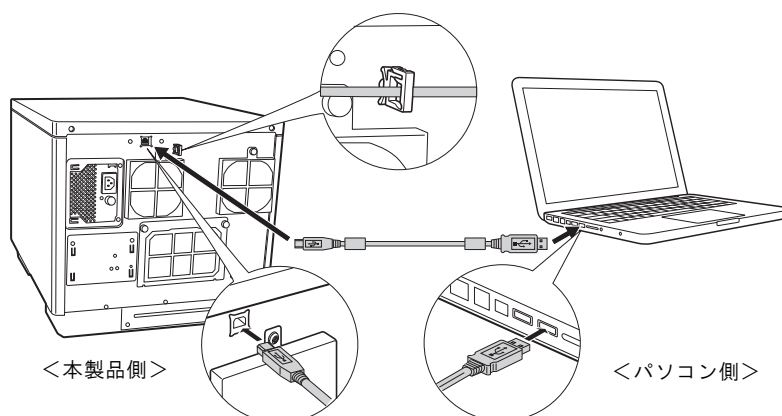
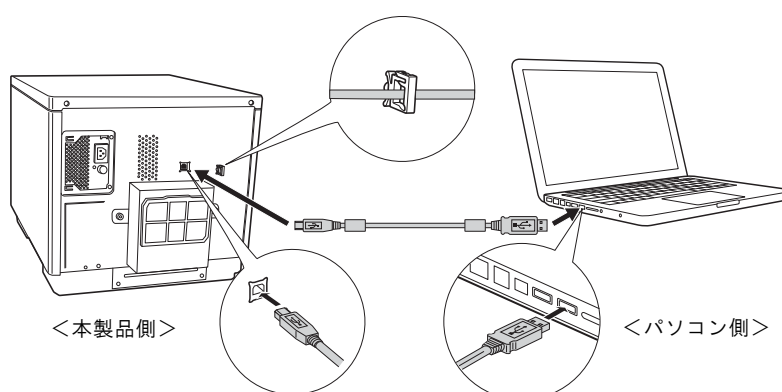
以降は、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

参考	管理者のパスワードを求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

3 インストールの完了画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。

以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。
続けて、パソコンとの接続を行ってください。（本書９ページ「パソコンとの接続」参照）

パソコンとの接続

ソフトウェアのインストールが終わったら、本製品をパソコンに接続します。

USBケーブルで本製品とパソコンを接続し､USBケーブルをインターフェイスケーブル固定サドルに引っ掛けます。USB ケーブルは、奥までしっかりと差し込んでください。パソコン側は USB ケーブルが奥までしっかりと差さらない場合がありますが、突き当たるまで差し込んであれば問題ありません。

注意	USB ケーブルは、USB ハブを中継せずに直接パソコンに接続してください。

パソコンとの接続が終わったら、プリンターの登録を行ってください。（本書 10 ページ「プリンターの登録」参照）

プリンターの登録

ソフトウェアのインストールとパソコンとの接続が終わったら、以下の手順で本製品をパソコンに登録します。

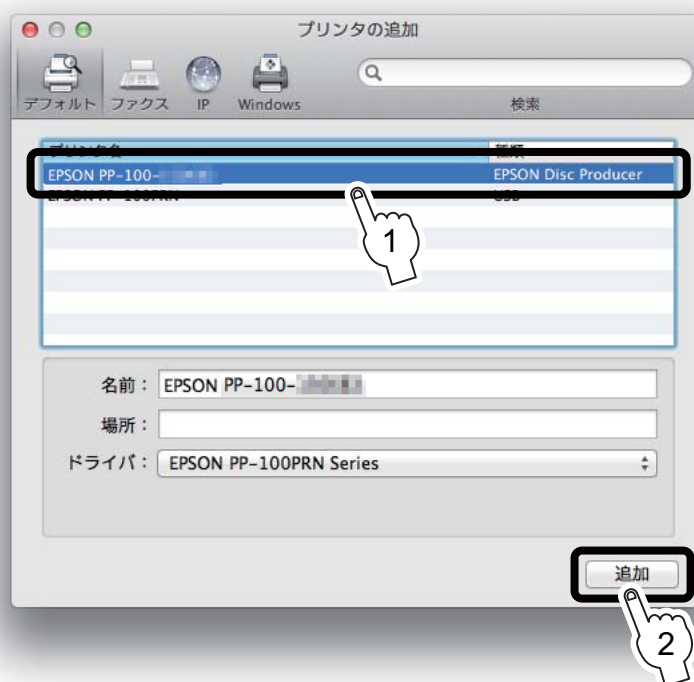
注意	ソフトウェアがインストールされていないと、プリンターは登録できません。

1 本製品の電源をオンにします。
電源をオンにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオン」を参照してください。

2 Dock の [システム環境設定] をクリックします。

3 [ハードウェア] の [プリントとスキャン](Mac OS X v10.6 の場合は [プリントとファックス])をクリックします。

4 [+] をクリックします。

5 EPSON PP-xxx-xxxxxx（種類：EPSON Disc Producer）を選択し、[追加] をクリックします。

参考	EPSON PP-xxx-xxxxxx（種類：EPSON Disc Producer）が表示されていない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていること、本製品とパソコンが接続されていること、本製品の電源がオンになっていることを確認してください。EPSON PP-xxxPRN（種類：USB）は追加できません。

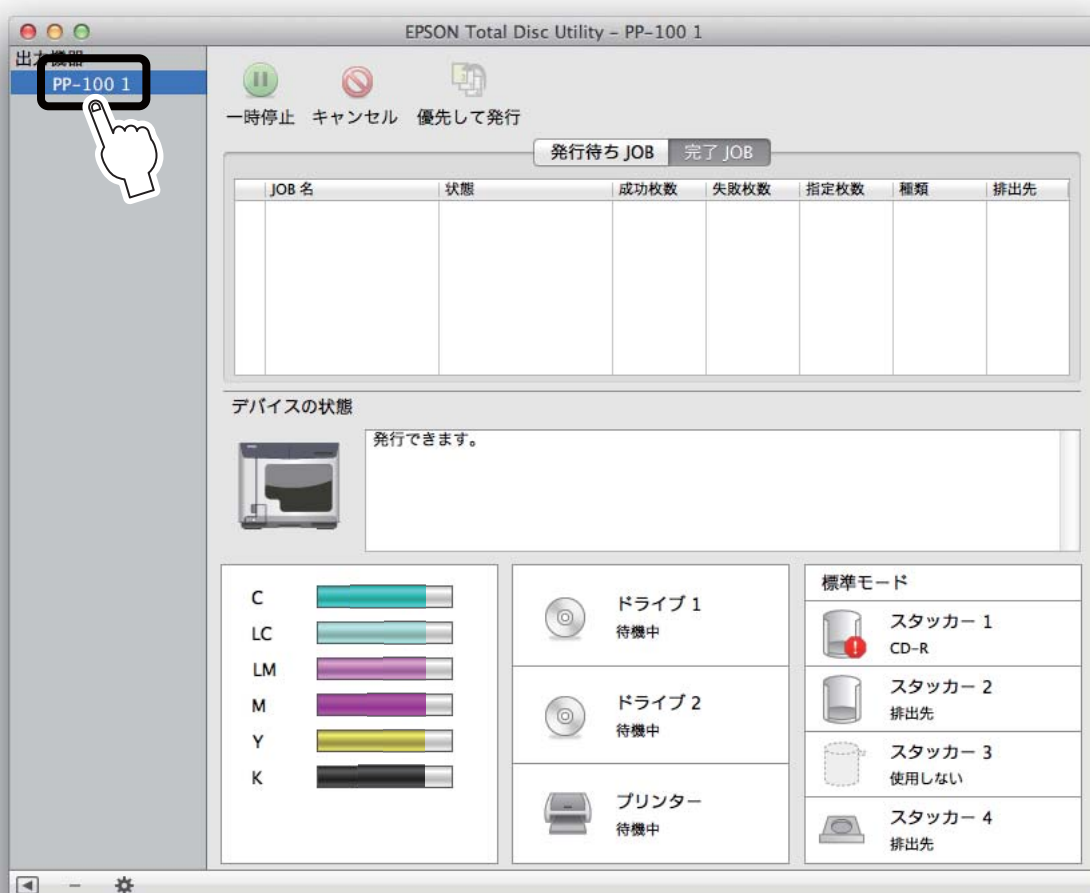
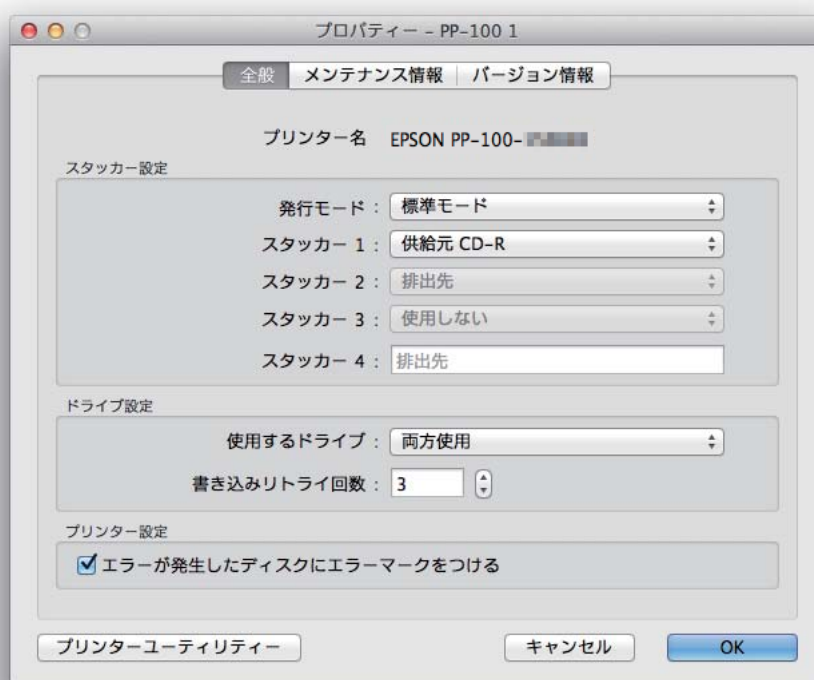
以上で、プリンターの登録は終了です。
続けて、本製品のプロパティー設定を行ってください。（本書 12 ページ「本製品のプロパティー設定」参照）

本製品のプロパティー設定

EPSON Total Disc Utility で、発行モード、ドライブ、プリンターの設定を行います。

1 本製品がパソコンと USB ケーブルで接続され、電源がオンになっていることを確認します。

2 EPSON Total Disc Utility を起動します。
起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

3 本製品を選択し、ダブルクリックします。

［プロパティー］画面が表示されます。

4 発行するディスクの種類や枚数などによって、スタッカー設定を行います。

発行モード

> **参考**
> ディスクの用途や枚数に適した発行モードを選択することで、効率よくディスクを発行することができます。本書 44 ページ「発行モードの選択」を参考に、発行モードを設定してください。

PP-100II、PP-100 または PP-100AP の場合、標準モード、外部排出モード、バッチ処理モードから選択します。工場出荷時には、標準モードに設定されています。
PP-50 の場合、標準モードまたは少量発行モードから選択します。工場出荷時には、少量発行モードに設定されています。

スタッカー1/ スタッカー2(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

スタッカー 1 とスタッカー 2 にセットするディスクの種類を以下から選択します。

- CD-R
- DVD（+R/-R）
- DVD（+R/-R）DL

PP-100II または PP-100 の場合、［発行モード］で［外部排出モード］を選択したときのみ、スタッカー 2 にセットするディスクの種類を選択します。

PP-50 の場合、［発行モード］で［少量発行モード］を選択したときのみ、スタッカー 2 にセットするディスクの種類を選択します。

> **参考**
> - PP-100II または PP-100 でバッチ処理モードを選択した場合、スタッカー2 は、スタッカー1 で選択したディスクの種類が表示されます。
> - PP-50 で標準モードを選択した場合、スタッカー 2 は［排出先］と表示されます。

スタッカー3(PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ)

[発行モード] で [外部排出モード] を選択したときのみ、以下のどちらかを選択します。

- 排出先： 作成済みディスクをスタッカー３に排出したいときに選択します。
- 使用しない： 作成済みディスクをスタッカー４に排出したいときに選択します。

> **参考**
> - 標準モードを選択した場合、スタッカー 3 は [使用しない] と表示されます。
> - バッチ処理モードを選択した場合、スタッカー 3 は [排出先] と表示されます。

5 ドライブ設定を行います。(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

使用するドライブ(PP-100II/PP-100 のみ)

書き込みに使用するドライブを以下から選択します。

項目	説明
両方使用	ドライブ 1 とドライブ 2 の両方を使用し、ディスクを書き込みます。2 台のドライブを使用することにより効率的に処理できます。どちらかのドライブが何らかの原因で書き込みができなくなったときは、自動的に他方のドライブのみを使用します。
ドライブ1のみ使用	ドライブ 1 のみ使用します。
ドライブ2のみ使用	ドライブ 2 のみ使用します。

書き込みリトライ回数

書き込みリトライ回数とは、ディスク書き込みの途中でエラーが発生した場合に書き込みを再度実行する回数のことです。０～９回から選択します。

> **参考**
> 書き込みリトライ回数を設定すると、書き込みの途中でエラーが発生した場合でも、JOB の処理が一時停止することなく再実行されます。

6 プリンター設定を行います。(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

エラーが発生したディスクにエラーマークをつける

このチェックボックスにチェックすると、書き込み時にエラーが発生したディスクにエラーマークが印刷されます。ディスクの発行後、書き込みが正常に行えなかったディスクを区別するのに役立ちます。

PP-100II または PP-100 の場合、エラーディスクが排出されるスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。

- 標準モード： スタッカー４に排出
- 外部排出モード： スタッカー３またはスタッカー４に排出
- バッチ処理モード： スタッカー２またはスタッカー３に排出

PP-50 の場合、エラーディスクは、スタッカー３に排出されます。

> **参考**
> 以下の原因で書き込みができなかった場合は、エラーマークは印刷されません。
> - EPSON Total Disc Utility で JOB をキャンセルしたとき
> - [スタッカー設定] の [スタッカー1]、[スタッカー2] で選択したディスクと異なる種類のディスクを供給元スタッカーにセットしたとき
> - エラーマークを印刷するために必要なインク残量がなかったとき
> - フェイタルエラーのとき

7 ［OK］をクリックします。

以上で、本製品のプロパティー設定は終了です。
続けて、発行時の共通設定を行ってください。（本書 16 ページ「発行時の共通設定」参照）

発行時の共通設定

以下の手順で、作業フォルダーの設定、JOB 終了時の通知設定、書き込み設定を行います。

注意	本設定は、登録されているすべてのパブリッシャー（PP-100II、PP-100、PP-100AP、PP-50）共通に設定されます。

作業フォルダーの設定

以下の手順で、ディスクの発行作業を行うための作業フォルダーをハードディスク上に作成します。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。

起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

2 [ツール] メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。

3 [参照 ...] をクリックし、作業フォルダーを作成する場所を指定します。

注意	十分な空き容量のあるドライブを選択してください。必要なハードディスクの空き容量は、本書 6 ページ「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。

4 [OK] をクリックします。

JOB 終了時の通知設定（PP-100AP のみ）

P-100AP を使用する場合は、JOB の処理が終了したら、ブザーで知らせるように設定できます。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。
起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

2 [ツール] メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。

3 [通知設定] をクリックします。
[通知設定] 画面が表示されます。

4 [通知方法] を設定します。
チェックすると、JOB の処理が終了したことを本製品（PP-100AP）がブザーを鳴らせて知らせます。

5 [JOB 終了時の通知] で、次のどちらかを選択します。

- JOB 終了ごとに通知する：　各 JOB が終了するたびに、ブザーが鳴ります。
- すべての JOB が終了したら通知する：　複数のJOBを実行している場合、すべてのJOBが終了したときに、ブザーが鳴ります。

6 [OK] をクリックします。

書き込み設定(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

PP-100II、PP-100またはPP-50を使用する場合は、以下の手順で、書き込み速度、書き込み確認の設定を行います。

参考	EPSON Total Disc Maker で発行する場合は、発行ビューでも設定を変更することができます。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。

起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

2 [ツール] メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。

3 [書き込み設定] をクリックします。

[書き込み設定] 画面が表示されます。

4 書き込み速度、書き込み確認を設定します。

注意	• 使用するディスクやコンピューターにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。 • 使用するディスクによっては、ディスクの推奨倍速では正しく書き込めない場合があります。その場合は、書き込み速度を落としてください。特に DVD±R DL の場合は、低倍速での書き込みをお勧めします。

参考	[書き込み確認] で [コンペア] に設定すると、データがディスクに正しく書き込まれたかどうかを確認できます。

5 [OK] をクリックします。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアが正常にインストールできなかったときは、ソフトウェアをアンインストール（削除）し、再度インストールを行ってください。

参考	管理者のパスワードを求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

1 本製品の電源をオフにします。
電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了します。

3 Dock の [システム環境設定] をクリックします。

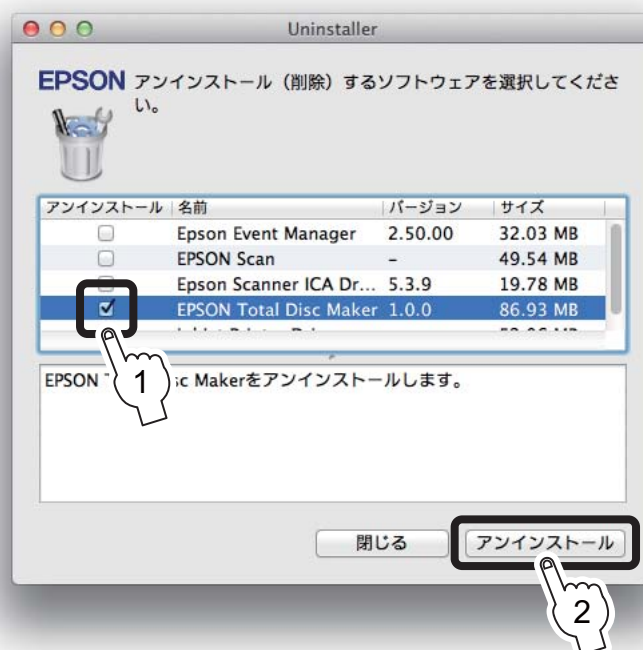
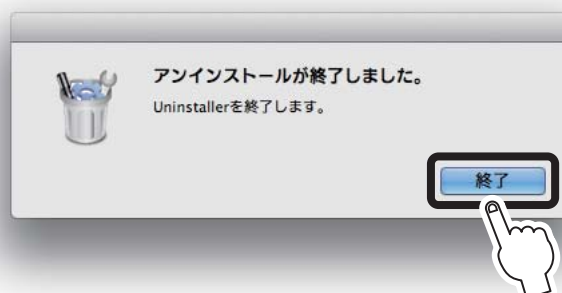
4 [ハードウェア]の [プリントとスキャン](Mac OS X v10.6 の場合は[プリントとファックス]）をクリックします。

5 削除したいプリンターを選択して、[-] をクリックします。

6 確認メッセージが表示されたら、[プリンタを削除] をクリックします。

7 Dock の [Launchpad] をクリックします。

8 [Uninstaller] をクリックします。

9 ［EPSON Total Disc Maker］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

10 アンインストールの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で、ソフトウェアのアンインストールは終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。最新のソフトウェアのご使用をお勧めします。

最新のソフトウェアは、インターネットを使用し、エプソンのホームページの［ダウンロード］からダウンロードしてください。

http://www.epson.jp/

ソフトウェアの使い方

EPSON Total Disc Maker

EPSON Total Disc Maker とは

EPSON Total Disc Maker は、書き込みデータの登録 *、レーベル面の印刷データの編集、および本製品(PP-100II/PP-100/PP-100AP/PP-50)への発行を行うソフトウェアです。

EPSON Total Disc Maker では、本製品へのデータ書き込みとレーベル印刷の実行を「発行」と呼びます。発行することで、本製品が CD または DVD にデータを書き込み *、レーベルを印刷し、ディスクができ上がります。

* データの登録、書き込みは PP-100AP では行えません。

EPSON Total Disc Maker の起動

EPSON Total Disc Maker は、以下の手順で起動します。

1 Dock の [Launchpad] をクリックします。

2 [EPSON Software] をクリックします。

3 [EPSON Total Disc Maker] をクリックします。
EPSON Total Disc Maker が起動します。

参考

[EPSON Total Disc Maker] のアイコンをドラッグして Dock にドロップすると、[EPSON Total Disc Maker] のアイコンが Dock に追加されます。以降は、そのアイコンをクリックすると、EPSON Total Disc Maker が起動します。

EPSON Total Disc Maker ヘルプの表示方法

EPSON Total Disc Maker のヘルプには、EPSON Total Disc Maker の使用方法と仕様が記載されています。
EPSON Total Disc Maker のヘルプは、以下の手順で起動します。

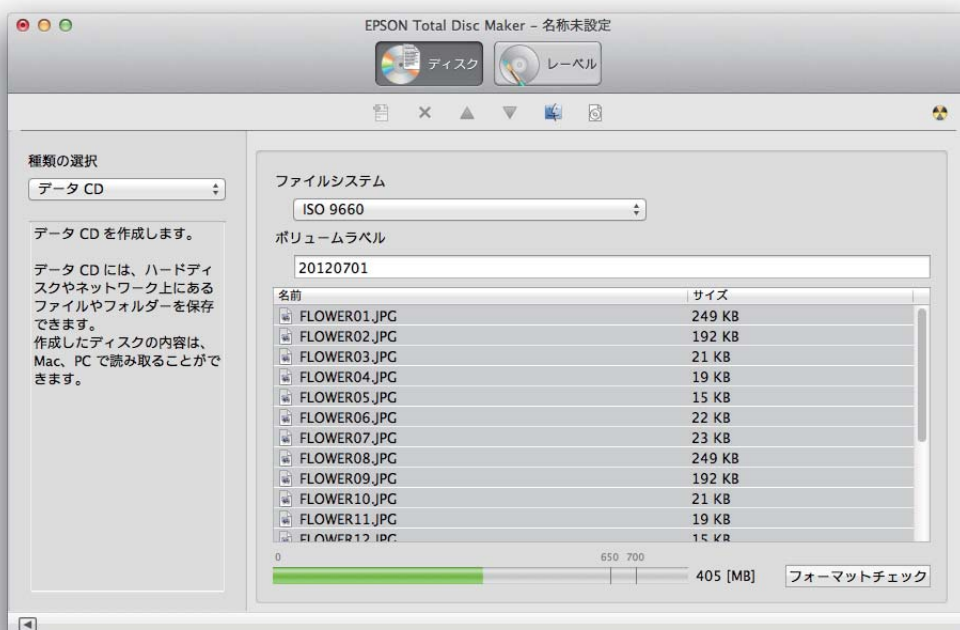
1 EPSON Total Disc Maker を起動します。

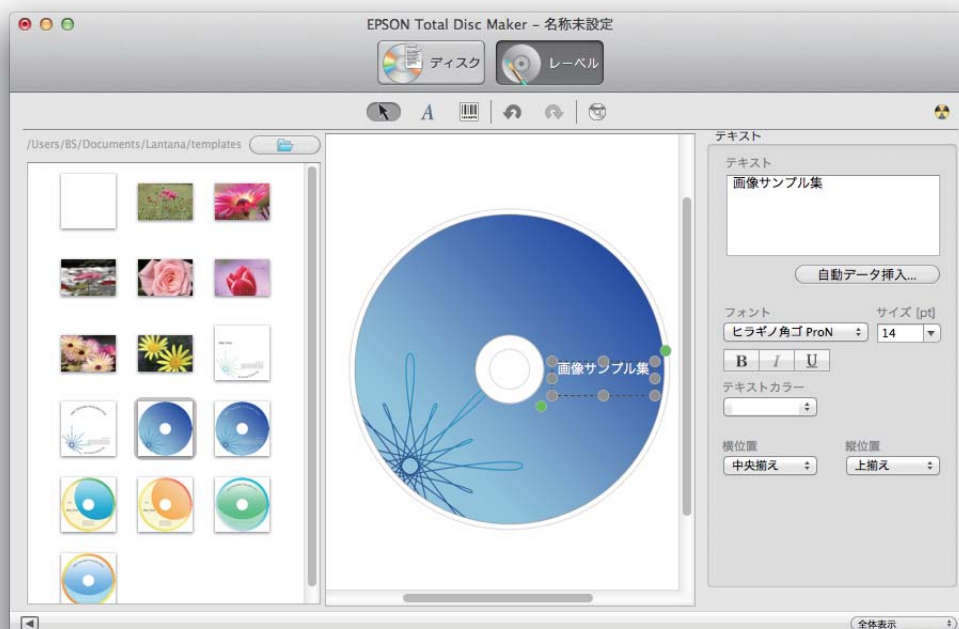
2 [ヘルプ] メニューの [EPSON Total Disc Maker ヘルプ] をクリックします。
EPSON Total Disc Maker のヘルプが表示されます。

EPSON Total Disc Maker の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Maker の画面構成を説明します。
使い方の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

ディスク ビュー

EPSON Total Disc Maker を起動する、またはレーベルビューで [ディスク] をクリックすると、ディスクビューが表示されます。
ディスクビューでは、ディスクに書き込むデータを登録します。ディスクビューは、PP-100AP では使用しません。

レーベル ビュー

ディスクビューで [レーベル] をクリックすると、レーベルビューが表示されます。
レーベルビューでは、ディスクのレーベル面に印刷するデータを編集します。

発行ビュー

ディスクビュー、またはレーベルビューで [発行] をクリックすると、発行ビューが表示されます。
発行ビューでは、書き込むデータとレーベルの印刷データを本製品に発行します。

EPSON Total Disc Utility

EPSON Total Disc Utility とは

EPSON Total Disc Utility は、発行モード、使用するスタッカーやドライブなど、本製品でディスクを発行するための基本的な設定を行うほか、本製品の現在の状態、インク残量、JOB 情報などを表示するソフトウェアです。また、JOB の処理の一時停止 / キャンセルなどの操作や、ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンスも行います。

EPSON Total Disc Utility の起動

EPSON Total Disc Utility は、以下の手順で起動します。

1 Dock の [Launchpad] をクリックします。

2 [EPSON Software] をクリックします。

3 [EPSON Total Disc Utility] をクリックします。
EPSON Total Disc Utility が起動します。

- [EPSON Total Disc Utility] のアイコンをドラッグして Dock にドロップすると、[EPSON Total Disc Utility] のアイコンが Dock に追加されます。以降は、そのアイコンをクリックすると、EPSON Total Disc Maker が起動します。
- EPSON Total Disc Utility は、EPSON Total Disc Maker で [発行] をクリックしても、自動的に起動します。

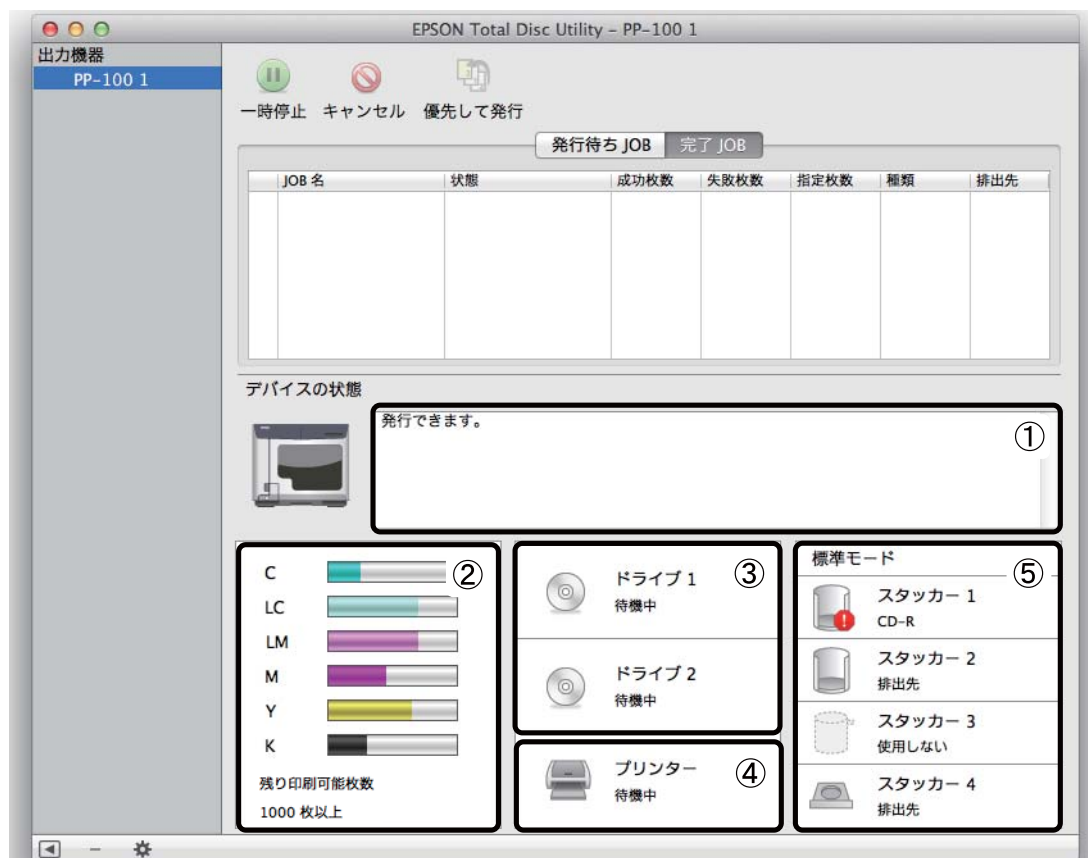
EPSON Total Disc Utility ヘルプの表示方法

EPSON Total Disc Utility のヘルプには、EPSON Total Disc Utility の使用方法と仕様が記載されています。
EPSON Total Disc Utility のヘルプは、以下の手順で起動します。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。

2 [ヘルプ] メニューの [EPSON Total Disc Utility ヘルプ] をクリックします。
EPSON Total Disc Utility のヘルプが表示されます。

EPSON Total Disc Utility の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Utility の画面構成を説明します。
使い方の詳細は、EPSON Total Disc Utility のヘルプを参照してください。

項目		説明
出力機器		機器名をダブルクリックすると、機器のプロパティー画面が表示されます。
[一時停止] / [再開]		選択された JOB を一時停止 / 再開します。
[キャンセル]		選択された JOB をキャンセルします。
[優先して発行]		選択された JOB を優先的に処理します。
①	操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。
②	インクの状態	インクカートリッジ内のインクの残量が目安として表示されます。
③	ドライブの状態 (PP-100II/PP-100/PP-50のみ表示)	ドライブの状態が表示されます。
④	プリンターの状態	プリンターの状態が表示されます。
⑤	スタッカーの状態	発行モードと、スタッカーの状態が表示されます。

参考

残り印刷可能枚数は、前回印刷したレーベルと同じレーベルをあと何枚印刷できるかという目安の値です。印刷データや印刷環境などの影響を受けるため、実際の値とは多少異なります。1000 枚までは「1000 枚以上」と表示され、1000 枚未満になると 10 枚単位で表示されます。

[発行待ち JOB] タブ、または [完了 JOB] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

[発行待ち JOB] 画面

[発行待ち JOB] 画面には、発行待ち、発行中、一時停止中、一時停止処理中、キャンセル処理中、復帰待ち、復帰待ち処理中の JOB の情報が表示されます。

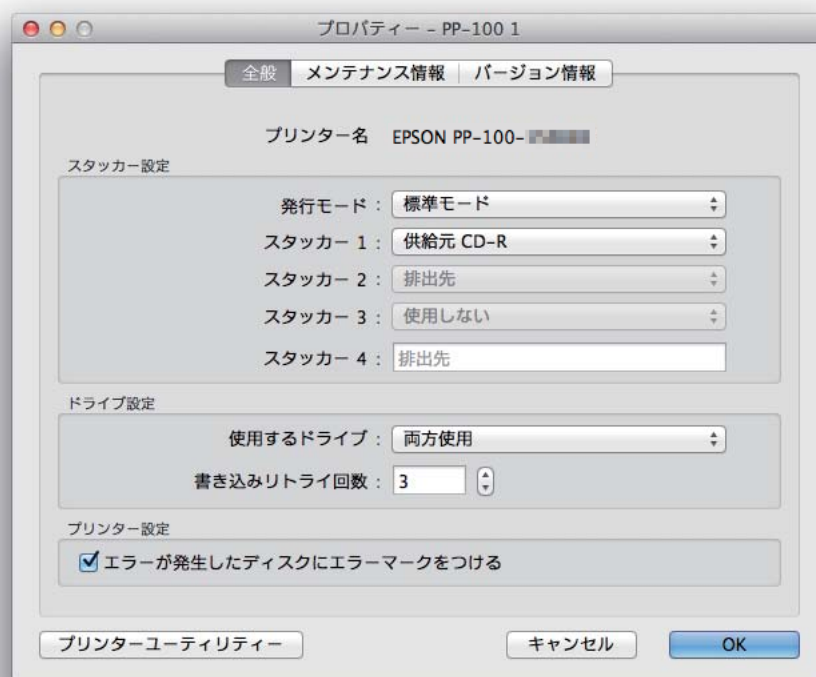
JOB を選択すると、[一時停止]、[再開]、[キャンセル]、および [優先して発行] が選択できます。

[完了 JOB] 画面

[完了 JOB] 画面には、完了、およびキャンセルされた JOB の情報が表示されます。

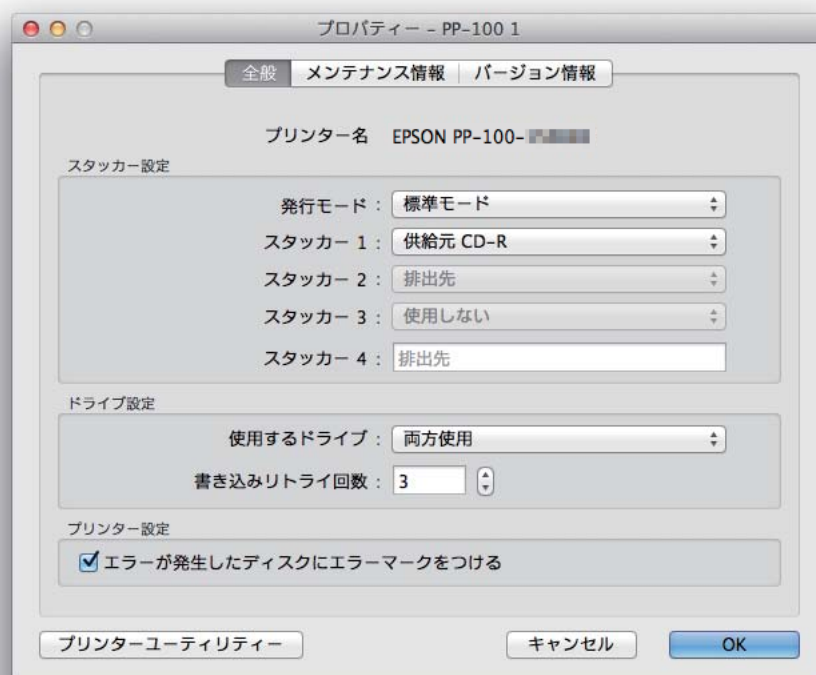
JOB をダブルクリックすると、JOB の詳細情報が表示されます。

[プロパティー] 画面

EPSON Total Disc Utility を起動し、[出力機器] で機器名をダブルクリックする、または [プロパティー] をクリックすると、その機器の [プロパティー] 画面が表示されます。

参考	[プロパティー] 画面は、EPSON Total Disc Maker の発行ビューで をクリックしても表示できます。

[全般] タブ、[メンテナンス情報] タブ、または [バージョン情報] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

また、各タブの [プリンターユーティリティー] をクリックすると、[ユーティリティー] 画面が表示されます。

［全般］画面

項目	説明
スタッカー設定	発行モード、スタッカーにセットするディスクの種類、排出先を設定します。
ドライブ設定 (PP-100II/PP-100/PP-50のみ表示)	使用するドライブ（PP-100II/PP-100 のみ表示）と、書き込みエラーが発生したときに書き込みを再試行する回数を設定します。
プリンター設定 (PP-100II/PP-100/PP-50のみ表示)	発行中にエラーが発生したディスクにエラーマークを印刷するかどうかを設定します。

[メンテナンス情報] 画面

項目	説明
総発行枚数 （PP-100II のみ表示）	現在までに発行（書き込み / 印刷）したディスクの累計枚数が表示されます。
印刷枚数	現在までに印刷したディスクの累計枚数が表示されます。
メンテナンスボックス空き容量 （PP-100II/PP-100AP のみ表示）	メンテナンスボックスの空き容量が 0 ～ 100% で表示されます。
ドライブ1寿命 / ドライブ2寿命 （PP-100II/PP-100 のみ表示）	ドライブ 1 とドライブ 2 の寿命が表示されます。100%に近くなると交換時期です。
ドライブ寿命 （PP-50 のみ表示）	ドライブの寿命が表示されます。100%に近くなると交換時期です。

[バージョン情報] 画面

項目	説明
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号が表示されます。
オートローダー	本製品に内蔵されているオートローダーのファームウェアのバージョンが表示されます。
プリンター	本製品に内蔵されているプリンターのファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ 1/ ドライブ 2 （PP-100II/PP-100 のみ表示）	本製品に搭載されているドライブ 1 とドライブ 2 のファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ （PP-50 のみ表示）	本製品に搭載されているドライブのファームウェアのバージョンが表示されます。

[プリンターユーティリティー] 画面

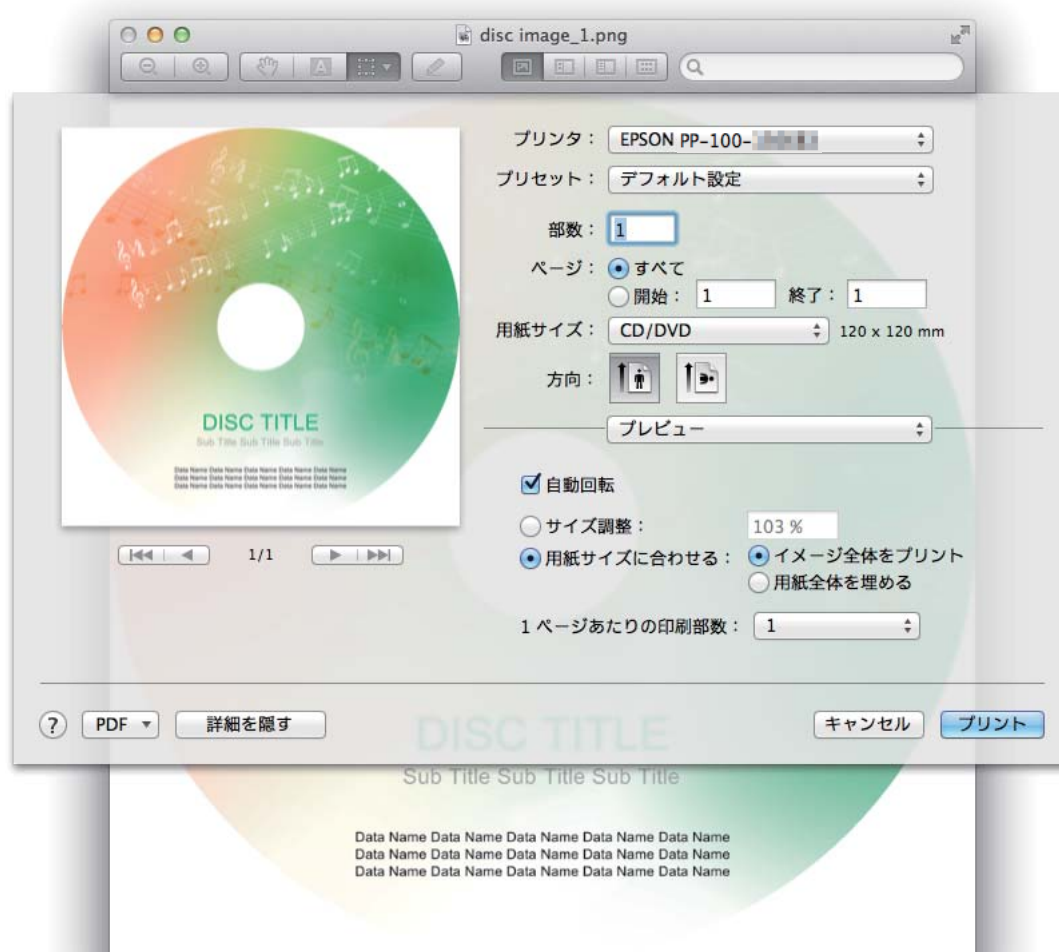
項目	説明
ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。印刷されたパターンを確認することで、プリントヘッドが目詰まりしていないかを確認できます。 操作手順は、本書 77 ページ「ノズルチェック」を参照してください。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドを清掃します。プリントヘッドが目詰まりしているときに実行します。 操作手順は、本書 80 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。
ギャップ調整	双方向印刷で、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になったりするときに、ギャップ（ズレ）を調整します。 操作手順は、本書 82 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
印刷位置補正	上下左右方向の印刷位置を補正できます。レーベルの印刷結果を確認し、印刷位置がずれているときに実行します。 操作手順は、本書 85 ページ「印刷位置補正」を参照してください。

プリンタードライバー

プリンタードライバーとは

プリンタードライバーは、EPSON Total Disc Maker 以外のアプリケーションで発行するときに、発行に必要な設定を行うソフトウェアです。

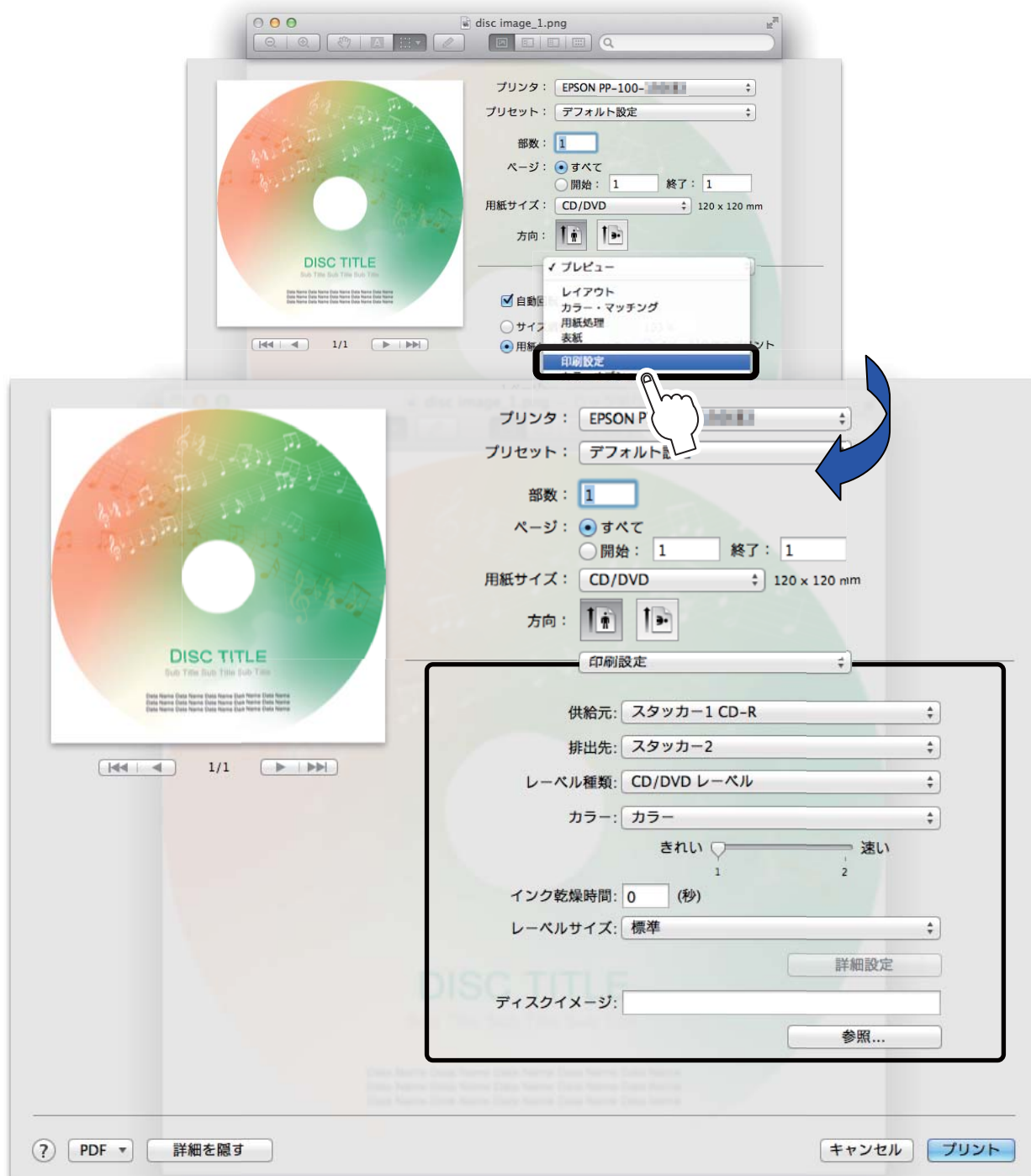
プリンタードライバーの表示方法

プリンタードライバーの設定画面は、アプリケーションの [ファイル] メニューの [プリント ...] から表示します。

プリンタードライバーの画面構成

> **注意**　各設定終了後、［プリセット］で現在の設定をプリセットとして保存することができます。ただし、プリセット保存時の発行モードが現在の発行モードと異なる場合は、発行モードによってはプリセットの設定が反映されない項目があります。

［印刷設定］エリア

［印刷設定］エリアでは、レーベル印刷の基本的な設定と、ディスクイメージからのデータの書き込み設定を行います。

プリンタードライバーを表示させ、［印刷設定］を選択すると、［印刷設定］エリアが表示されます。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">供給元</td><td>書き込み/印刷を行うディスクがセットされているスタッカーを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">排出先</td><td>作成済みディスクを排出するスタッカーを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">レーベル種類</td><td>印刷するディスクのレーベル種類を選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">カラー</td><td>カラー印刷するときは [カラー] を、モノクロ印刷するときは [黒] を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きれい / 速い</td><td>PP-100II/PP-100/PP-50 の場合</td><td>1：印刷品質を優先して印刷します。
2：印刷速度を優先して印刷します。</td></tr>
<tr><td>PP-100AP の場合</td><td>1：印刷品質を優先して印刷します。
2：印刷速度を優先して印刷します。
3：[2] に比べて、さらに印刷速度を優先して印刷します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">インク乾燥時間</td><td>レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させる時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">レーベルサイズ</td><td>レーベルサイズを以下から選択します。
• 標準タイプ：外径 116.0mm、内径 45.0mm
• ワイドタイプ：外径 116.0mm、内径 25.5mm
• ユーザー定義レーベルサイズ：任意のサイズを設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクイメージ
(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)</td><td>データの書き込みを同時に行う場合、ディスクイメージファイルを指定します。</td></tr>
</table>

注意

- EPSON 認定 CD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [CD/DVD レーベル] を選択してください。
- EPSON 認定 DVD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [高画質対応 CD/DVD レーベル] を選択してください。
- [レーベル種類] で「EPSON 認定 CD/DVD レーベル」を選択したときは、[きれい / 速い] は [1] に設定されます。
- ユーザー定義サイズの設定方法は、本書 67 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」を参照してください。

［カラーオプション］エリア

［カラーオプション］エリアでは、印刷データの色を調整できます。
プリンタードライバーを表示させ､［カラーオプション］を選択すると､［カラーオプション］エリアが表示されます。

参考

- 印刷時に色調整を加えるだけで、データそのものの色調整は行いません。
- ［印刷設定］エリアで､［カラー］を［黒］に設定すると､ガンマ､明度､コントラストの調整だけが行えます。

[色補正なし] を選択すると、色調整を行いません。

[マニュアル色補正] を選択すると、以下の設定に従い、印刷色のバランスを整えます。

項目		説明
色補正方法	自然な色あい	プリンタードライバーの標準的な色補正で印刷します。より自然な発色状態になるように色処理を行います。
	あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。
	EPSON 基準色	エプソンの基準色になるように色処理を行います。(sRGBで処理します。)
	Adobe RGB	より広い色空間の Adobe RGB で色処理を行います。Adobe RGB のカラースペース情報を持った印刷データの印刷時などに選択します。
ガンマ	2.2	1.8 に設定したときと比べて、柔らかい感じの画像で印刷されます。
	1.8	CD/DVD パブリッシャーでのレーベル印刷に合った調整が行われます。
	1.5	sRGBに対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合の設定に最適な値で印刷します。
詳細設定	明度	画像全体の明るさを調整します。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
	コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、プラス（＋）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。
	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、プラス（＋）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
	シアン	- 設定：赤色が強くなります。 + 設定：青緑（シアン）が強くなります。
	マゼンダ	- 設定：緑色が強くなります。 + 設定：赤紫（マゼンダ）が強くなります。
	イエロー	- 設定：青色が強くなります。 + 設定：黄色（イエロー）が強くなります。

ディスクの作成～基本編～

使用できるディスクの種類

印刷できるディスクの種類と、書き込み * できるディスクの種類は異なります。本製品で印刷と書き込み * の両方を行うときは、両方に対応するディスクを使用してください。

* データの書き込みは PP-100AP では行えません。

印刷できるディスクの種類

印刷できるディスクの種類は、レーベル面がインクジェット方式カラープリンターでの印刷に対応している *12cm サイズの CD/DVD です。

* ディスクの取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンター対応」などと表記されているもの

注意

- 本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには、対応していません。
- EPSON 認定 CD/DVD 以外の光沢ディスクには、対応していません。
- 80mm サイズのディスクには対応していません。
- レンズクリーナー、レーベルシールやラベルシールを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- ひび割れや変形補修したディスクは使用しないでください。製品内部で飛び散り、故障や、ディスク取り出し時のけがの原因となるおそれがあります。
- ディスクによっては、印刷直後にディスクを重ねるとインクが記録面に付着する場合があります。不要なディスクを使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- ディスクによっては、印刷位置がずれる場合があります。ギャップ調整、および印刷位置補正を行ってください。ギャップ調整および印刷位置補正の詳細は、本書 82 ページ「ギャップ調整」、本書 85 ページ「印刷位置補正」を参照してください。
- スタックリング（同心円状の突起形状）が小さいディスクを使用すると、印刷前後でディスク同士が貼り付く可能性があります。
- 同一製品のディスクに同じデータを印刷しても、各ディスクの個体差（ばらつき）により、印刷結果が同じにならない場合があります。

参考

ディスクの品質が印刷品質に影響することがあります。EPSON 認定 CD/DVD のご使用をお勧めします。EPSON 認定 CD/DVD の詳細は、本書 145 ページ「EPSON 認定ディスク」を参照してください。

書き込みできるディスクの種類

PP-100II、PP-100 または PP-50 で書き込みできるディスクの種類は、以下の通りです。

種類	容量	特徴
CD-R	650MB/700MB	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。
DVD-R	4.7GB(片面 1 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 DVD フォーラムで策定された規格の DVD です。
DVD+R	4.7GB(片面 1 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 DVD+RW アライアンスで策定された規格の DVD です。
DVD-R DL	8.5GB(片面 2 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。片面に 2 層記録が可能です。容量が大きく、長時間または高画質の映像も記録できます。 DVD フォーラムで策定された規格の DVD です。
DVD+R DL	8.5GB(片面 2 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。片面に 2 層記録が可能です。容量が大きく、長時間または高画質の映像も記録できます。 DVD+RW アライアンスで策定された規格の DVD です。

注意

- 80mm サイズのディスクには対応していません。
- レンズクリーナー、ディスクレーベルシールやラベルを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- ひび割れや変形補修したディスクは使用しないでください。製品内部で飛び散り、故障や、ディスク取り出し時のけがの原因となるおそれがあります。
- ディスクのわずかなキズや汚れによって、正常に書き込み（読み込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
- 使用するディスクによっては、ディスクの推奨倍速では正しく書き込めない場合があります。その場合は、書き込み速度を落としてください。特に DVD±R DL の場合は、低倍速での書き込みをお勧めします。

参考

- ディスクの品質が書き込み品質に影響することがあります。EPSON 認定 CD/DVD のご使用をお勧めします。EPSON 認定 CD/DVD の詳細は、本書 145 ページ「EPSON 認定ディスク」を参照してください。
- 書き込みできるディスクの種類の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

ディスクの取り扱い

使用上の注意

注意

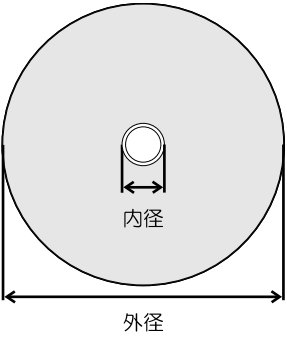
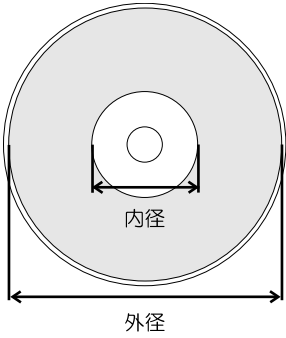
- ディスクを持つときは、記録面を触らないようにしてください。
- レーベル面および記録面に指紋、汚れ、ホコリ、水滴、キズなどが付かないよう、大切にお取り扱いください。付着したホコリ、汚れ等は柔らかい乾いた布や市販の CD クリーナーで軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。
- ディスクを落下させたり、衝撃を与えないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- 粘着性のあるシールを貼らないでください。書き込み、印刷、および再生ができなくなる可能性があります。
- ゴミやホコリの多いところでは、使用しないでください。
- 書き込みと印刷を別々に行う場合、書き込みをしてから、印刷することをお勧めします。
- ディスクを積み重ねた状態で放置すると、ディスク同士が貼り付く場合があります。
- 印刷直後に印刷面に直接手で触れたり、水滴が付くと、にじむ場合があります。
- 印刷後は、印刷面を十分に乾かしてください。ただし、ドライヤー等を使用せず、自然乾燥させてください。
- 文字の書き込みは印刷面にのみ可能です。その場合は、フェルトペン等の先の柔らかい筆記具を使用し、ボールペンや鉛筆等の先の固い筆記具は使用しないでください。また、一度記入した文字は消さないでください。
- 本製品で印刷したディスクは、オートローディング機構や直径 33mm 以上の保持機構を持つドライブ機器、車載ドライブ機器で使用しないでください。また、機器内に長期間放置しないでください。
- 作成したディスクは、ドライブ・プレーヤーとの相性により、認識されない場合があります。

保管時の注意

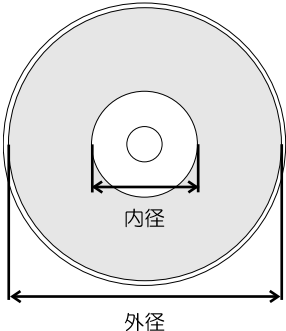
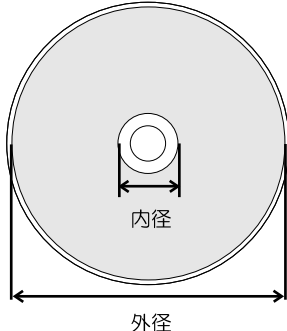
注意

- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、高温多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露する場合があります。
- 上に物を置かないでください。
- 保管の際は、ディスクケースに入れ、印刷面にフィルムやカードなどが接触しないようにご注意ください。印刷面にキズが付く場合があります。
- 軟質系ケースおよび袋等、印刷面に直接触れるものに保管しないでください。ディスクが貼り付いたり、色のむらや変色が起こる場合があります。
- 印刷面の一部だけを覆った状態で保管しないでください。色のむらや変色が起こる場合があります。
- 重要なデータは万一に備えてバックアップ（複製）を行ってください。また、長期間保存するときは、定期的にバックアップすることをお勧めします。

参考

その他のディスクの取り扱い方法や注意事項については、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

印刷可能領域

印刷可能領域とは、レーベル面の印刷できる領域です。

印刷可能領域と印刷推奨領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

注意

- 印刷推奨領域外に印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ / 乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。
- 使用するディスクのレーベル印刷範囲（受容層）外に印刷をした場合、印刷範囲外のインクは定着しません。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。

印刷可能領域		印刷推奨領域	
内径	外径	内径	外径
18.0mm	119.4mm	45.0mm	116.0mm

印刷領域の設定

［標準］、［ワイドタイプ］から選択するか、任意のサイズ（ユーザー定義レーベルサイズ）を設定できます。
［標準］と［ワイドタイプ］の印刷領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

標準		ワイドタイプ	
内径	外径	内径	外径
45.0mm	116.0mm	25.5mm	116.0mm

注意

- 設定した印刷領域が、使用するディスクの印刷領域を超えていないか確認して印刷してください。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、発色が均一にならない可能性があります。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、印刷後にインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。

参考

- ユーザー定義サイズの設定方法は、本書 67 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」を参照してください。
- EPSON Total Disc Maker 以外のアプリケーションで発行するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。
  ＊ 用紙サイズ：124×124mm
  ＊ 上下左右の余白：2mm

EPSON Total Disc Makr で発行する場合と、その他のアプリケーションで発行する場合では、印刷領域の設定方法は異なります。

EPSON Total Disc Maker で発行する場合

EPSON Total Disc Maker のレーベルビューで ［内径・外径の設定］をクリックすると表示されるダイアログで、設定します。

その他のアプリケーションで発行する場合

プリンタードライバーの［印刷設定］エリアの［レーベルサイズ］で設定します。

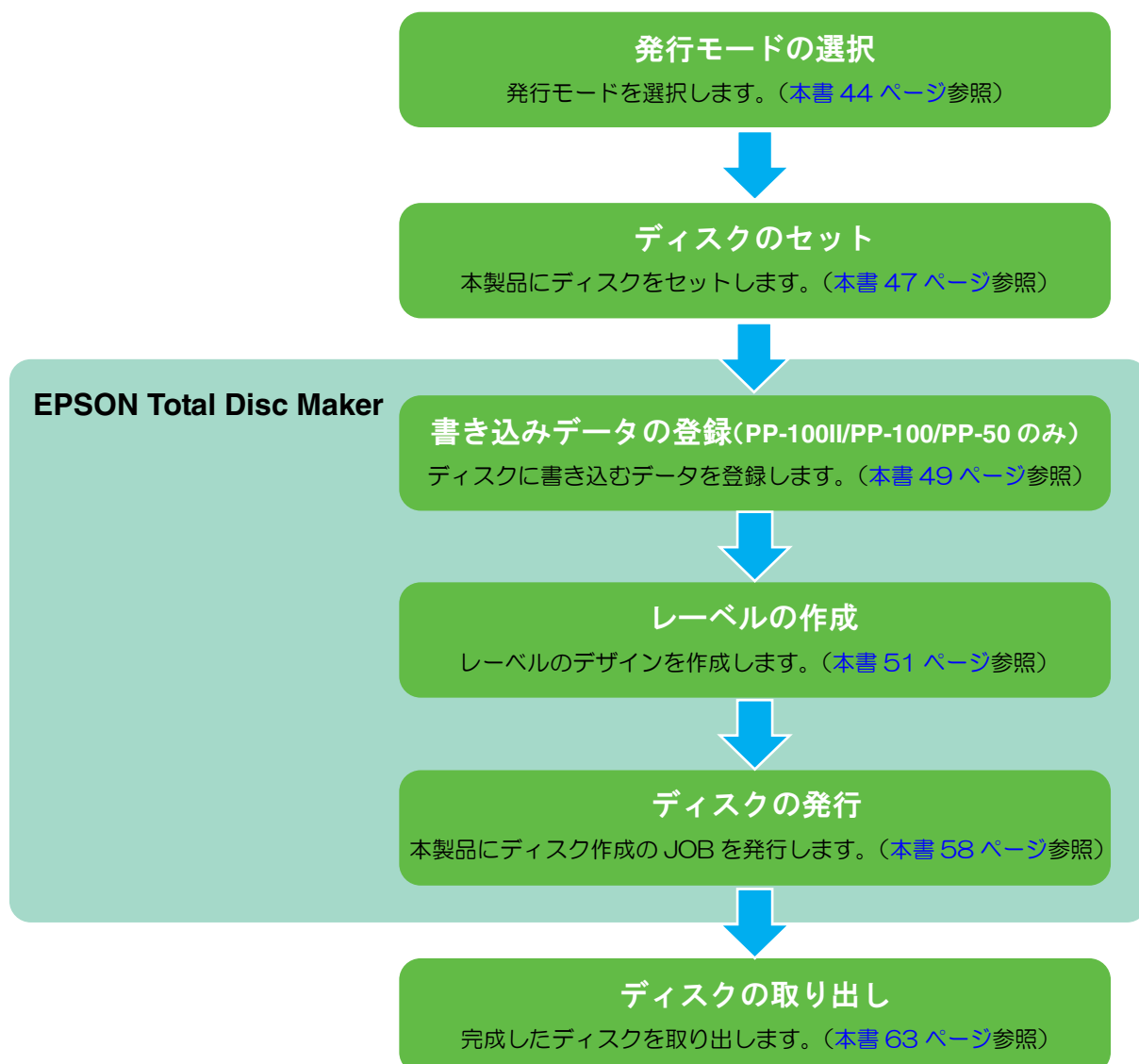
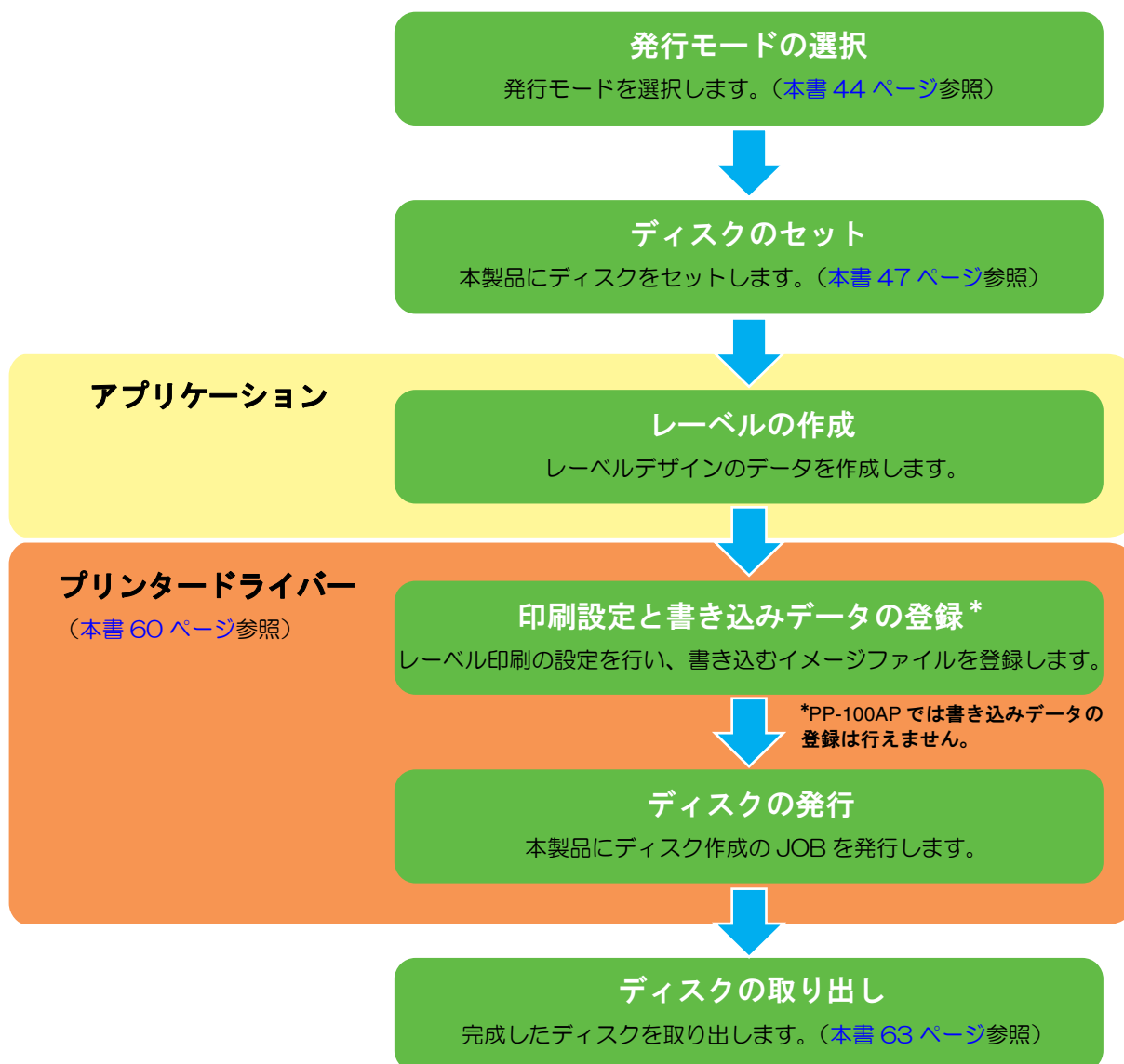
ディスク作成の流れ

本製品でディスクを作成する手順を説明します。

EPSON Total Disc Maker でディスク発行を行う場合と、その他のアプリケーションでディスク発行を行う場合では、ディスク作成の手順が異なります。

注意

- 大量のディスクを発行するときは、最初にディスクを 1 枚発行して、書き込み結果、印刷結果を確認してください。
- 本製品を初めて使用する場合、長期保管後に使用する場合、およびエラー発生後に使用する場合は、まれにドット抜けやインク汚れが発生し、印刷品質が低下する可能性があります。複数枚のディスクを発行するときは、あらかじめ 1 枚発行し、ドット抜けが発生していないか確認してください。ドット抜けが発生した場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 79 ページ「ヘッドクリーニング」を参照してください。
- 書き込みと印刷を別々に行う場合、書き込みをしてから、印刷することをお勧めします。印刷してから書き込みを行うと、インクによりディスク同士が貼り付いてディスクを搬送できなかったり、ゴミや汚れやキズにより書き込み時にエラーが発生したりすることがあります。

EPSON Total Disc Maker で発行する場合

その他のアプリケーションで発行する場合

参考

PP-100II、PP-100 または PP-50 の場合、印刷設定でイメージファイルを指定すると、レーベル印刷と同時にデータの書き込みも行えます。設定方法は、本書 32 ページ「[印刷設定] エリア」を参照してください。

発行モードの選択

ディスクの用途や枚数に適したモードを選択することで、効率よくディスクを発行することができます。

続く説明を参考にして発行モードを選び、必要に応じて、本製品のプロパティー設定で発行モードを変更してください。変更方法は、本書 12 ページ「本製品のプロパティー設定」を参照してください。

参考	EPSON Total Disc Maker からディスクを発行する場合は、発行ビューでも設定を変更できます。

PP-100II、PP-100、PP-100AP には、3 つの発行モード（標準モード、外部排出モード、バッチ処理モード）、PP-50 には 2 つの発行モード（少量発行モードと標準モード）があります。

PP-100II/PP-100/PP-100AP

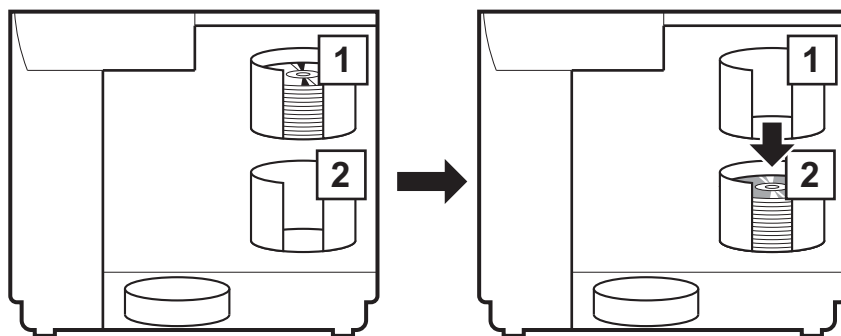
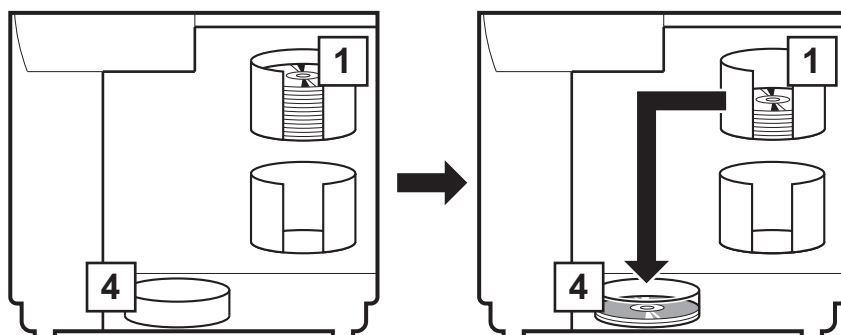
■ 50 枚までの同じディスクを一度に作成したいとき・・・標準モード

排出先は、スタッカー 2 またはスタッカー 4 から選択できます。

排出先にスタッカー 2 を選択すると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出したりすることなく、最大 50 枚のディスクを発行できます。

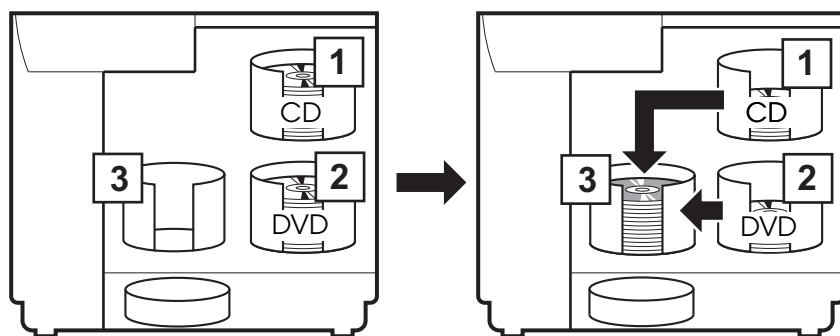
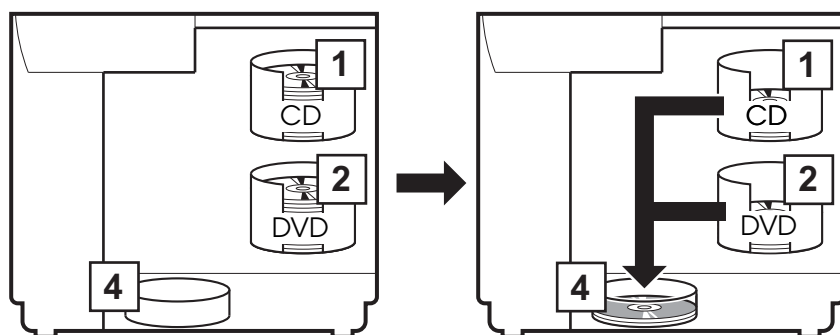
排出先にスタッカー 4 を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出しながら、最大 50 枚のディスクを発行できます。

ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。

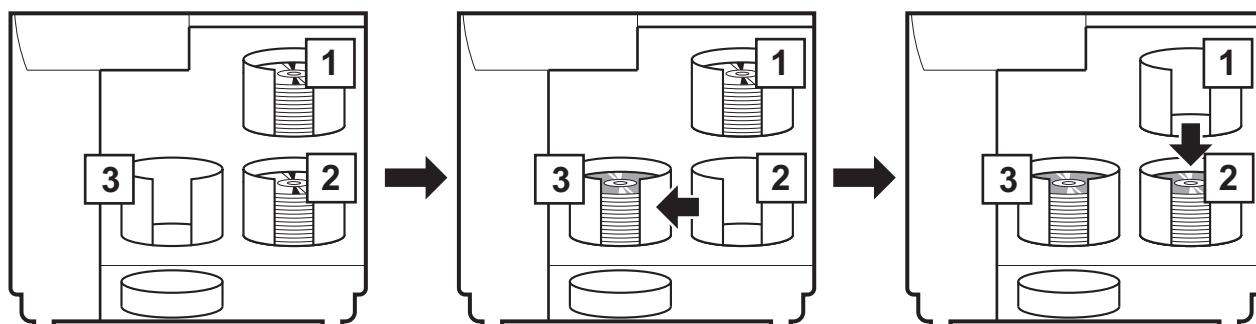
- 排出先にスタッカー 2 を選択した場合

- 排出先にスタッカー 4 を選択した場合

■ディスク入れ替えの手間を省いて、2 種類のディスク（例えば CD と DVD）を発行したいとき・・・外部排出モード

スタッカー 1 とスタッカー 2 に種類の違うディスクをセットし、必要に応じてスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、必要なディスクを発行できます。

排出先は、スタッカー 3 またはスタッカー 4 から選択できます。排出先にスタッカー 4 を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出せます。

- 排出先にスタッカー 3 を選択した場合

- 排出先にスタッカー 4 を選択した場合

■できるだけ手間をかけずに大量のディスクを作成したいとき・・・バッチ処理モード

スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクを 50 枚ずつセットすると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出したりすることなく、同じディスクを 100 枚連続で発行できます。

ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。

参考

バッチ処理モードでディスクを発行した場合、スタッカー 2 にセットしたディスクの枚数と、スタッカー 3 に排出されたディスクの枚数は必ずしも一致しません。また、50 枚にならないことがあります。このことは、スタッカー 2 に排出されたディスクも同様です。

バッチ処理モードでは、スタッカー 3 に排出されて積み上げられたディスクの高さが最大値に達したとき、排出先をスタッカー 2 に切り替えます。したがって、使用するディスクの厚みによって、スタッカーに排出される枚数が異なります。

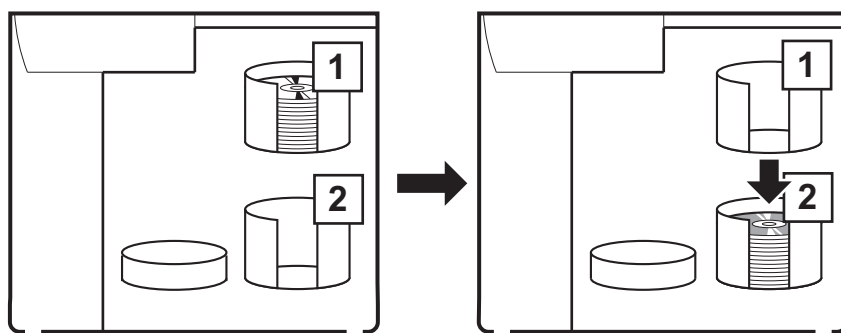
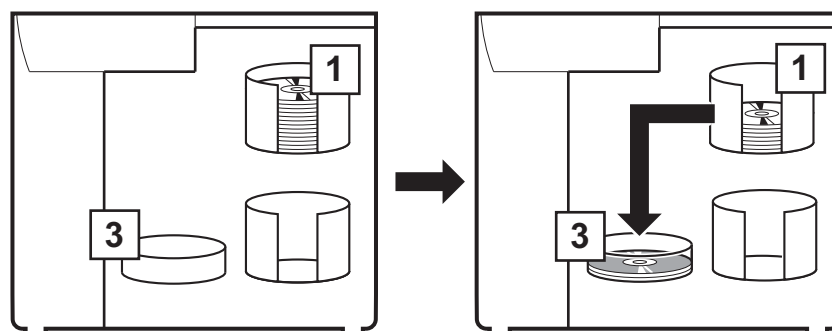
PP-50

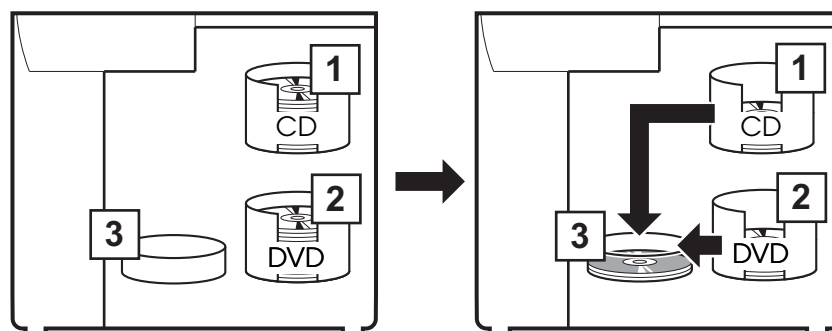
■ 50 枚までの同じディスクを一度に作成したいとき・・・標準モード

排出先は、スタッカー 2 またはスタッカー 3 から選択できます。

排出先にスタッカー 2 を選択すると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出したりすることなく、最大 50 枚のディスクを発行できます。

ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。

- 排出先にスタッカー 2 を選択した場合

- 排出先にスタッカー 3 を選択した場合

■ディスク入れ替えの手間を省いて、2 種類のディスク（例えば CD と DVD）を発行したいとき・・・少量発行モード

スタッカー 1 とスタッカー 2 に種類の違うディスクをセットし、必要に応じてスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、必要なディスクを発行できます。発行したディスクは、スタッカー 3 に排出されます。

ディスクのセット

以下の手順で、発行モードに合ったスタッカーにディスクを入れ、スタッカーをセットします。

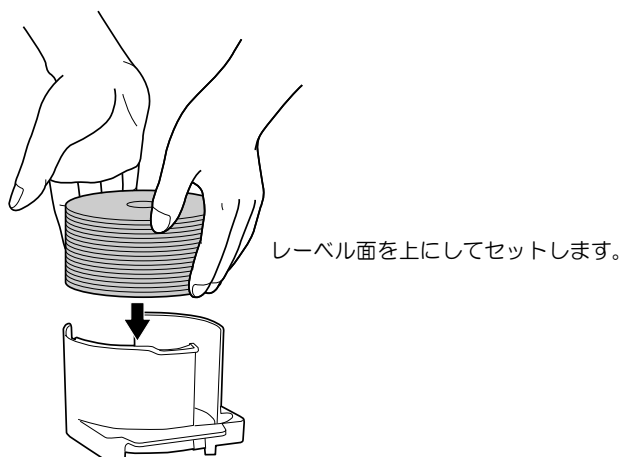
> **注意**
> ディスクは、スタッカーにセットします。ドライブやプリンターにセットしないでください。
> また、PP-100II または PP-100 を使用する場合、ドライブ 1 とドライブ 2 の間にディスクを入れないでください。取り出せなくなるおそれがあります。

1 ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらします。

> **注意**
> - ディスクにキズが付かないように十分注意してください。
> - スタッカーにセットして長時間が経過すると、ばらしたディスクが再度貼り付く可能性があります。スタッカーにセットして長時間が経過した場合は、ディスクを再度ばらしてください。

2 ディスクカバーを開けます。

ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。

3 供給元スタッカーを取り出し、ディスクをセットします。

> **注意**
> - スタッカーの赤い線を超えてディスクをセットしないでください。本製品が故障したり、ディスクが破損したりするおそれがあります。
> - スタッカーの底が汚れていないことを確認し、ディスクをセットしてください。

供給元として使用するスタッカーは、機種および発行モードによって異なります。下表で供給元スタッカーを確認してください。

<PP-100II/PP-100/PP-100AP の場合>

発行モード	供給元	ディスク枚数
標準モード	スタッカー 1	約 50 枚まで
外部排出モード （スタッカー 1 とスタッカー 2 で、異なる種類のディスクをセット可）	スタッカー 1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで
バッチ処理モード	スタッカー 1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで

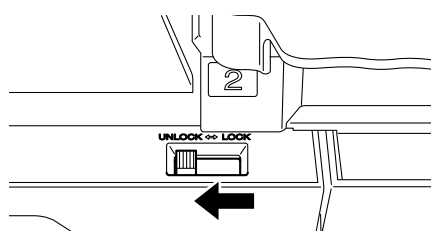
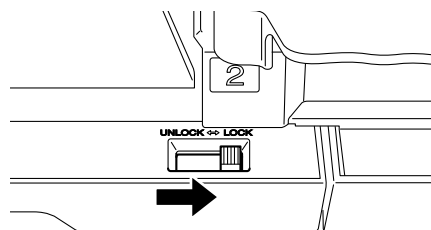
<PP-50 の場合 >

発行モード	供給元	ディスク枚数
標準モード	スタッカー1	約 50 枚まで
少量発行モード （スタッカー1 とスタッカー 2 で、異なる種類のディスクをセット可）	スタッカー1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで

4 スタッカーを取り付け、ディスクカバーを閉じます。

注意

PP-100II、PP-100、PP-100AP の場合

- 標準モードまたは外部排出モードで排出先をスタッカー 4 に設定している場合、スタッカー 3 を取り外し、ロックレバーを [UNLOCK] にしてください。

- バッチ処理モード、または外部排出モードで排出先をスタッカー 3 に設定している場合
  * スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
  * スタッカー3 を取り付け、ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー4 を引き出さないでください。

書き込みデータの登録(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

ここでは、EPSON Total Disc Maker のディスクビューで、書き込むデータを登録する手順を説明します。

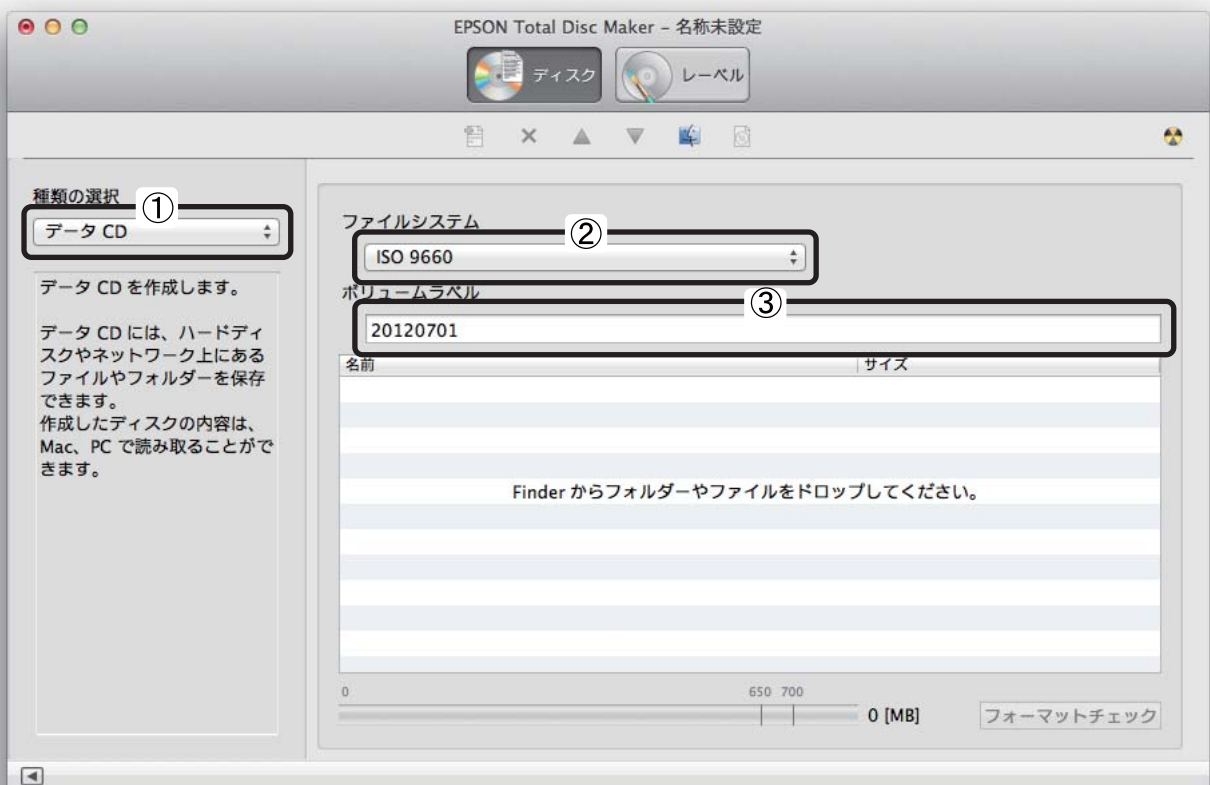
参考

- レーベル印刷だけを行いたい場合は、書き込みデータの登録は必要ありません。
- パソコンのドライブにセットした CD/DVD から直接コピーディスクを作成する場合、書き込みデータの登録方法は、本書 68 ページ「ディスクから直接コピーを作成する」を参照してください。
- ディスクイメージファイルを使用してコピーディスクを作成する場合、書き込みデータの登録方法は、本書 70 ページ「ディスクイメージファイルからコピーを作成する」を参照してください。
- EPSON Total Disc Maker の詳細は、本書 21 ページ「EPSON Total Disc Maker」、または EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

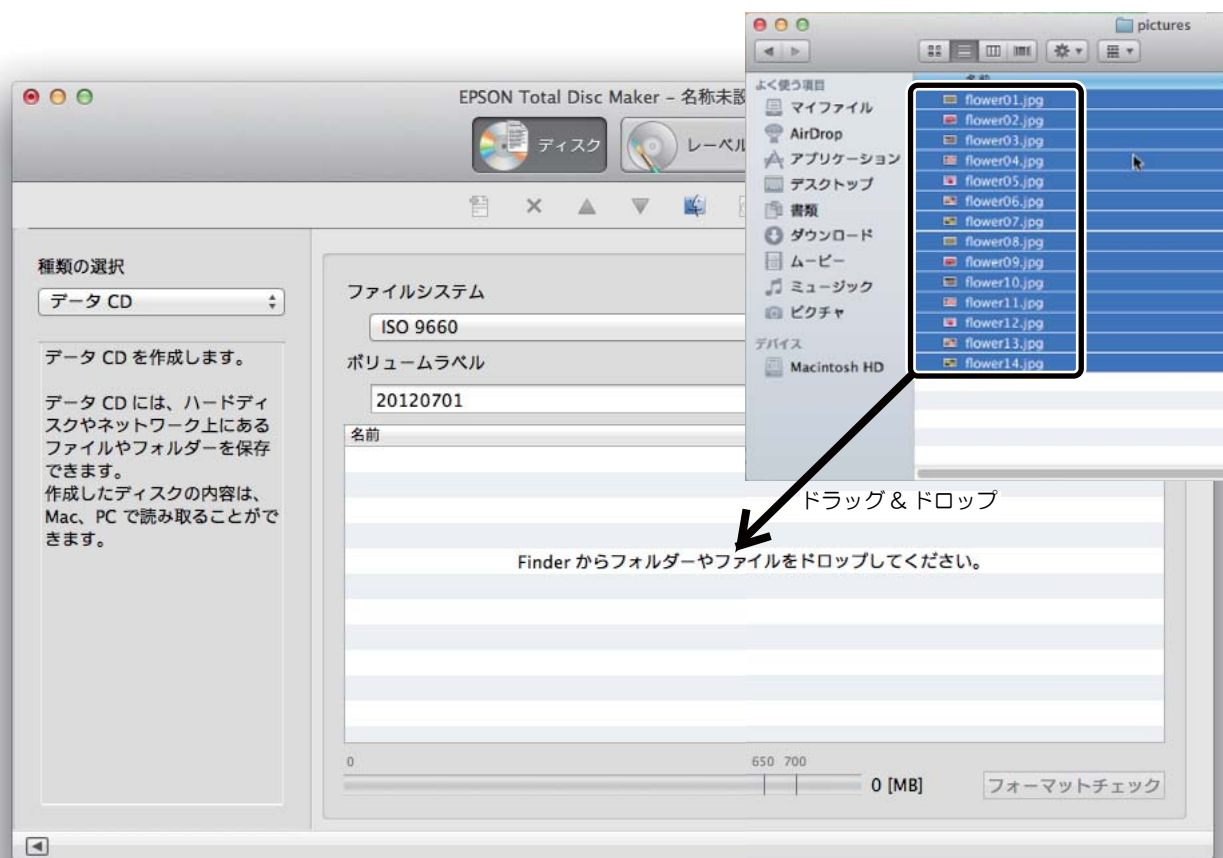
ここでは、写真データの CD を作成する手順を例に説明します。

1 EPSON Total Disc Maker のディスクビューを表示させせます。

表示方法は、本書 22 ページ「ディスク ビュー」を参照してください。

2 各設定を行います。

① [種類] を選択します。
② [ファイルシステム] を選択します。
③ 任意の [ボリュームラベル] を入力します。

3 [Finder を開く ...] をクリックします。

4 ディスクに書き込むデータを、Finder からドラッグ & ドロップします。

ドラッグ & ドロップしたデータがデータリストに表示されます。

参考

- 登録したデータが選択したファイルシステムの制限範囲外のときは、[ファイルシステム制限] ダイアログが表示されます。ファイルシステム制限の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプをご覧ください。
- データの登録後、[ファイル] メニューの [ディスクイメージを作成] をクリックすると、ディスクイメージファイルを作成することができます。ディスクイメージファイルを作成しておくと、同じデータを書き込んだディスクが簡単に作成できます。詳細は、本書 70 ページ「ディスクイメージファイルからコピーを作成する」を参照してください。

以上で、書き込みデータの登録は終了です。

レーベルの作成

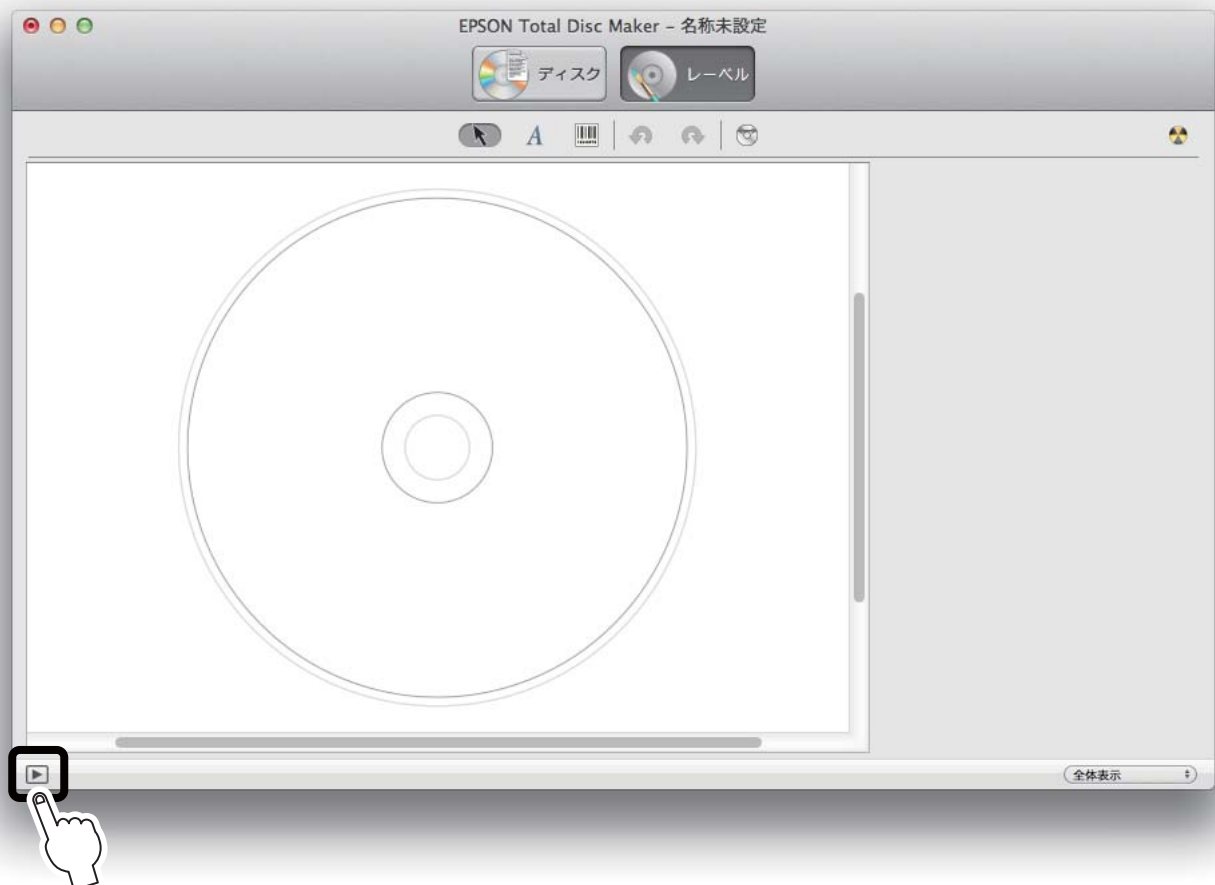
ここでは、EPSON Total Disc Maker のレーベルビューで、レーベルのデザインを作成する手順を説明します。
レーベルビューでは、レーベルの印刷結果のイメージが表示されます。印刷結果のイメージを確認しながら、レーベルを編集できます。

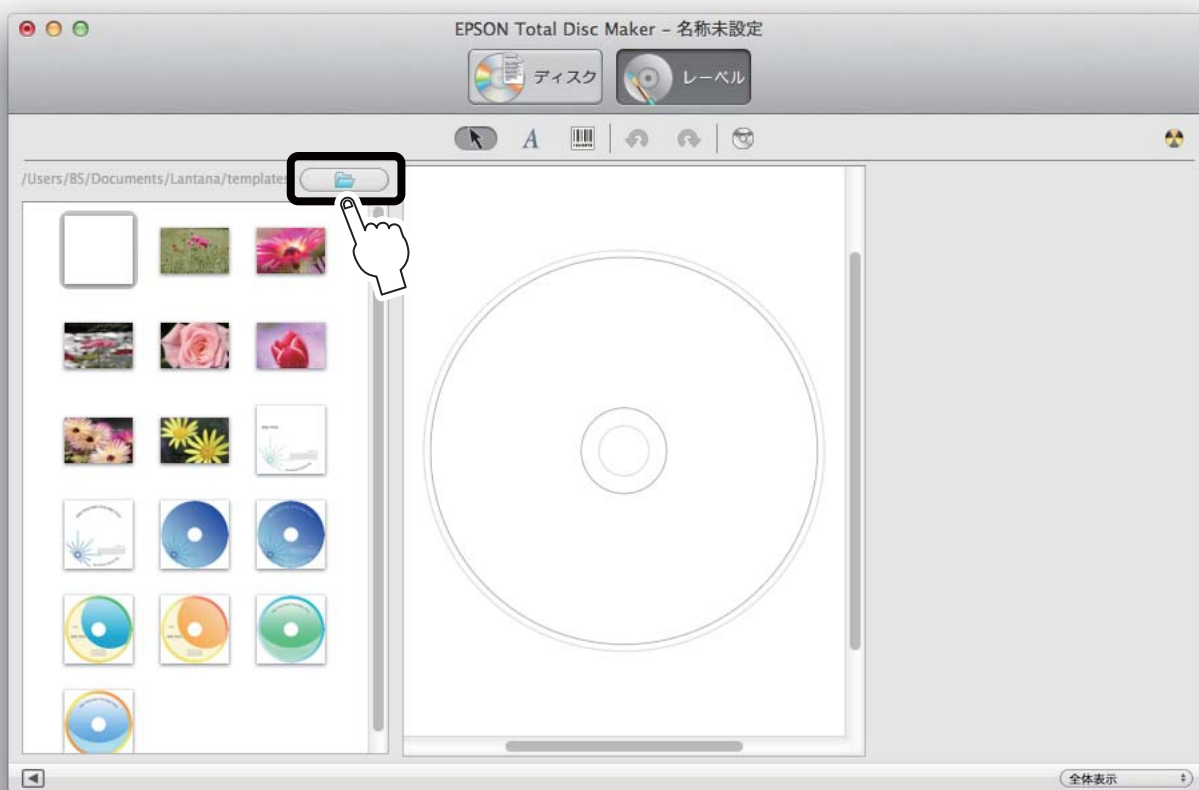
参考
- データ書き込みだけを行いたい場合は、レーベルの作成は必要ありません。
- EPSON Total Disc Maker の詳細は、本書 21 ページ「EPSON Total Disc Maker」、または EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

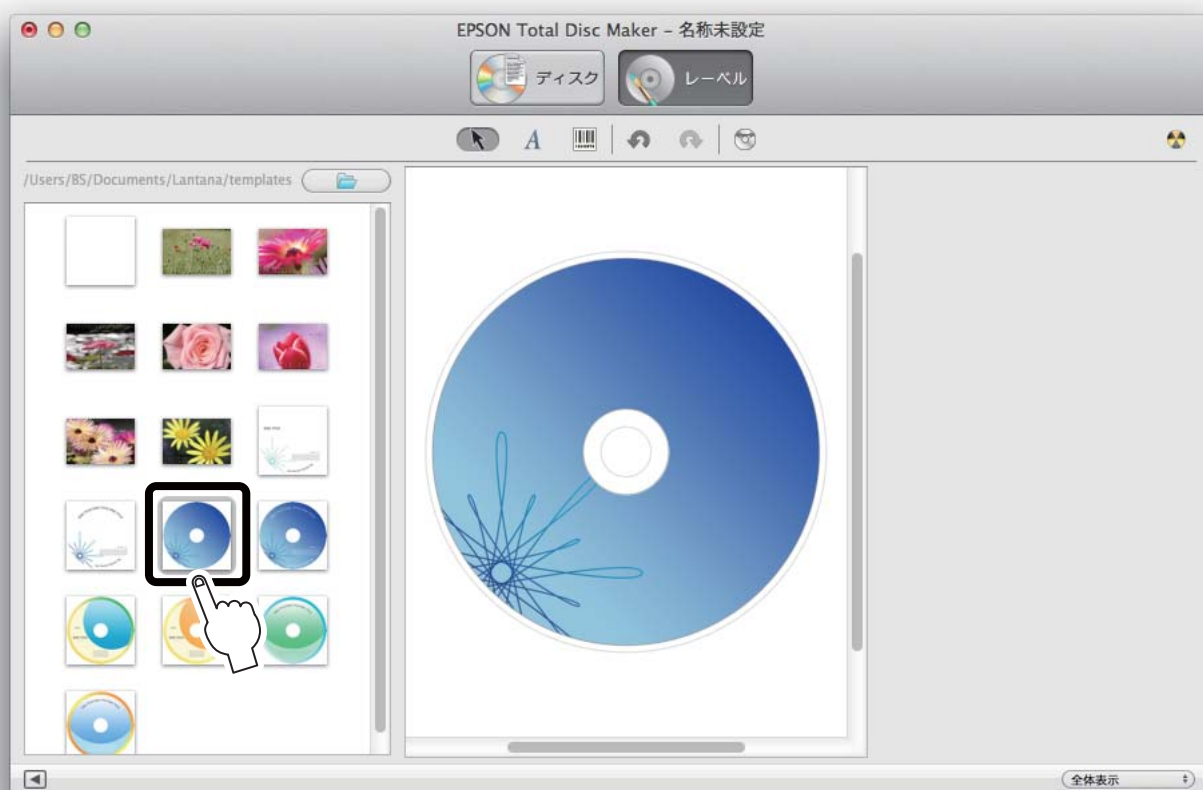
背景の選択

あらかじめ用意した画像から、好きなものをレーベルの背景として挿入することができます。

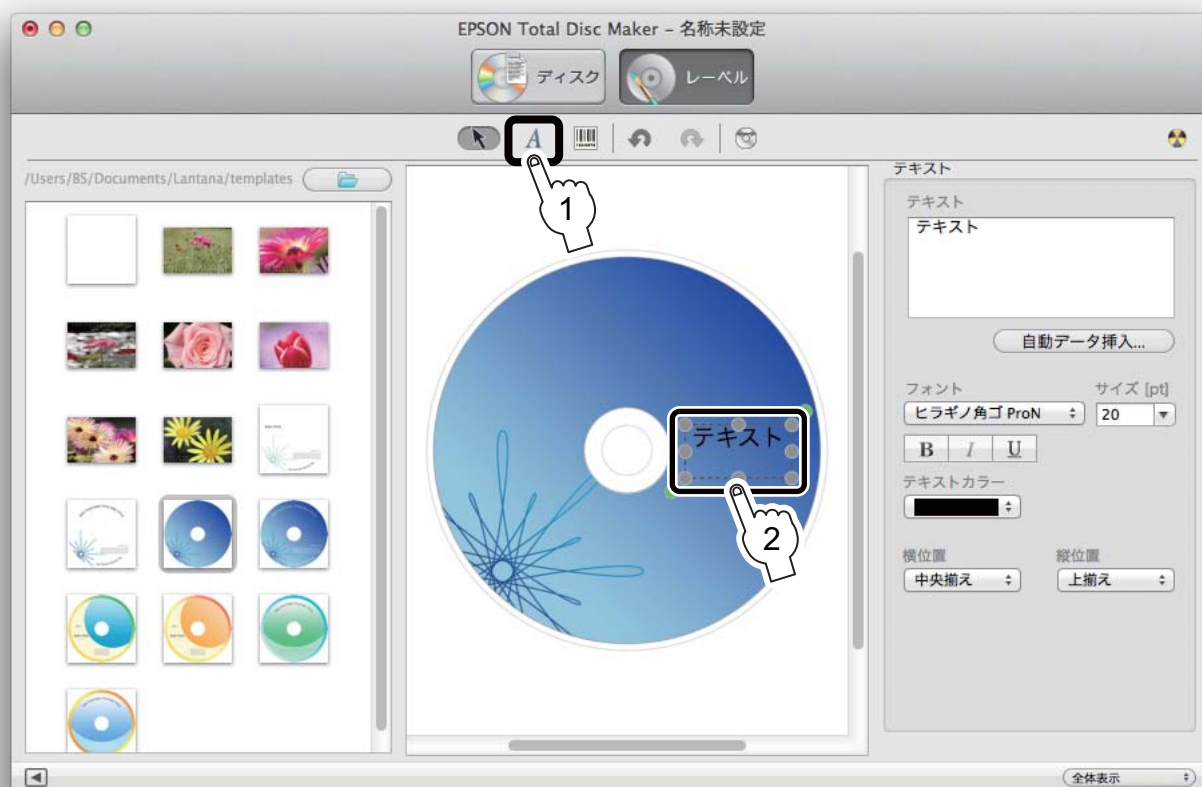
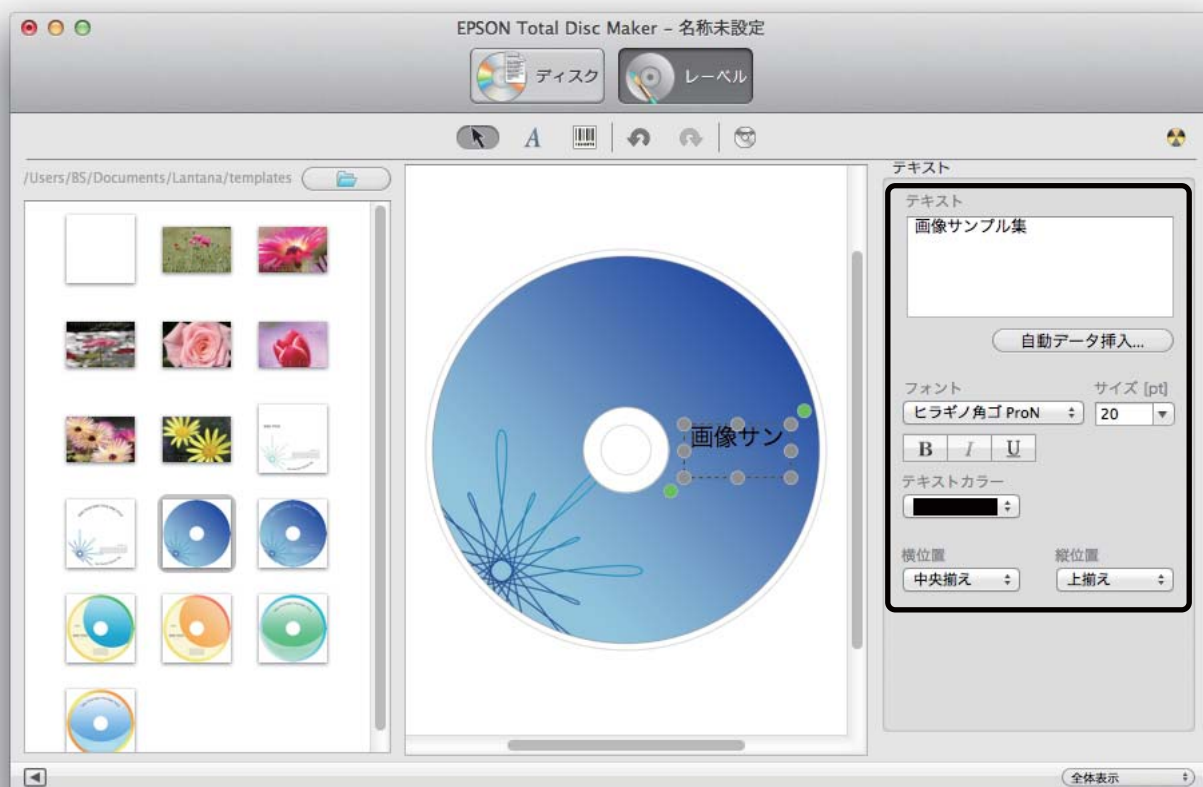
1 EPSON Total Disc Maker のレーベルビューを表示させます。
表示方法は、本書 23 ページ「レーベル ビュー」を参照してください。

2 サムネイルが表示されていない場合は、▶をクリックして表示させます。

3 ［フォルダーボタン］をクリックして画像が保存されたフォルダーを選択します。

画像のサムネイルが表示されます。

4 背景に挿入する画像をダブルクリックします。

画像が背景として表示されます。

テキストの編集

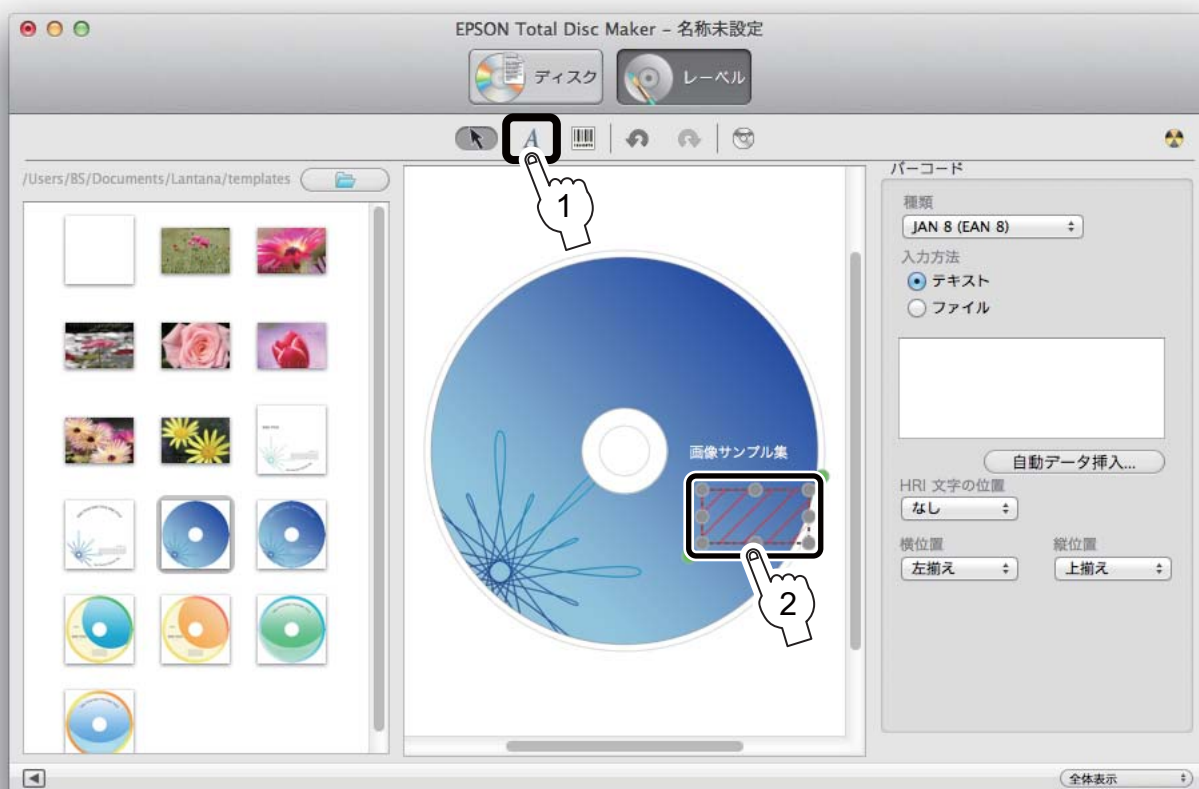
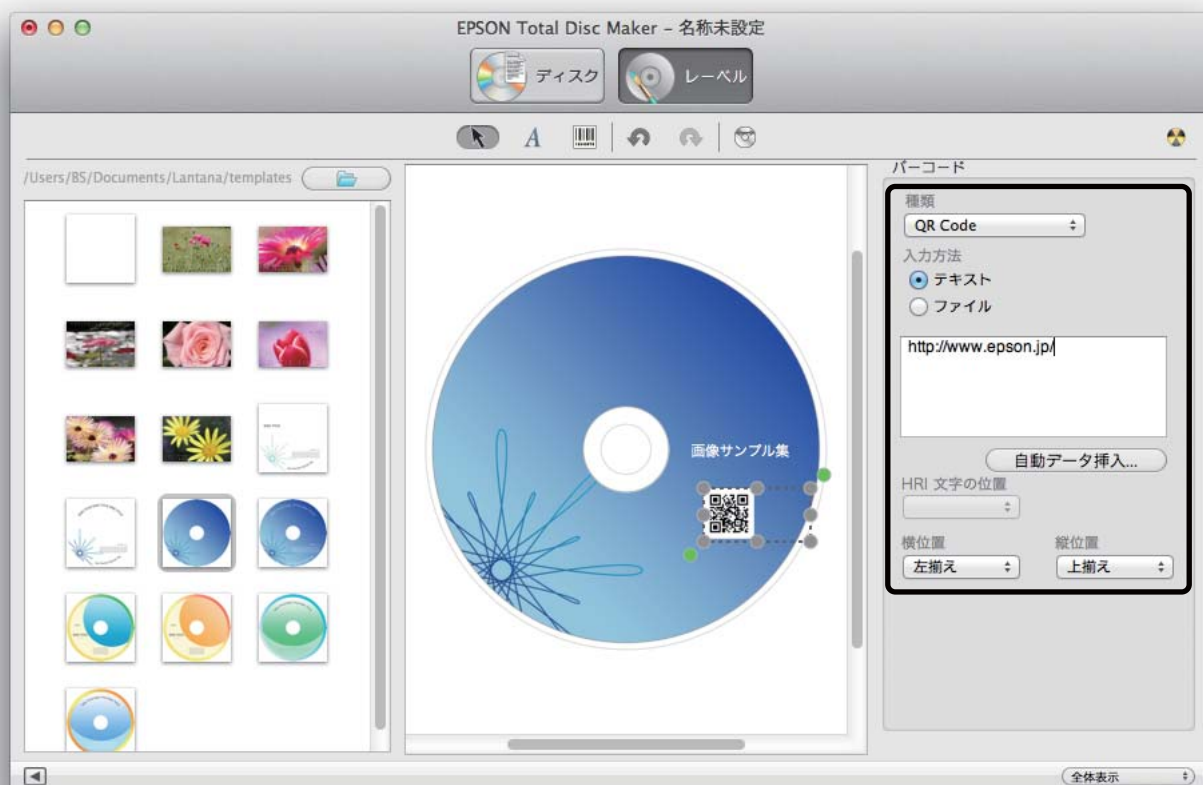
レーベルに挿入するテキストを編集することができます。

1 A をクリックし、テキストを配置したい場所でクリックします。

2 テキストの各設定を行います。

参考	［自動データ挿入...］をクリックすると、発行日時やデータサイズなどを自動的に印刷することができます。

バーコードの挿入

バーコードや２次元コードをレーベルに挿入することができます。

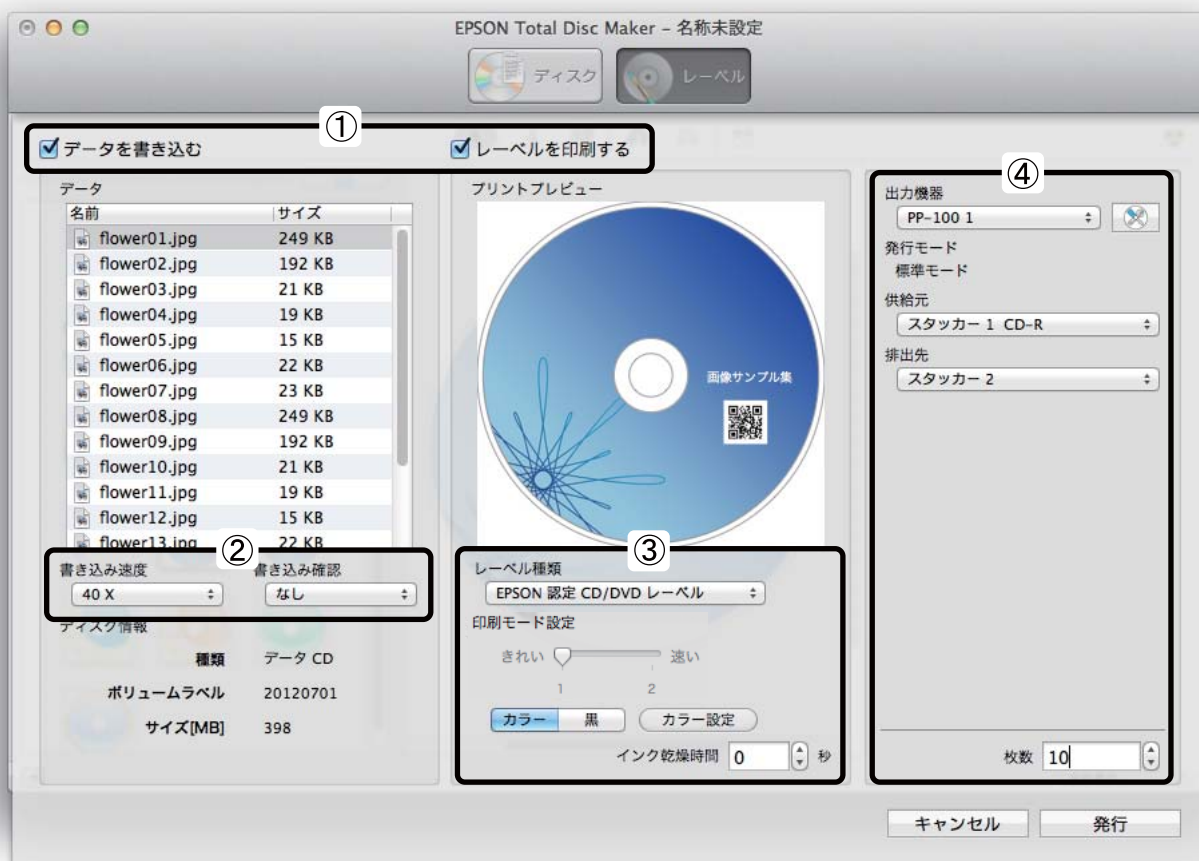
注意	• バーコード、2 次元コードを印刷する場合は、必ずエプソン純正のインクカートリッジをご使用ください。 • EPSON 認定 CD/DVD 以外のディスクを使用してバーコード､2 次元コードを印刷する場合は､印刷したバーコード、2 次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。 • バーコード、2 次元コードの上に他の印刷データを重ねたり、バーコード、2 次元コードが印刷領域からはみ出すような配置をしないでください。 • バーコード、2 次元コードは、黒と白の比率で情報を表します。ディスクの印刷面へのインクの浸透具合によって黒と白の比率が大幅に崩れると、正常にバーコード、2 次元コードを読み込むことができなくなります。印刷したバーコード、2 次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。 • 双方向印刷で印刷したバーコードが正しく読み取れない場合は､ギャップ調整（本書 82 ページ参照）を行ってから印刷するか、または単方向印刷で印刷してください。

1 をクリックし、バーコードを配置したい場所でクリックします。

2 バーコードの各設定を行います。

参考	［自動データ挿入...］をクリックすると、発行日時やデータサイズなどのバーコードを自動的に印刷することができます。

ディスクの発行

ここでは、EPSON Total Disc Makerの発行ビューで、本製品にディスク作成のJOBを発行する手順を説明します。

1 ディスクビューまたはレーベルビューで [発行] をクリックして発行ビューを表示させます。

2 各設定を行います。

①［データを書き込む］と［レーベルを印刷する］が正しくチェックされていることを確認します。
② 書き込みを行う場合は、［ 書き込み速度 ］と［ 書き込み確認 ］を設定します。
③ レーベル印刷を行う場合は、［ レーベル種類 ］、［ 印刷モード設定 ］を設定します。
④［ 出力機器 ］、［ 供給元 ］、［ 排出先 ］、［ 枚数 ］を設定します。

注意

- 使用するディスクやパソコンにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。
- 使用するディスクによっては、ディスクの推奨倍速では正しく書き込めない場合があります。その場合は、書き込み速度を落としてください。特にDVD±R DLの場合は、低倍速での書き込みをお勧めします。
- EPSON認定CDのマットディスクに印刷するときは、［レーベル種類］で［CD/DVDレーベル］を選択してください。
- EPSON認定DVDのマットディスクに印刷するときは、［レーベル種類］で［高画質対応CD/DVDレーベル］を選択してください。
- ［レーベル種類］で「EPSON認定CD/DVDレーベル」を選択したときは、［きれい/速い］は［1］に設定されます。

- [書き込み確認]で[コンペア]に設定すると、データがディスクに正しく書き込まれたかどうかを確認できます。
- [カラー設定] では、自動色補正などのカラー調整の設定が行えます。詳細は、本書 71 ページ「印刷の色を調整する」を参照してください。

3 供給元スタッカーにディスクが正しくセットされていることを確認します。

詳細は、本書 47 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

4 [発行] をクリックします。

発行処理が開始し、EPSON Total Disc Utility が起動します。

注意

- PP-100II、PP-100 または PP-100AP でスタッカー4 に排出された作成済みディスクは、JOB の処理を一時停止することなく取り出すことができます。ただし、スタッカーランプ 4 が速い点滅をしているときは、スタッカー 4 にディスクを排出中のため、スタッカー 4 を引き出さないでください。ディスクが破損する可能性があります。
- 排出先スタッカーがフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクを取り出し、ディスクカバー / スタッカー 4 を閉めると、JOB の処理は自動的に再開します。
- JOB 実行中に Mac をシャットダウンした場合は、全ての JOB はキャンセルされます。
- PP-100II/PP-100 の場合
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）は、ディスクカバーを開けないでください。書き込みや印刷の品質に影響を与える可能性があります。
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）に、作成済みディスクの取り出しやディスクの補充のためにディスクカバーを開けるときは、JOB を一時停止にしてから開けてください。JOB の一時停止方法は、本書 65 ページ「JOB の一時停止とキャンセル」を参照してください。
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、警告ブザーが鳴り、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
  - * 警告ブザーが鳴っている間はアームが動作しますので、安全のために絶対に手を入れないでください。また、アームが破損するおそれがあるので、スタッカーを操作しないでください。
- PP-100AP の場合
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けた場合は、必ず内部照明が消え、アームの動作が停止したことを確認してから、ディスクのセットや取り出しなどの操作を行ってください。アームの動作中は、絶対に手を入れたり、スタッカーを操作したりしないでください。また、開閉動作は静かに行ってください。
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
- PP-50 の場合
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けた場合は、必ず内部照明が消え、アームの動作が停止したことを確認してから、ディスクのセットや取り出しなどの操作を行ってください。アームの動作中は、絶対に手を入れたり、スタッカーを操作したりしないでください。また、開閉動作は静かに行ってください。
  - * JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。

プリンタードライバーの設定とディスクの発行

ここでは、EPSON Total Disc Maker 以外のアプリケーションでディスクの発行を行う場合のプリンタードライバーの設定（レーベル印刷の設定とディスクイメージファイルによる書き込みデータの登録 *）手順、および本製品にディスク作成の JOB を発行する手順を説明します。

* 書き込みデータの登録は PP-100AP では行えません。

ここでは、Mac に標準添付のプレビューを使用する場合を例に説明します。

1 プレビューを起動します。

2 レーベルに印刷するデータを開きます。

参考	EPSON Total Disc Maker 以外のアプリケーションで発行するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。 • 用紙サイズ：124×124mm • 上下左右の余白：2mm

3 [ファイル] メニューの [プリント ...] をクリックします。

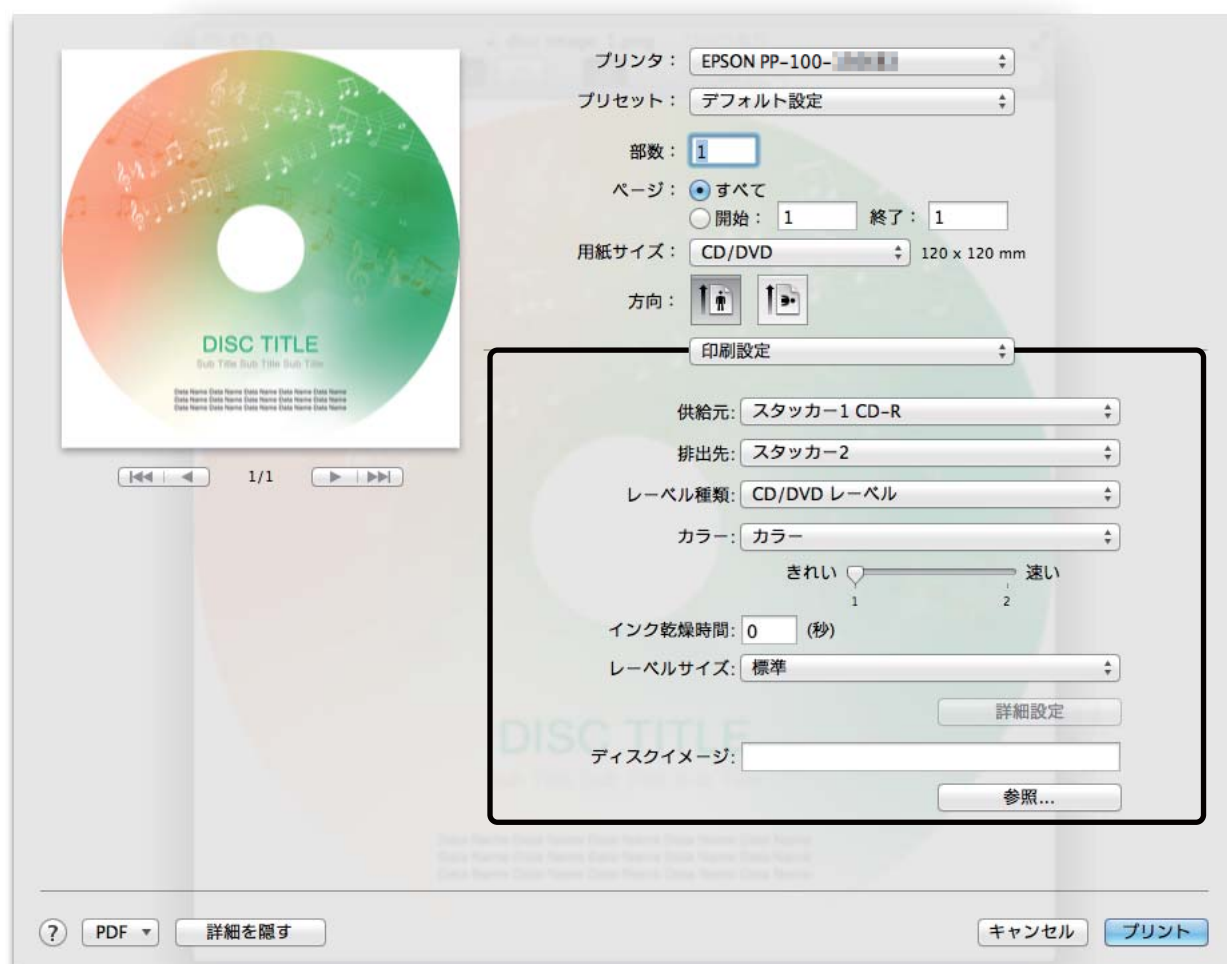
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

4 [プリンター] で [EPSON PP-xxx-xxxxxx] を選択します。

5 [用紙サイズ] で [CD/DVD] を選択します。

6 ［印刷設定］を選択します。

［印刷設定］エリアが表示されます。

プリンタ： EPSON PP-100-
プリセット： デフォルト設定
部数： 1
ページ： すべて
開始： 1 終了： 1
用紙サイズ： CD/DVD 120 x 120 mm
方向：
印刷設定
供給元: スタッカー1 CD-R
排出先: スタッカー2
レーベル種類: CD/DVD レーベル
カラー: カラー
きれい 速い
1 2
インク乾燥時間: 0 (秒)
レーベルサイズ: 標準
詳細設定
ディスクイメージ:
参照...
DISC TITLE
1/1
? PDF 詳細を隠す キャンセル プリント

7 各設定を行います。

詳細は、本書 32 ページ「［印刷設定］エリア」を参照してください。

8 ［プリント］をクリックします。

発行処理が開始し、EPSON Total Disc Utility が起動します。

注意

- PP-100II、PP-100 または PP-100AP でスタッカー4 に排出された作成済みディスクは、JOB の処理を一時停止することなく取り出すことができます。ただし、スタッカーランプ 4 が速い点滅をしているときは、スタッカー 4 にディスクを排出中のため、スタッカー 4 を引き出さないでください。ディスクが破損する可能性があります。
- 排出先スタッカーがフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクを取り出し、ディスクカバー / スタッカー 4 を閉めると、JOB の処理は自動的に再開します。
- JOB 実行中に Mac をシャットダウンした場合は、全ての JOB はキャンセルされます。
- PP-100II/PP-100 の場合
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）は、ディスクカバーを開けないでください。書き込みや印刷の品質に影響を与える可能性があります。
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）に、作成済みディスクの取り出しやディスクの補充のためにディスクカバーを開けるときは、JOB を一時停止にしてから開けてください。JOB の一時停止方法は、本書 65 ページ「JOB の一時停止とキャンセル」を参照してください。
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、警告ブザーが鳴り、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
  - ＊ 警告ブザーが鳴っている間はアームが動作しますので、安全のために絶対に手を入れないでください。また、アームが破損するおそれがあるので、スタッカーを操作しないでください。
- PP-100AP の場合
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けた場合は、必ず内部照明が消え、アームの動作が停止したことを確認してから、ディスクのセットや取り出しなどの操作を行ってください。アームの動作中は、絶対に手を入れたり、スタッカーを操作したりしないでください。また、開閉動作は静かに行ってください。
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
- PP-50 の場合
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けた場合は、必ず内部照明が消え、アームの動作が停止したことを確認してから、ディスクのセットや取り出しなどの操作を行ってください。アームの動作中は、絶対に手を入れたり、スタッカーを操作したりしないでください。また、開閉動作は静かに行ってください。
  - ＊ JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。

作成済みディスクの取り出し

発行処理が完了したら、以下の手順で作成済みディスクを取り出します。

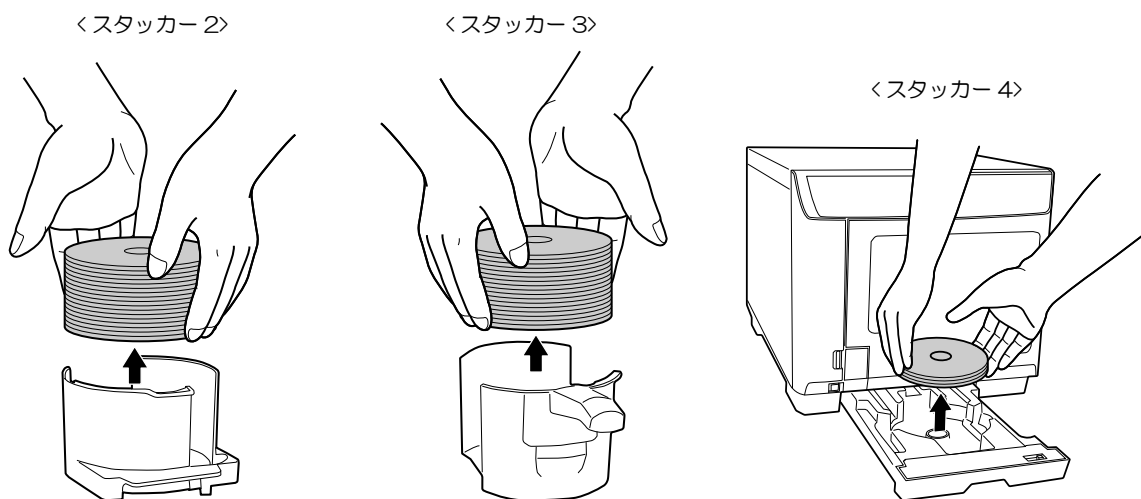
PP-100II/PP-100/PP-100AP の場合

排出先として使用するスタッカーは、発行モードによって異なります。下表で排出先スタッカーを確認してください。

発行モード	排出先	ディスク枚数
標準モード（排出先を [スタッカー 2] に設定した場合）	スタッカー 2	約 50 枚まで
標準モード（排出先を [スタッカー 4] に設定した場合）	スタッカー 4	約 5 枚まで
外部排出モード（排出先を [スタッカー 3] に設定した場合）	スタッカー 3	約 50 枚まで
外部排出モード（排出先を [スタッカー 4] に設定した場合）	スタッカー 4	約 5 枚まで
バッチ処理モード	スタッカー 2	約 50 枚まで
	スタッカー 3	約 50 枚まで

1 排出先がスタッカー２または３の場合のみ、ディスクカバーを開け、排出先スタッカーを取り出します。

ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。

2 排出先スタッカーから作成済みディスクを取り出します。

注意

- レーベル面を印刷後は、EPSON 認定 CD/DVD は 1 時間以上、その他のディスクは 24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは、ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷前後にレーベル面に直接手で触れたり、水滴が付いたりすると、にじみや貼り付きの原因となる場合があります。

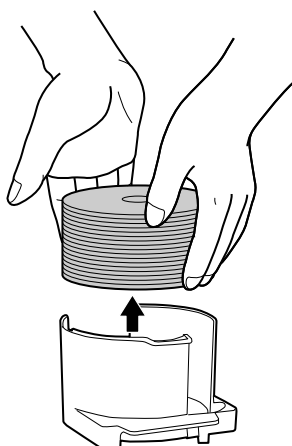
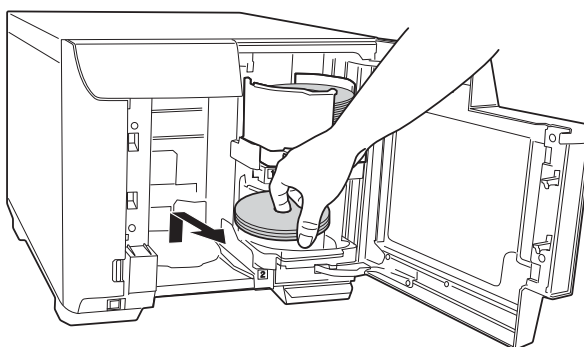
PP-50 の場合

排出先として使用するスタッカーは、発行モードによって異なります。下表で排出先スタッカーを確認してください。

発行モード	排出先	ディスク枚数
標準モード（排出先を [スタッカー 2] に設定した場合）	スタッカー 2	約 50 枚まで
標準モード（排出先を [スタッカー 3] に設定した場合）	スタッカー 3	約 20 枚まで
少量発行モード	スタッカー 3	約 20 枚まで

1 ディスクカバーを開けます。
ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。

2 排出先がスタッカー２の場合、スタッカー２を取り出します。

3 排出先スタッカーから作成済みディスクを取り出します。

注意

- レーベル面を印刷後は、EPSON 認定 CD/DVD は 1 時間以上、その他のディスクは 24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは、ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷前後にレーベル面に直接手で触れたり、水滴が付いたりすると、にじみや貼り付きの原因となる場合があります。

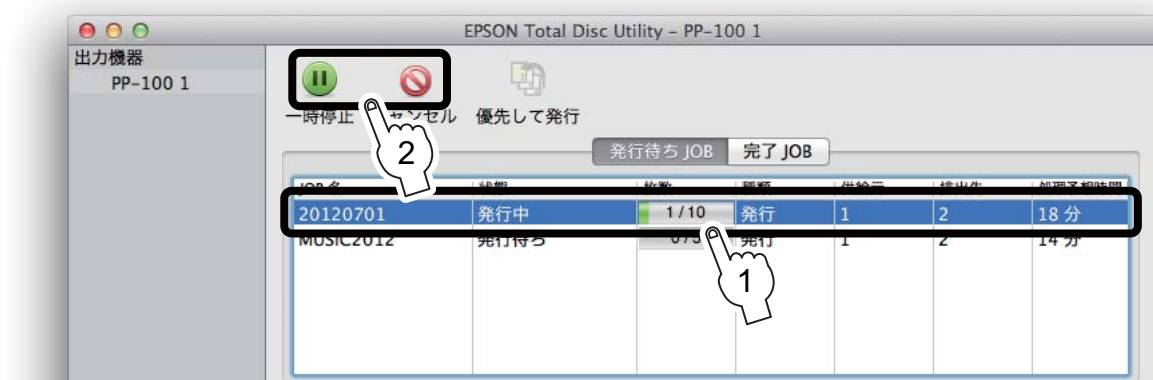
JOB の操作

本製品が行うデータの書き込みや印刷のことを JOB と呼びます。
EPSON Total Disc Maker またはプリンタードライバーから JOB を発行した後、JOB の処理を一時停止 / キャンセルしたり、処理順序を変更することができます。

JOB の一時停止とキャンセル

発行後、JOB の処理を一時停止、またはキャンセルしたいときは、以下の手順で行います。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。
起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

2 一時停止またはキャンセルしたいJOBを選択し、[一時停止]または[キャンセル]をクリックします。

JOB が一時停止すると、JOB の状態表示が [一時停止中] に変わります。
JOB がキャンセルされると、JOB の表示が [発行待ち JOB] 画面から消えます。

注意

- ディスクの発行処理中に JOB を一時停止すると、その処理を完了してから一時停止します。
- JOB を一時停止すると、後続の JOB の処理も開始されません。
- ディスクの発行処理中に JOB をキャンセルすると、その処理は中断され、ディスクは排出先のスタッカーに排出されます。

参考

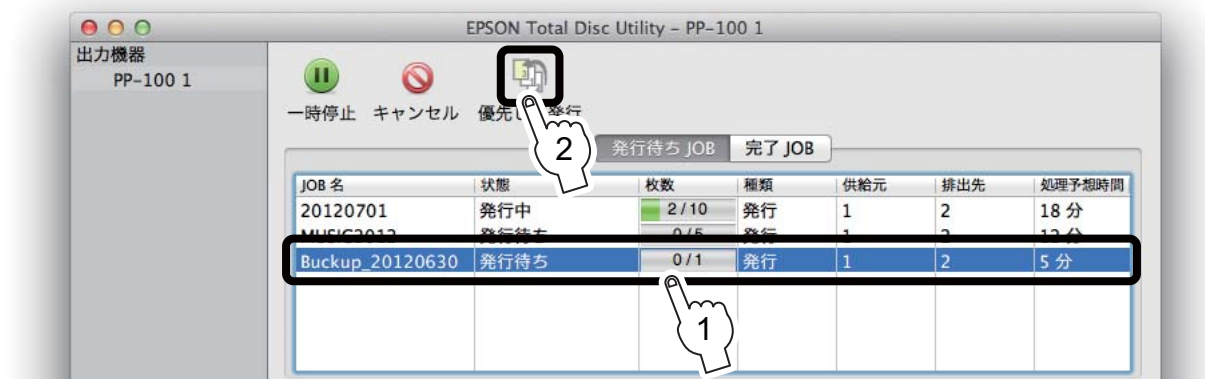
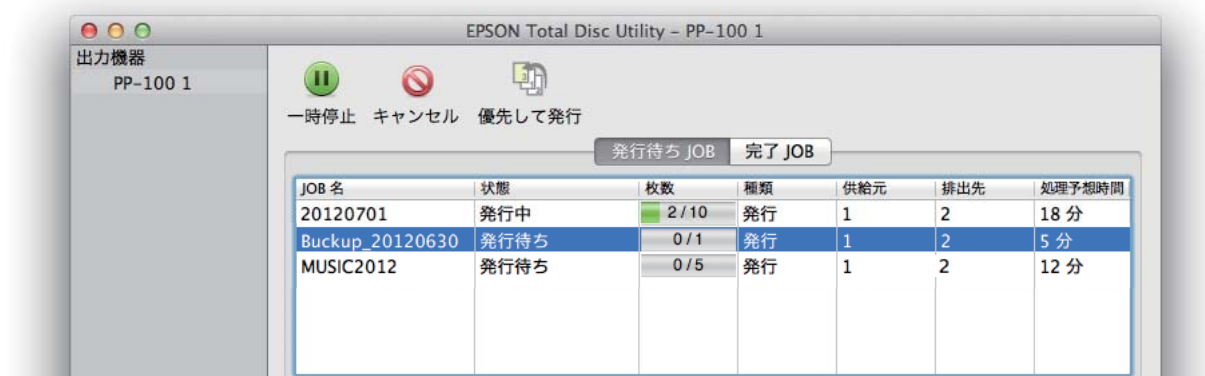
一時停止した JOB を再開またはキャンセルするには、JOB を選択し、[再開] または [キャンセル] をクリックします。

JOB を優先して発行する

複数の JOB を発行後、特定の JOB の処理を優先させたいときは、以下の手順で行います。

1 EPSON Total Disc Utility を起動します。

起動方法は、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility の起動」を参照してください。

2 優先させたい JOB を選択し、[優先して発行] をクリックします。

選択した JOB が、発行中の JOB の次に処理されます。

参考　ノズルチェック、ギャップ調整、印刷位置補正の JOB よりも発行処理を優先させることはできません。

ディスクの作成～応用編～

定形外レーベルサイズのディスクに印刷する

標準、ワイドタイプ以外のサイズで印刷するときは、任意のサイズ（ユーザー定義レーベルサイズ）を設定します。

項目	説明
内径	レーベルの内径を設定します。1.80 ～ 5.00cm（180 ～ 500）の範囲で設定できます。
外径	レーベルの外径を設定します。7.00 ～ 11.94cm（700 ～ 1194）の範囲で設定できます。
リブ領域をマスクする	チェックすると、リブ領域をマスクします。 リブとはディスク裏面の突起部分（スタックリング）を指します。 リブ領域をマスクすると、排出先スタッカー内で印刷済みのディスクとリブが接触し、リブにインクが移ることを避けることができます。
リブ内径	リブ領域の内径を設定します。2.70 ～ 5.00cm（270 ～ 500）の範囲で設定できます。
リブ幅	リブ領域の幅を設定します。0.01 ～ 1.15cm（1 ～ 115）の範囲で設定できます。

注意 リブ領域に印刷すると、インクの付着、ディスクの貼り付き、色抜けを起こす可能性があります。

参考 印刷推奨領域（内径 45.0mm 以上、外径 116.0mm 以内）の範囲外に設定して印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ / 乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。印刷推奨領域の詳細は、本書 40 ページ「印刷可能領域」を参照してください。

EPSON Total Disc Makr で発行する場合と、その他のアプリケーションで発行する場合では、ユーザー定義レーベルサイズの設定方法は異なります。

EPSON Total Disc Maker で発行する場合

EPSON Total Disc Maker のレーベルビューで ［内径・外径の設定］をクリックすると表示されるダイアログで、設定します。

その他のアプリケーションで発行する場合

プリンタードライバーの［印刷設定］エリアで、［レーベルサイズ］を［ユーザー定義サイズ］に設定し［詳細設定］をクリックすると表示されるダイアログで設定します。

コピーディスクの作成（PP-100II/PP-100/PP-50 のみ）

EPSON Total Disc Maker で発行する場合、ディスクやイメージファイルからコピーディスク（CD/DVD）を作ることができます。

参考

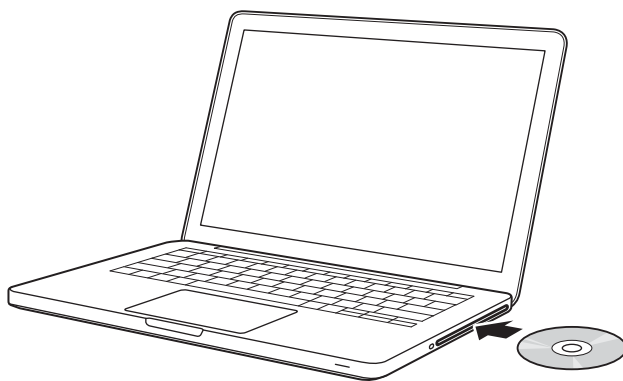
- ここでは、コピーディスクを作成する場合の書き込みデータの登録手順だけを説明しています。書き込みデータの登録以外は、通常の手順でディスクを作成してください。（本書 42 ページ「ディスク作成の流れ」参照）
- EPSON Total Disc Maker 以外のアプリケーションで発行する場合は、プリンタードライバーの印刷設定でイメージファイルを指定すると、コピーディスクを作ることができます。（本書 32 ページ「[印刷設定] エリア」参照）

ディスクから直接コピーを作成する

ここでは、パソコンのドライブにセットした CD/DVD から直接コピー CD/DVD を作成するときのデータの登録手順を説明します。

注意

- コピー元として使用する CD/DVD ドライブは、MMC4 に準拠したコマンドをサポートし、MMC4 に準拠した動作を行うものをご利用ください。（動作確認済みのドライブは、弊社ホームページにてご確認ください。）
- コピー元として使用する CD/DVD ドライブの機種により、コピー CD/DVD を作成できない場合があります。その場合は、コピー元の CD/DVD ドライブを替えてお試しください。
- コピー元のディスクがマルチセッションの CD/DVD の場合は、コピーすることはできません。
- コピー元のディスクがパケットライト CD の場合は、コピーすることはできません。

1 パソコンのドライブにコピーを作成したい CD または DVD をセットします。

2 EPSON Total Disc Maker を起動します。

起動方法は、本書 21 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。

3 各設定を行います。

①［種類］で［コピー］を選択します。
②[コピー元] で [ディスク] を選択します。
③ ディスク名を選択します。

以上で、書き込みデータの登録は終了です。

ディスクイメージファイルからコピーを作成する

ここでは、ディスクイメージファイルを使用してコピーCD/DVDを作成するときのデータの登録方法を説明します。

参考　書き込みデータの登録（本書 49 ページ参照）後、[ファイル] メニューの [ディスクイメージを作成 . . .] をクリックすると、ディスクイメージファイルを作成することができます。

1 EPSON Total Disc Maker を起動します。

起動方法は、本書 21 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。

2 各設定を行います。

①［種類］で［コピー］を選択します。
②［コピー元］で［ディスクイメージ］を選択します。
③［参照 ...］をクリックして、ディスクイメージファイルを指定します。

以上で、書き込みデータの登録は終了です。

印刷の色を調整する

印刷データの色を好みのバランスに調整することができます。

参考 印刷時に色調整を加えるだけで、データそのものの色調整は行いません。

項目		説明
色補正方法	自然な色あい	プリンタードライバーの標準的な色補正で印刷します。
	あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。
	EPSON 基準色	エプソンの基準色になるように色処理を行います。
	Adobe RGB	より広い色空間の Adobe RGB で色処理を行います。Adobe RGB のカラースペース情報を持った印刷データの印刷時などに選択します。
ガンマ	1.5	1.8 に設定したときと比べて、柔らかい感じの画像で印刷します。
	1.8	通常はこの設定で印刷してください。1.5 に設定したときと比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷できます。
	2.2	sRGB 対応製品と色あわせして印刷するときに選択してください。
詳細設定	明度	画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25%の間で、マイナス（-）方向には暗く、プラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
	コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25%の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25%の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
	シアン	- 設定：赤色が強くなります。 + 設定：青緑（シアン）が強くなります。
	マゼンダ	- 設定：緑色が強くなります。 + 設定：赤紫（マゼンダ）が強くなります。
	イエロー	- 設定：青色が強くなります。 + 設定：黄色（イエロー）が強くなります。

EPSON Total Disc Makr で発行する場合と、その他のアプリケーションで発行する場合では、設定方法が異なります。

EPSON Total Disc Maker で発行する場合

EPSON Total Disc Maker の発行ビューで、[カラー設定] をクリックすると、設定ダイアログが表示されます。[マニュアル色補正] を選択すると、各項目が設定できます。

参考
- 発行ビューの[印刷モード設定]で[黒]に設定すると、[ガンマ]、[明度]、[コントラスト]の調整だけが行えます。
- ColorSync は、デバイス間で色あわせするときに選択します。選択すると、色の調整は行えません。

その他のアプリケーションで発行する場合

プリンタードライバーの [カラーオプション] エリアで、[マニュアル色補正] を選択すると、[色補正方法] と [ガンマ] の設定ができます。[詳細設定] をクリックすると、残りの設定ができます。

参考
[印刷設定] エリアで [カラー] を [黒] に設定すると、[ガンマ]、[明度]、[コントラスト] の調整だけが行えます。

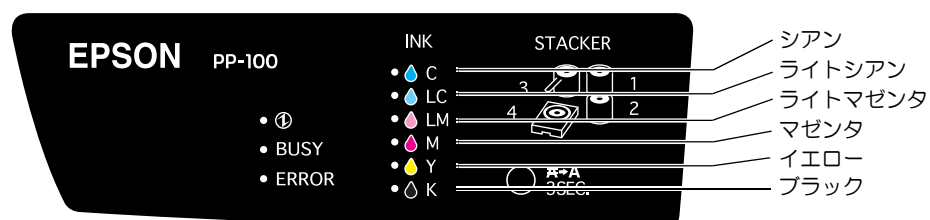
メンテナンス

インクカートリッジの交換

インク残量の確認方法

6 つのインクカートリッジのうち、ひとつでも交換時期になると印刷ができなくなります。
インク残量は、以下のように操作パネルのインクランプで確認できます。

- 操作パネルのインクランプが点滅したら、その色のインク残量が少なくなっています。
  新しいインクカートリッジを準備してください。
- 操作パネルのインクランプが点灯したら、その色のインクの交換時期です。
  新しいインクカートリッジと交換してください。

各色のインクランプの位置

EPSON Total Disc Utility でもインクの残量を確認することができます。詳細は、EPSON Total Disc Utility のヘルプを参照してください。

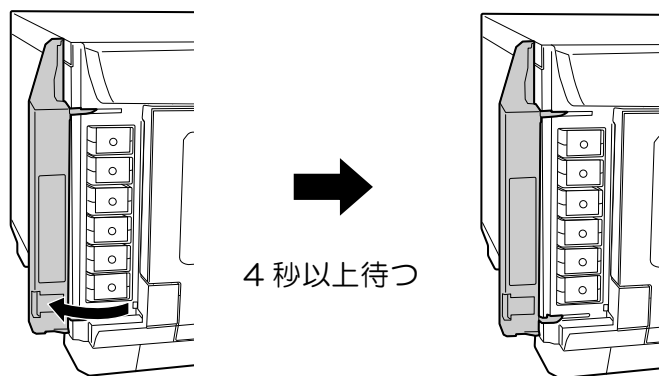
参考	・初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されますので、交換時期が通常より早くなります。 ・モノクロ印刷を指定した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。 ・プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に本製品は動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には、多少のインクが残ります。

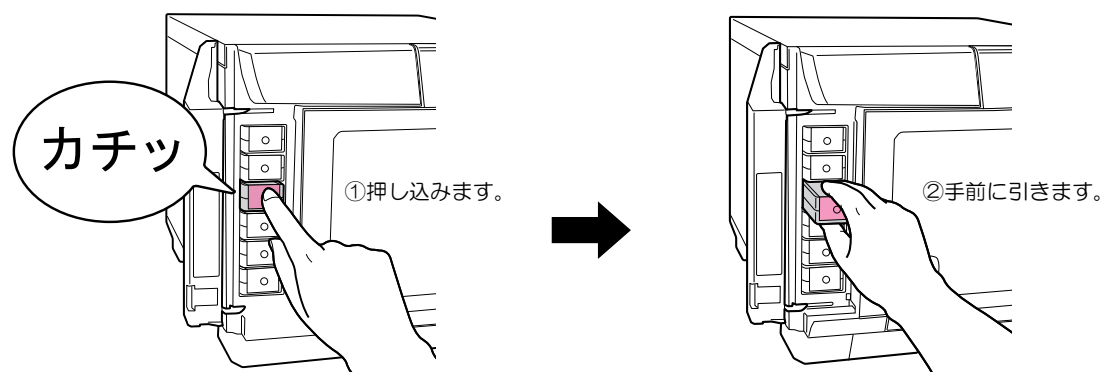
インクカートリッジの交換方法

ここでは、インクカートリッジの交換手順を " ライトマゼンタ " を例にして説明します。他の色の場合も、交換位置は異なりますが、同様の手順で交換できます。
インクカートリッジの型番は、本書 145 ページ「インクカートリッジ」を参照してください。

注意

- エプソン純正のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のインクカートリッジを使用すると、保証外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使用すると印刷品質に悪影響が出るなど、製品本来の性能を発揮できない場合があります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、高温下、凍結状態、および直射日光下で保存しないでください。

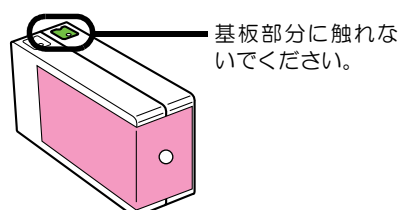
1 インクカートリッジカバーを開け、内部の動作が停止するまで 4 秒以上待ちます。

注意 4 秒以内にインクカートリッジを取り出してしまうと、インクが噴き出すおそれがあります。

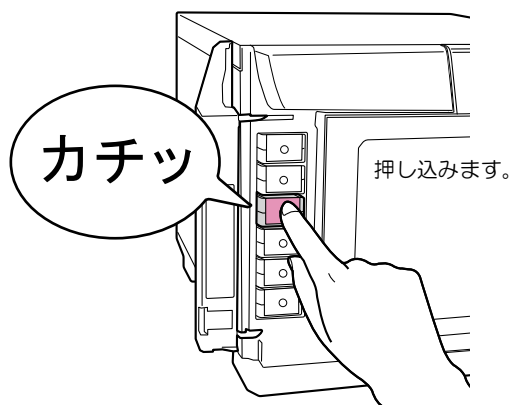
2 カチッと音がするまでインクカートリッジを静かに押し込んでロックを解除してから、ゆっくりと手前に引き抜きます。

注意

- 取り出したインクカートリッジのインク供給孔部からインクが漏れることがあります。
- 一度使用したインクカートリッジのインク取り出し口には、若干のインクが付着する場合があるため、触らないでください。
- 使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 145 ページ「インクカートリッジの回収について」を参照してください。

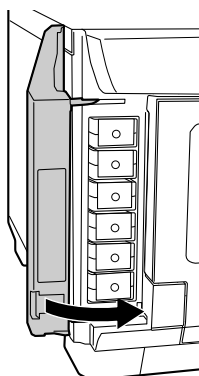
3 インクカートリッジを袋から取り出します。

注意

- 良好な印刷品質を得るために、装着直前に透明なプラスチック袋から開封してください。また開封後は、6ヶ月以内に使い切ってください。開封した状態で長時間放置したインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下するおそれがあります。
- プラスチック袋を開封するときには、インクカートリッジが落下しないように注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。また、インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。正常にセット・動作・印刷ができなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

- インクカートリッジは、個装箱に記載された期限までに使い切ってください。

4 セット位置をラベルの色で確認し、新しいインクカートリッジを本製品のインクカートリッジホルダーに、カチッと音がするまで静かに押し込みます。

注意

セットしたインクカートリッジを、繰り返し抜き差ししないでください。インクカートリッジや本体内部にインクが付着するおそれがあります。

5 インクカートリッジカバーを閉じます。

注意

- インクの充てん中は電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。これらの操作を行うと、インクの充てんを再度実行するため、インクを著しく消費する原因になります。また、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクランプが点滅 / 点灯しているときは、インクカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットされているか確認してください。
- インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。
- インクカートリッジを取り付けても正常に印刷できない場合は、クリーニングボタンを 3 秒間押し続けてください。回復しない場合は、この動作を 1、2 回程度繰り返してください。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- インクカートリッジを取り付けた後に本製品を移動・輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態で移動・輸送してください。
- 交換時以外は、インクカートリッジを取り外さないでください。

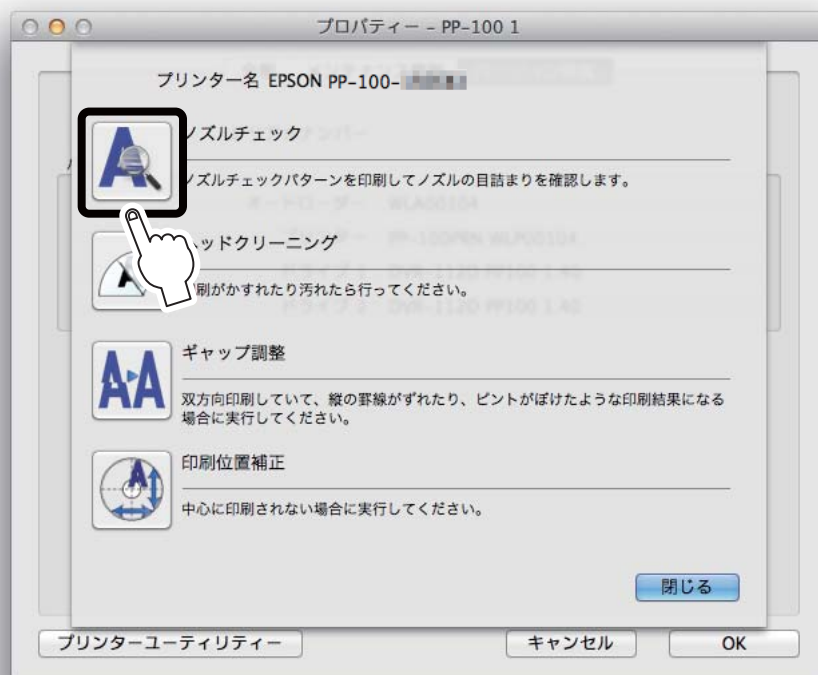
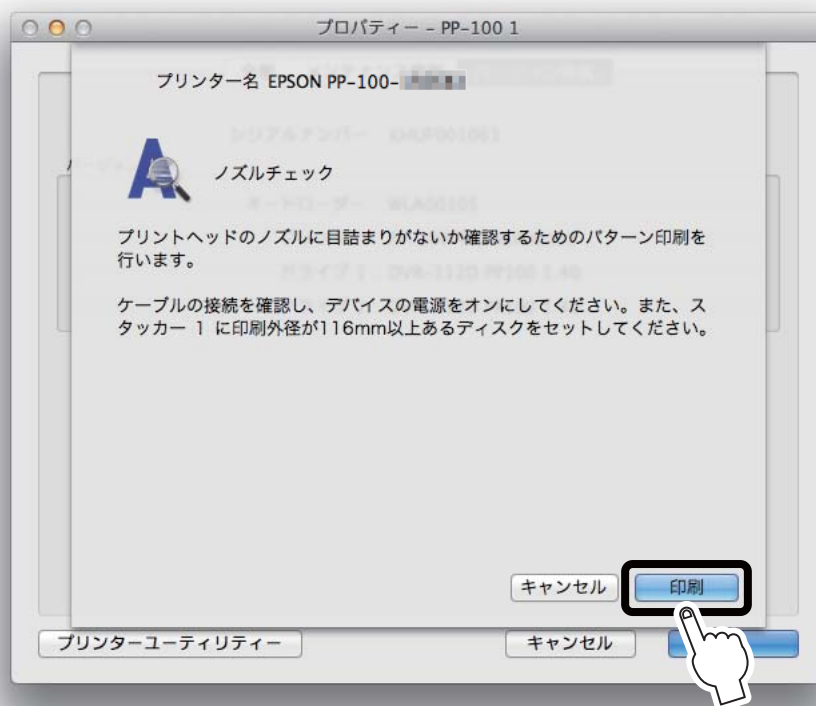
ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。ノズルチェックでは、ノズルの状態を確認するためにパターンを印刷し、そのパターンを見てノズルが目詰まりしていないかを確認します。

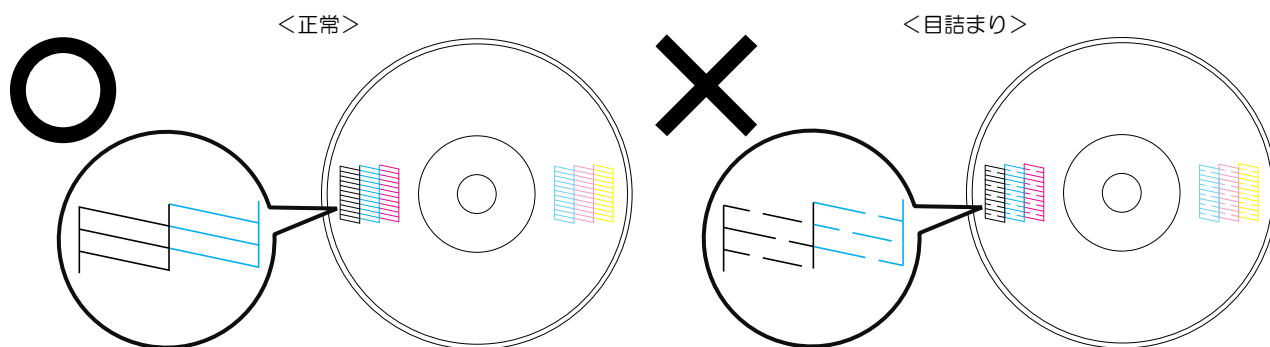
ノズルチェックの操作手順

1 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

2 EPSON Total Disc Utility の [プリンターユーティリティー] 画面を表示させます。
表示方法は、本書 26 ページ「[プロパティー] 画面」を参照してください。

3 [ノズルチェック] をクリックします。

4 ［印刷］をクリックします。

ノズルチェックパターンが印刷されたディスクが、スタッカー 3 またはスタッカー 4 に排出されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 80 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間ができたりする場合にヘッドクリーニングを行ってください。

参考	ヘッドクリーニングはインクを消費します。ヘッドクリーニングを行う前にノズルチェックを行うと、ノズルが目詰まりしていないかを確認することができ、ヘッドクリーニングによる余計なインクの消費を防ぐことができます。ノズルチェックの詳細は、本書 77 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

プリントヘッドの乾燥の原因と対処方法	
原因	**これを防ぐには**
万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。	• 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。 • 電源のオン / オフは、必ず電源ボタンで行ってください。
万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることがあります。	定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。
インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥します。	インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ヘッドクリーニングの操作手順

ヘッドクリーニングには次の２つの方法があります。

- 本製品のボタン操作で行う
- パソコン上の操作で行う

- ヘッドクリーニングはインクを消費します。必要以上にヘッドクリーニングを行うとインクカートリッジの寿命が短くなりますのでご注意ください。
- ヘッドクリーニング中にインクカートリッジカバーを開けないでください。カバーを開けるとヘッドクリーニングが中止されます。
- 発行中の JOB がある場合、JOB の処理が終了してからヘッドクリーニングが開始されます。

本製品のボタン操作で行う

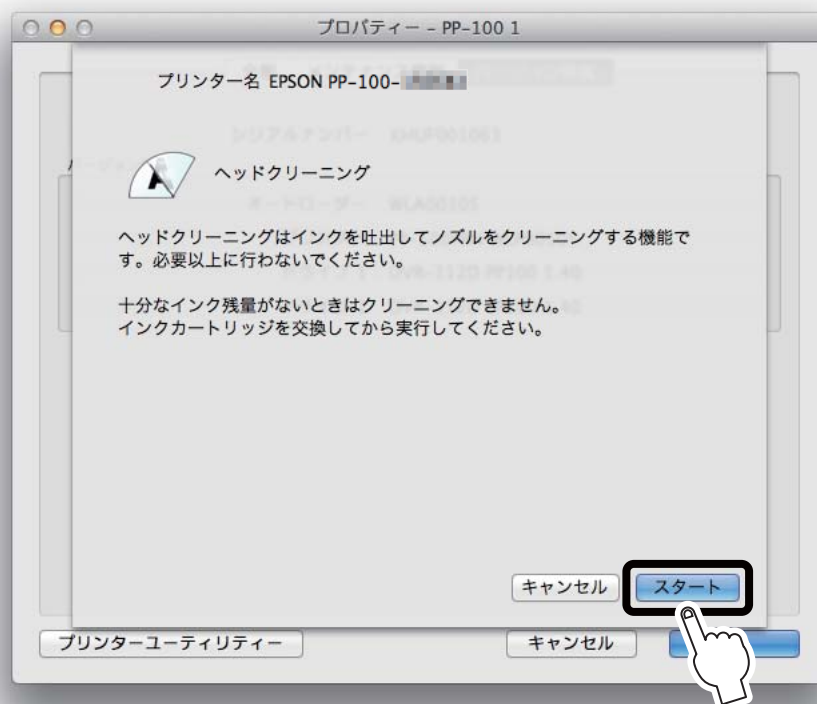
1 本製品の電源をオンにします。

2 クリーニングボタンを３秒間押します。
電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

パソコン上の操作で行う

1 EPSON Total Disc Utility の [プリンターユーティリティー] 画面を表示させせます。
表示方法は、本書 26 ページ「[プロパティー] 画面」を参照してください。

2 [ヘッドクリーニング] をクリックします。

3 ［スタート］をクリックします。

電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

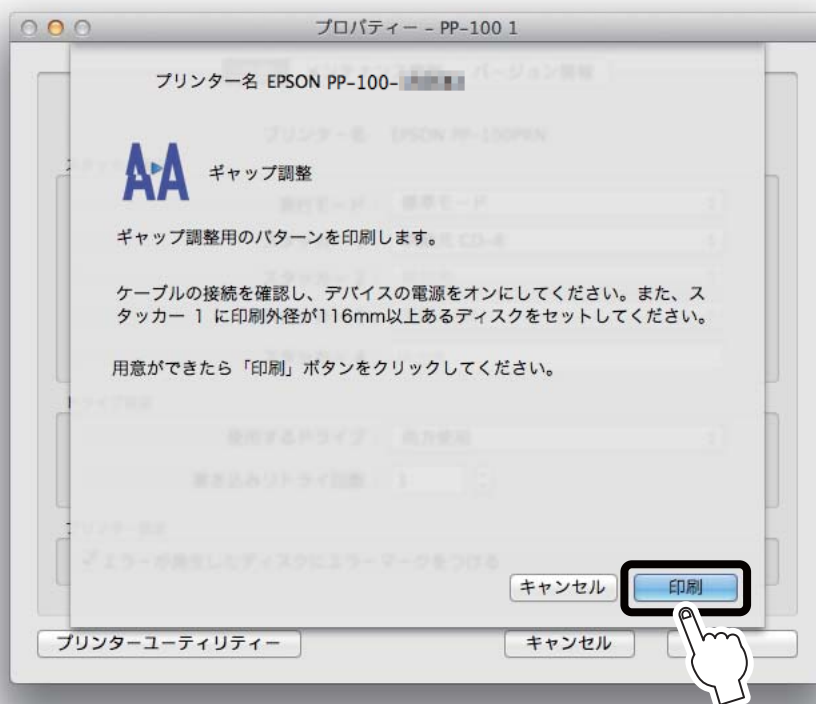
ギャップ調整

プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれると、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になることがあります。そのような場合は、ギャップ調整を行ってください。

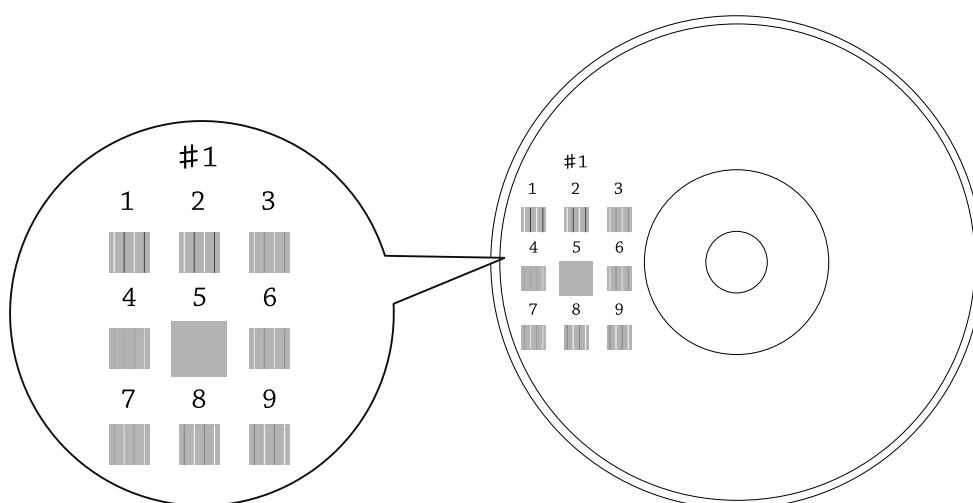
1 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

2 EPSON Total Disc Utility の [プリンターユーティリティー] 画面を表示させせます。
表示方法は、本書 26 ページ「[プロパティー] 画面」を参照してください。

3 [ギャップ調整] をクリックします。

4 ［印刷］をクリックします。

ギャップ調整用シートが印刷されたディスクが、スタッカー３またはスタッカー４に排出されます。

5 印刷されたギャップ調整用シートを確認します。

<ギャップ調整用シート>

6 縦スジの少ないパターンの番号を選択します。

上図の場合は、「5」の縦スジが少ないので、「5」を選択します。
再度、ギャップ調整用シートを印刷して確認する場合は、スタッカー１にディスクをセットし、[再調整] をクリックしてください。

7 [終了] をクリックします。

以上で、ギャップ調整は終了です。

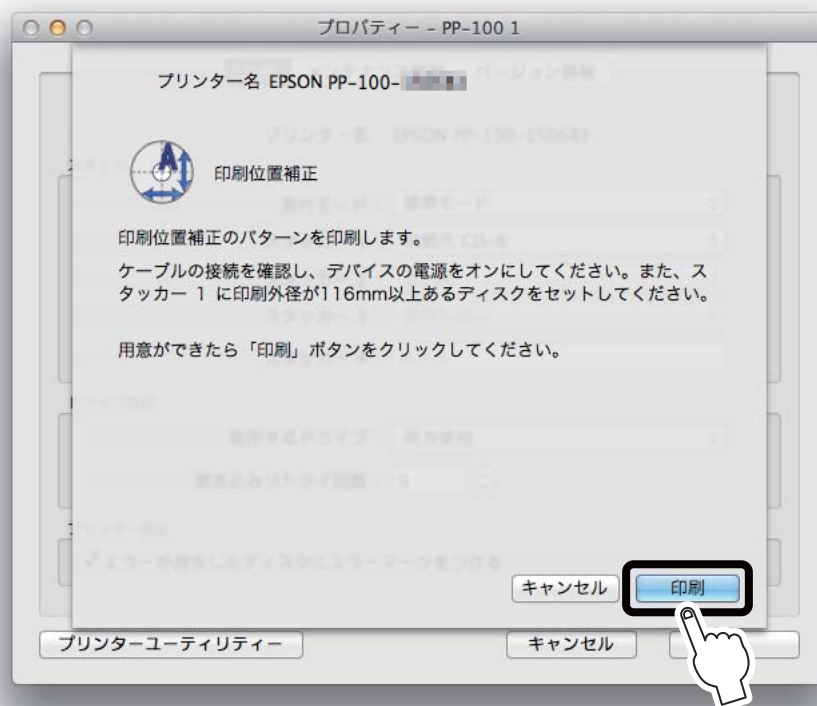
印刷位置補正

上下左右方向の印刷位置がずれるときは、印刷位置補正を行ってください。

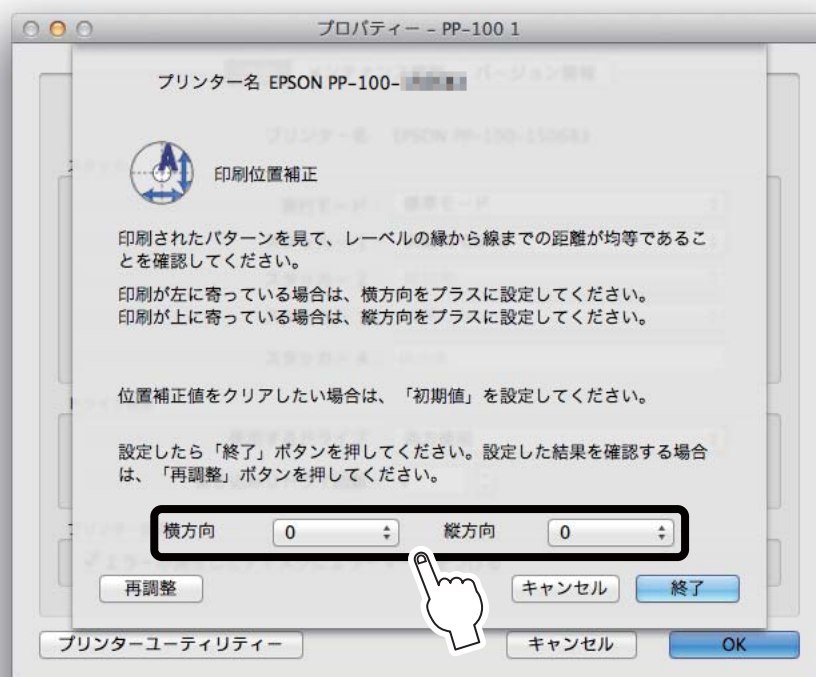
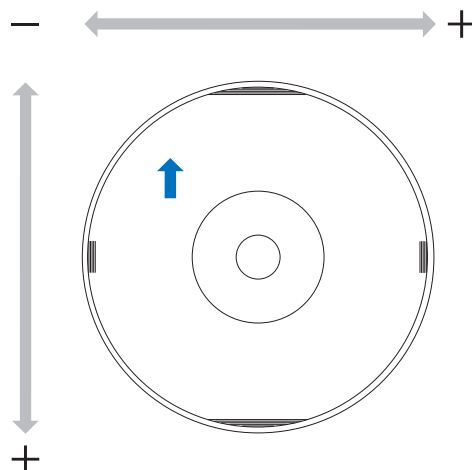
1 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

2 EPSON Total Disc Utility の [プリンターユーティリティー] 画面を表示させせます。
表示方法は、本書 26 ページ「[プロパティー] 画面」を参照してください。

3 [印刷位置補正] をクリックします。

4 ［印刷］をクリックします。

上下左右にそれぞれ５本のラインと上方向を示す青い矢印が１つ印刷されたディスクが、スタッカー３またはスタッカー４に排出されます。

5 上下左右のラインがレーベル面に均等に印刷される場合は、[終了] をクリックします。均等に印刷されていないときは、以下の方法で対処します。

- 印刷が左に寄っている場合：[横方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が右に寄っている場合：[横方向] にマイナスの補正値を選択します。
- 印刷が上に寄っている場合：[縦方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が下に寄っている場合：[縦方向] にマイナスの補正値を選択します。

6 スタッカー1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットし、[再調整] をクリックします。

以降は、上下左右のラインがディスク上に均等に印刷されるまでステップ 4、5、6 を繰り返します。

7 ［終了］をクリックします。

注意	• 初回調整後、再調整で補正値を入力すると、初回に調整した数値と合わせた補正値で印刷位置が修正されます。印刷補正値をクリアしたいときは、［初期値］を選択して［終了］をクリックしてください。 • レーベル塗布面がディスクの中心とずれている場合は、上記手順で印刷位置を補正しても、印刷がレーベル塗布面に対してずれて見えます。

以上で、印刷位置補正は終了です。

本製品が汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

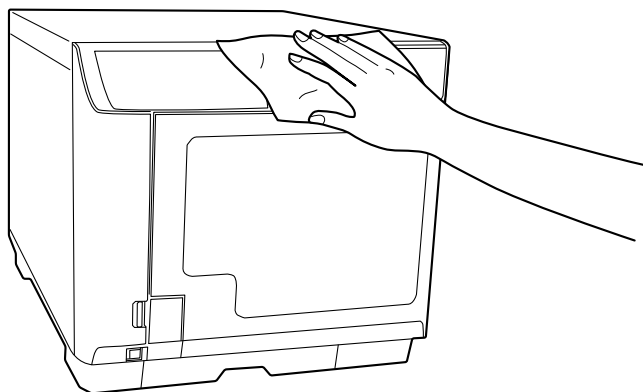
外装面のお手入れ

1 電源をオフにします。

本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを払います。

外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。最後に、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。

注意

- 本製品の内部に水気が入らないように、カバーを閉じた状態で拭いてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本製品の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本製品の表面を傷付けるおそれがあります。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

内部のお手入れ

本製品内部やスタッカーにゴミ、ホコリが溜まったり、汚れが付着したりした場合は、柔らかい布を使って汚れを拭き取ってください。

スタッカーにはインクによる汚れが付着する場合があります。付着した汚れは、水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから汚れを拭き取ってください。

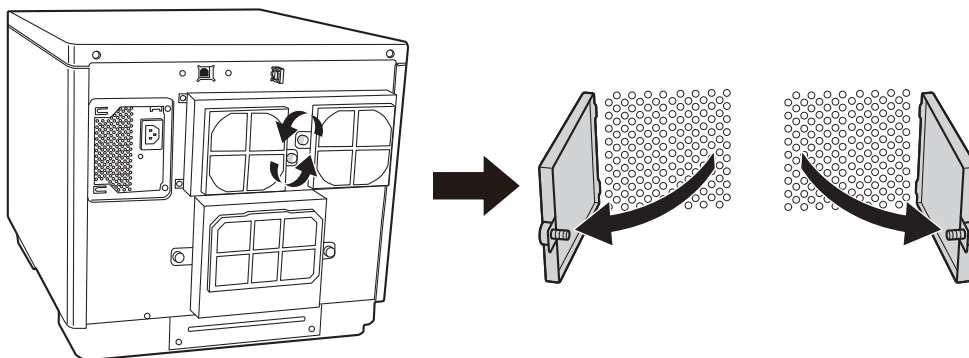
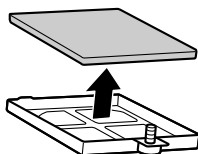
通風孔のお手入れ（PP-100II/PP-100/PP-50 のみ）

注意 通風孔のお手入れは、定期的（半年に 1 回）に行ってください。

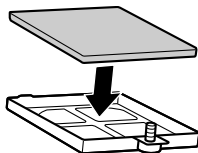
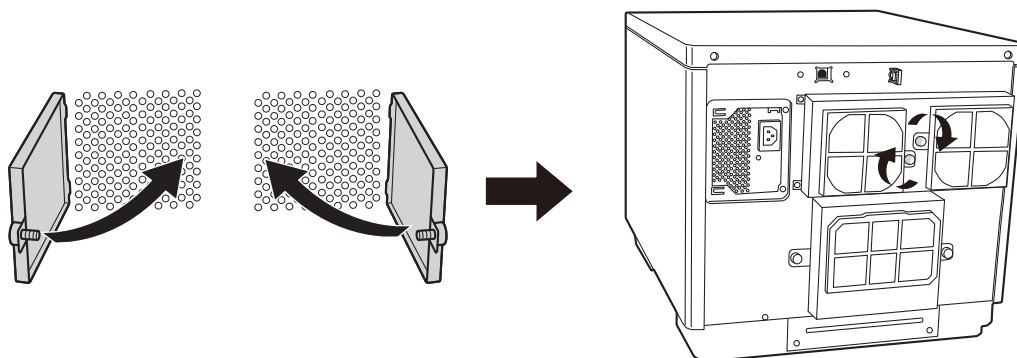
PP-100II の場合

1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 2 個のネジを緩め、フィルターカバーを取り外します。

4 フィルターカバーからフィルターを取り外します。

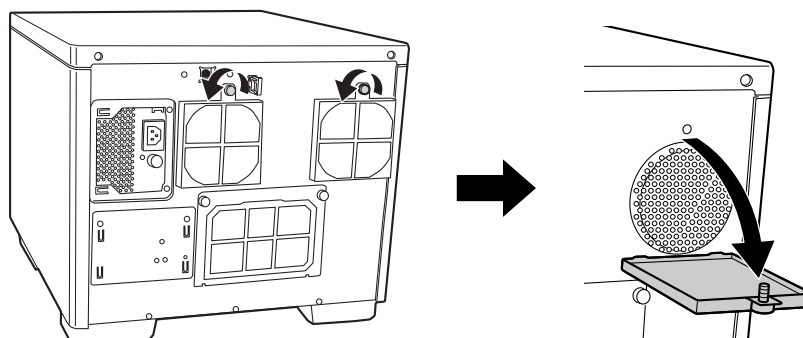
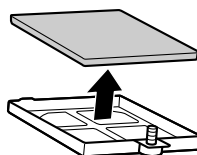
5 掃除機で、フィルターのホコリを吸い取ります。

6 フィルターをフィルターカバーに入れます。

7 フィルターカバーを本製品に取り付けてネジを締めます。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

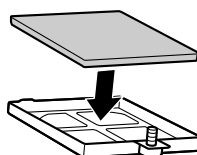
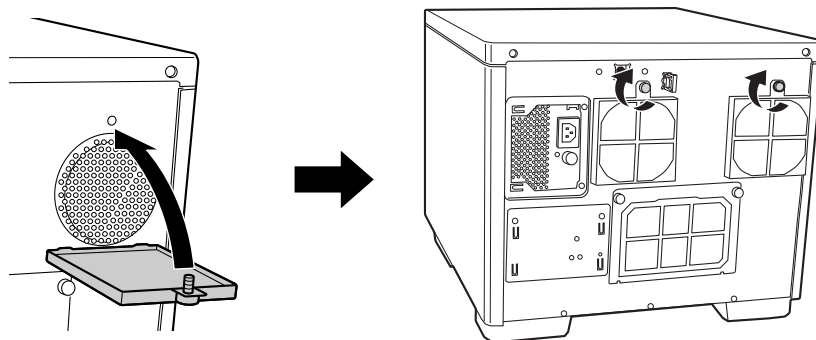
PP-100/PP-50 の場合

1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 下図を参考に、ネジを緩め、フィルターカバーを取り外します。

4 フィルターカバーからフィルターを取り外します。

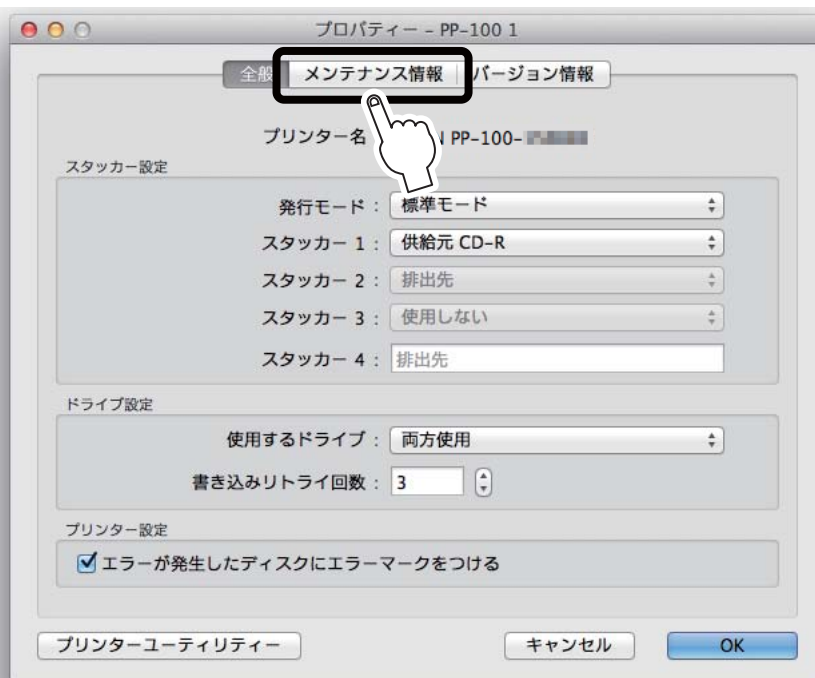
5 掃除機で、フィルターのホコリを吸い取ります。

6 フィルターをフィルターカバーに入れます。

7 フィルターカバーを本製品に取り付けてネジを締めます。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

メンテナンス情報の確認

累計印刷枚数、ドライブの使用状況など、本製品の保守・サポート時に有用な情報を確認することができます。

1 EPSON Total Disc Utility の [プロパティー] 画面を表示させます。
表示方法は、本書 26 ページ「[プロパティー] 画面」を参照してください。

2 [メンテナンス情報] タブをクリックします。

メンテナンス情報が表示されます。

PP-100II の場合

項目	内容
総発行枚数	発行（書き込み、印刷）したディスクの累計枚数
印刷枚数	印刷したディスクの累計枚数
メンテナンスボックス空き容量	メンテナンスボックスの空き容量（0 ～ 100%） 0% に近くなるとメンテナンスボックスの交換時期です。
ドライブ 1/2 寿命	ドライブ 1/2 の使用状況（0 ～ 100%） 100% に近くなるとドライブの交換時期です。

PP-100 の場合

項目	内容
印刷枚数	印刷したディスクの累計枚数
ドライブ 1/2 寿命	ドライブ 1/2 の使用状況（0 ～ 100%） 100% に近くなるとドライブの交換時期です。

PP-100AP の場合

項目	内容
印刷枚数	印刷したディスクの累計枚数
メンテナンスボックス空き容量	メンテナンスボックスの空き容量（0 ～ 100%） 0% に近くなるとメンテナンスボックスの交換時期です。

PP-50 の場合

項目	内容
印刷枚数	印刷したディスクの累計枚数
ドライブ寿命	ドライブの使用状況（0 ～ 100%） 100% に近くなるとドライブの交換時期です。

インク吸収材の交換(PP-100/PP-50のみ)

インク吸収材とは、ヘッドクリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。インク吸収材が交換時期になると、発行ができなくなります。

交換時期の確認方法

インク吸収材の交換時期は、以下のどちらかの方法で知ることができます。

- EPSON Total Disc Utility のプリンターの状態に i が表示されたら、インク吸収材の交換時期が近づいています。i をクリックすると、「インク吸収材の交換時期が近づきました。早めの交換をお勧めします。交換に関しては、サポートにお問い合わせください。」というメッセージが表示されます。
EPSON Total Disc Utility については、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility」または EPSON Total Disc Utility のヘルプを参照してください。
- 操作パネルの全ランプが点灯したら、インク吸収材の交換時期です。

インク吸収材の交換方法

インク吸収材は、お客様ご自身による交換はできません。エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

参考	エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。

メンテナンスボックスの交換(PP-100II/PP-100AP のみ)

メンテナンスボックスとは、ヘッドクリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。メンテナンスボックスの空き容量がなくなり交換時期になると、ディスクの発行ができなくなります。

交換時期の確認方法

メンテナンスボックスの空き容量は、EPSON Total Disc Utility で確認することができます。(本書 93 ページ「メンテナンス情報の確認」参照)

メンテナンスボックスの交換時期が近づくと・・・

EPSON Total Disc Utility のプリンターの状態に i が表示されます。i をクリックすると、「メンテナンスボックスの交換時期が近づきました。新しいメンテナンスボックスを準備してください。」というメッセージが表示されます。

メンテナンスボックスが交換時期になると・・・

- 操作パネルのインクランプが速い点滅を始めます。
- EPSON Total Disc Utility に、「メンテナンスボックスの交換時期になったため、印刷できません。新しいメンテナンスボックスに交換してください。純正品のご使用をお勧めします。」というメッセージが表示されます。

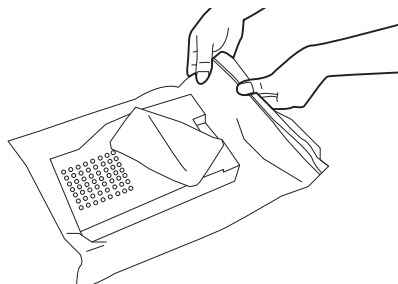
EPSON Total Disc Utility については、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility」または EPSON Total Disc Utility のヘルプを参照してください。

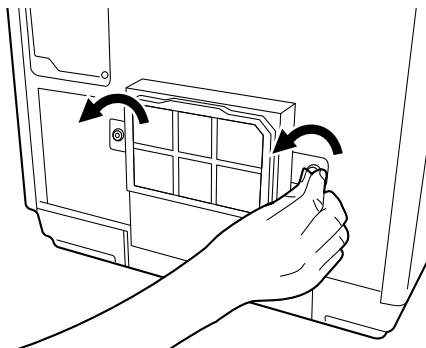
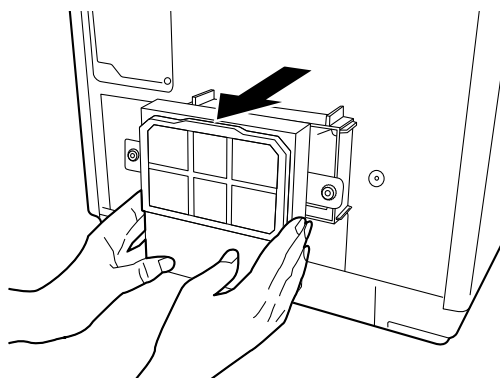
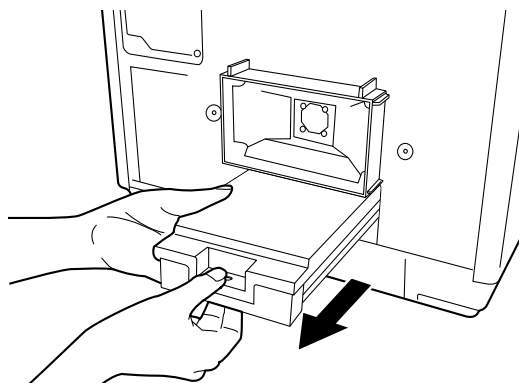
交換方法

メンテナンスボックスを交換するときは、必ずフィルターも同時に交換してください。メンテナンスボックスとフィルターは、以下の手順で交換します。

メンテナンスボックスの型番は、本書 146 ページ「メンテナンスボックス(PP-100II/PP-100AP)」を参照してください。フィルターはメンテナンスボックスに添付されています。

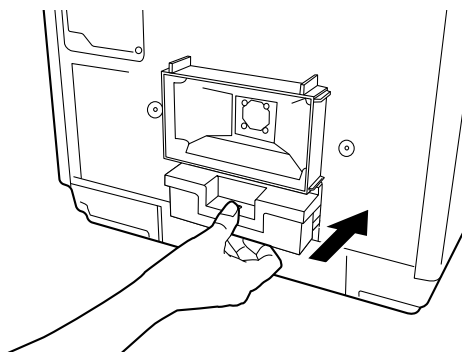
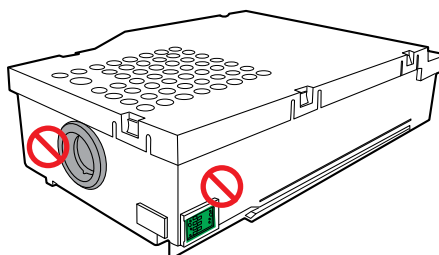
注意

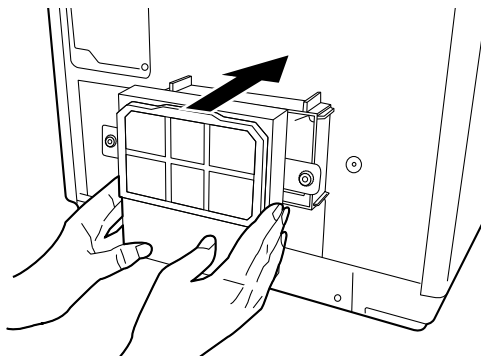
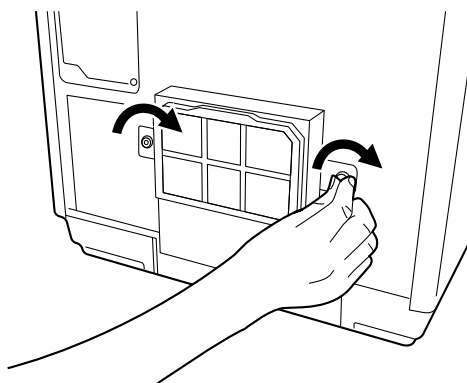
- エプソン純正のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のメンテナンスボックスを使用すると、保証外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。
- 製品から取り外した状態で長時間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。
- 使用済みのメンテナンスボックスとフィルターは、メンテナンスボックスに添付されているビニール袋に入れ、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 146 ページ「メンテナンスボックス(PP-100II/PP-100AP)」を参照してください。

メンテナンスボックスの交換

1 背面の２個のネジを緩めます。

2 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

3 使用済みのメンテナンスボックスを引き抜きます。

注意

- 使用済みのメンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

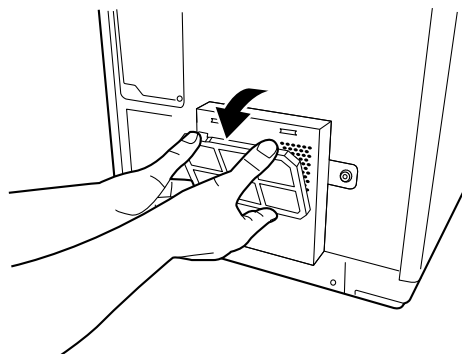
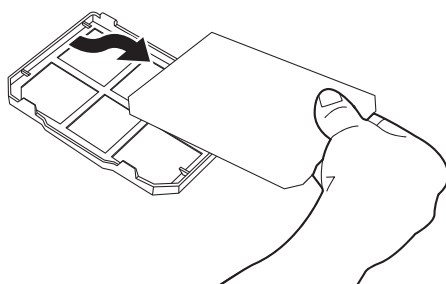
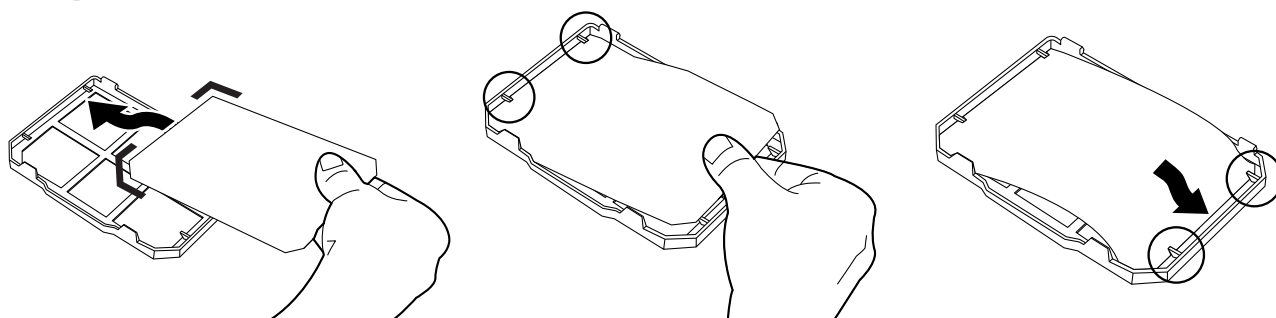
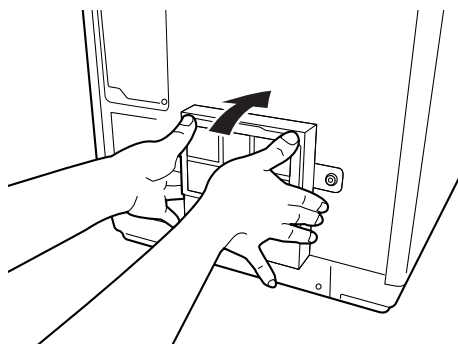
4 新しいメンテナンスボックスを押し込みます。

注意

- メンテナンスボックスに付いている緑色の基板部分およびインク排出口部分には触れないでください。

- セットしたメンテナンスボックスを、繰り返し抜き差ししないでください。吸収材の一部が製品内部に落ちるおそれがあります。

5 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

6 2 個のネジを締めます。

メンテナンスボックスを交換したら、必ずフィルターも同時に交換してください。（本書 99 ページ「フィルターの交換」参照）

フィルターの交換

注意	メンテナンスボックスカバーやフィルターカバーに付着したインクが付くおそれがありますので、メンテナンスボックスカバー、フィルターカバーの取り扱いにはご注意ください。

1 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーから取り外します。

2 フィルターカバーからフィルターを取り外します。

3 新しいフィルターをフィルターカバーに入れます。

4 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーに取り付けます。

ドライブの交換（PP-100II のみ）

ドライブが寿命に達し交換時期になると、書き込みエラーが起きやすくなります。その場合は、ドライブを交換してください。PP-100II は、お客様ご自身によるドライブ交換が可能です。

注意

- ドライブの交換は、必ず PP-100II 専用オプションドライブに添付されている取扱説明書の指示に従って行ってください。
- ドライブ 1、ドライブ 2 のどちらかでも装着されていない場合、PP-100II は動作しません。
- Mac OS では、PP-100II にオプションの BD ドライブを装着して使用することはできません。

交換時期の確認方法

ドライブの使用状況は、EPSON Total Disc Utility で確認することができます。（本書 93 ページ「メンテナンス情報の確認」参照）

EPSON Total Disc Utility については、本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility」または EPSON Total Disc Utility のヘルプを参照してください。

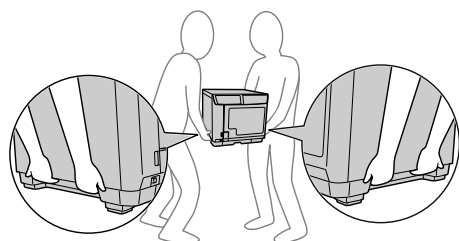
交換方法

ドライブの交換方法は、ドライブに添付されている取扱説明書をご覧ください。
ドライブの型番は、本書 146 ページ「ドライブ」を参照してください。

本製品輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、本製品を衝撃などから守るため、必ず本製品が梱包されていた箱と保護材を使用してください。保護材の取り付けは、「スタートアップガイド」の「保護材の取り外し」を参考にして行ってください。

注意

- 本製品内にディスクが残っていないことを確認してください。
- PP-100IIの場合､必ずドライブ1とドライブ2を本体から取り外てください｡ドライブをつけたまま輸送すると、ドライブおよび本体が変形または破損するおそれがあります。
- 使用中のインクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- PP-100II/PP-100AP の場合、メンテナンスボックスは絶対に取り外さないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 保護材取り付け時、および輸送時には、本製品を傾けたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
- **本製品を持ち上げる際は、必ず 2 人で持ち上げてください。**

本製品の重さは、PP-100II/PP-100：約 24kg、PP-100AP：約 22kg、PP-50：21kg です。本製品を持ち上げる際は、左図のように本製品を 2 人で挟み、本製品側面のくぼみを持って持ち上げてください。左図以外の部分に手を掛けて運ぶと本製品が破損する原因となります。特にディスクカバー、インクカートリッジカバー、スタッカー 4（PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ）を開けた状態で持つと、製品を落とす危険性、および変形、破損するおそれがあります。

また、本製品を置くときは、本製品と設置面の間に指を挟まないように注意してください。

- **本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。**
  無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本製品が破損する原因となります。
- **本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。**
  転倒などによる事故の原因となります。
- **本製品の天面に重いものを載せないでください。**
  本製品に無理な力が掛かると故障の原因となります。
  ただし、PP-100II/PP-100/PP-100AP では、本製品を 1 台まで本製品天面に載せることは可能です。本製品を載せるときは、上下同じ向きで、外形を合わせて載せてください。その際、**落下、転倒には十分ご注意ください。また、2 台以上は載せないでください。**

1 本製品の電源をオフにします。

本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源コードと USB ケーブルを取り外します。

3 PP-100II の場合、ドライブ 1 とドライブ 2 を取り外します。

ドライブの取り外し方法は、ドライブに添付されている取扱説明書を参照してください。

4 アームに保護材を取り付け、テープで固定します。

5 スタッカー 1、スタッカー 2、スタッカー 3（PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ）を取り付け、テープで固定します。

6 インクカートリッジカバーを開け、インクカートリッジをテープで固定します。

7 インクカートリッジカバー、ディスクカバー、およびスタッカー4（PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ）を閉め、テープで固定します。

8 本製品の底面を下にして、水平にした状態で梱包箱に入れます。

困ったときは

トラブルと対処法

参考 EPSON Total Disc Utility のヘルプ、弊社ホームページも併せてご参照ください。

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない	**電源ボタンを少し長めに押してください。**
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれたりしていないかを確認してください。
	テーブルタップなどを使用していませんか？ 電源プラグは直接壁のコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？ 他の電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかを確認してください。
電源が切れない	**電源ボタンを少し長めに押してください。** それでも電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず電源ボタンで電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする可能性があります。
電源をオンにすると、ガタガタと音がする	**内部に異物（輸送用の青い保護テープなど）が入っていませんか？** 電源ボタンを押して電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認してください。
操作パネルのランプが点滅 / 点灯する	**エラーの可能性があります。** エラー内容と対処方法は、本書 109 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。

ディスク搬送(供給 / 排出)のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
アームが動かない	内部に異物はありませんか？ 電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
ディスクが搬送されない	－ディスクがスタッカーから搬送されない場合－ ①ディスクカバーを開けます。 ②供給元のスタッカーからディスクを取り出します。 ③ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらしてセットし直します。 ④ディスクカバーを閉じます。 ⑤再度ディスクの発行を行います。 －ディスクがドライブトレイ、またはプリンタートレイから搬送されない場合－ ①本製品の電源をオフにします。 ②トレイからディスクを取り除きます。 トレイからディスクを取り除く方法は、本書 121 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。 ③本製品の電源をオンにします。 ④再度ディスクの発行を行います。 －アームがディスクをピック（つかむこと）している場合－ ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。アームからディスクを取り外す場合は、本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにして、本製品の初期化動作によって取り外してください。それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
ディスクが出てこない	内部に異物はありませんか？ 電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。 それでも解決しないときは、本書 121 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。
重送エラーを解除できない	ディスクに問題はありませんか？ ディスクの厚みや反りによっては、ディスクが複数枚搬送されていなくても重送エラーが発生する場合があります。その場合は、下記の手順で重送エラーを解除し、別のディスクに交換して再度お試しください。 ①ディスクカバーを開けます。 ②トレイからディスクを取り除きます。 ③供給元のスタッカーからディスクを取り出します。 ④別のディスクを供給元スタッカーにセットします。 ⑤ディスクカバーを閉じると、JOB が再開されます。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ディスク書き込みのトラブル(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
書き込みエラーが発生する	**ディスクにキズや汚れがありませんか?** キズや汚れがあるディスクは使用できません。別のディスクと交換してください。
	ディスクによってはデータ記録面の品質にばらつきがあることがあります。 別のディスクに交換して、再度お試しください。
	背面の冷却用ファンフィルターにホコリが付いていませんか? フィルターを清掃してください。 清掃方法は、本書 90 ページ「通風孔のお手入れ (PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)」を参照してください。
ディスクに書き込めない / ディスクが読み込めない	**ディスクは正しく取り扱っていますか?** • ディスクは、ディスクの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。 • 粘着性のあるシールをディスクに貼り付けないでください。データの記録、再生ができなくなる可能性があります。 • 本製品をホコリ、煙の多い場所で使用しないでください。ドライブ書き込み不良の原因となります。 ディスクの取り扱いについては、本書 39 ページ「ディスクの取り扱い」を参照してください。
	発行中にカバーを開けたり、衝撃を与えたりしていませんか? ディスク発行中は、本製品に衝撃を与えないでください。ドライブが故障したり、ディスクが使用できなくなったりする可能性があります。 また、発行中はカバーを開けないでください。ディスクの印刷 / 書き込み品質に影響を与えることがあります。カバーを開けるときは、EPSON Total Disc Utility で JOB を一時停止してから開けてください。
	ご使用のパソコンは、本製品の動作環境に対応していますか? 本製品は、動作環境に対応したパソコンに接続し、使用してください。 詳細は、本書 6 ページ「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。
	プリンタートレイが汚れていませんか? プリンタートレイを清掃してください。 詳細は、本書 129 ページ「ディスクの記録面がインクで汚れる」を参照してください。

参考

EPSON Total Disc Maker でのディスク発行時に [書き込み確認] で [コンペア] に設定すると、ディスクに正しくデータが書き込まれたどうか確認できます。詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

レーベル印刷のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
• かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認し、目詰まりしていたらヘッドクリーニングを行ってください。 詳細は、以下を参照してください。 • 本書 77 ページ「ノズルチェック」 • 本書 79 ページ「ヘッドクリーニング」
	インクカートリッジは、推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
	古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下します。インクカートリッジの使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。
	双方向印刷時のプリントヘッドのギャップにズレがありませんか？ 双方向印刷に設定すると、高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときもインクを吐出しますが、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。（詳細は、本書 82 ページ「ギャップ調整」を参照してください。）または、単方向印刷に設定して印刷してください。ただし、単方向印刷では印刷速度が遅くなります。
	厚みの異なるディスクを使用していませんか？ ディスクは各製品によって、厚みが異なります。厚みの異なるディスクを使用すると、プリントヘッドのギャップがずれる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。複数枚のディスクを発行するときは、同じ製品種類のディスクを使用することをお勧めします。 詳細は、本書 82 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
	インクジェットプリンター用のディスクに印刷していますか？ 本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには対応していません。また、印刷するディスクの品質により、印刷の品質が異なることがあります。EPSON 認定 CD/DVD のご使用をお勧めします。 詳細は、本書 145 ページ「EPSON 認定ディスク」を参照してください。
	ディスクに汚れはありませんか？ レーベル面に付いたホコリ、汚れなどは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。 詳細は、本書 39 ページ「ディスクの取り扱い」を参照してください。
	印刷面を十分に乾かしていますか？ 印刷済みディスクのインクが乾くまでは、印刷面に他のディスクなどが接触しないようにしてください。接触部分に跡が残ることがあります。

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
• かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	**インク乾燥時間を短く設定していませんか？** インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 • EPSON Total Disc Maker で発行する場合：発行ビューで設定します。 • その他のアプリケーションで発行する場合：プリンタードライバーで設定します。（本書 32 ページ「[印刷設定] エリア」参照）
	パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？ ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
ディスクの印刷領域に正しく印刷されない	印刷領域の内径と外径を、印刷するディスクの印刷領域に合わせて設定してください。 詳細は、本書 40 ページ「印刷可能領域」を参照してください。また、内径・外径の設定手順は、本書 67 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」を参照してください。
印刷位置がずれる	印刷位置がずれるときは、印刷位置補正をしてください。 詳細は、本書 85 ページ「印刷位置補正」を参照してください。
ディスクの記録面がインクで汚れる	**インク乾燥時間を短く設定していませんか？** インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 • EPSON Total Disc Maker で発行する場合：発行ビューで設定します。 • その他のアプリケーションで発行する場合：プリンタードライバーで設定します。（本書 32 ページ「[印刷設定] エリア」参照）
	プリンタートレイが汚れていませんか？ ディスクの記録面がインクで汚れるときは、プリンタートレイが汚れている場合があります。プリンタートレイの汚れを拭き取ってください。 プリンタートレイのお手入れの方法は、本書 129 ページ「ディスクの記録面がインクで汚れる」を参照してください。
• 印刷後、レーベル面のインクが付着する / はがれる • ディスクが貼り付く	**印刷推奨領域を超えて印刷していませんか？** 印刷推奨領域を超えて印刷すると、印刷後、レーベル面のインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付く場合があります。 詳細は、本書 40 ページ「印刷可能領域」を参照してください。

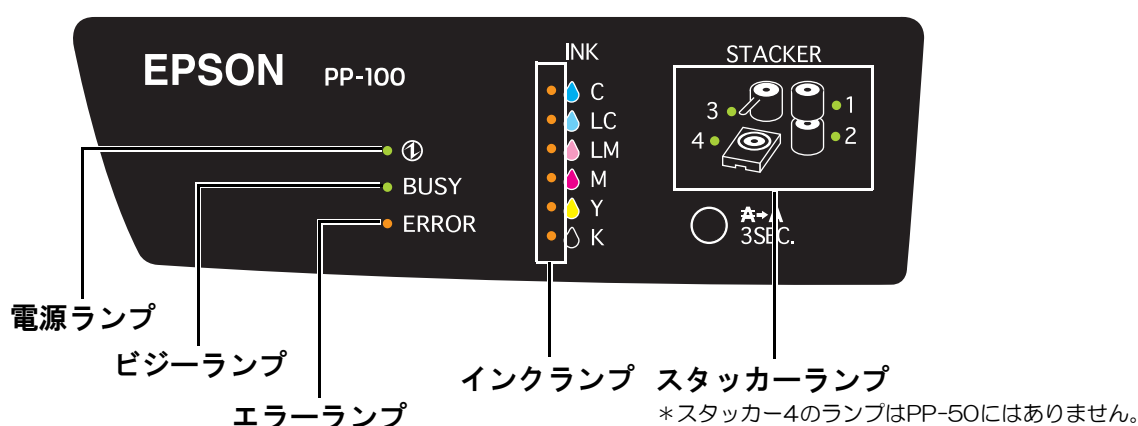
その他のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ソフトウェアが インストールできない	**USB ケーブルが外れていませんか？** USB ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。
	USB ケーブルは同梱品を使用していますか？ 本製品に USB2.0 規格に準拠した USB ケーブルを使用してください。
	HDD の空き容量は十分ですか？ HDD の空き容量が 25GB 以上確保されていないと、ソフトウェアはインストールできません。HDD の空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。 また、ソフトウェアが正常に動作するために 、十分な HDD の空き容量が必要です。 ソフトウェアの動作条件は、本書 6 ページ「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。
	USB ハブを使用していませんか？ USB ケーブルは、USB ハブを中継せずにパソコンと直接接続してください。
	パソコンに接続した本製品の電源をオンにした状態でインストールしていませんか？ ソフトウェアをインストールするときは、必ず本製品の電源をオフにしてインストールを開始してください。
ドライブが使用できない	**ドライブの使用が停止されていませんか？** 設定した書き込みリトライ回数の書き込みエラーが発生すると、そのドライブは自動的に使用が停止されます。ドライブの使用を再開してください。 ドライブ使用の再開方法は、本書 12 ページ「本製品のプロパティー設定」を参照してください。
ヘッドクリーニングが 動作しない	**クリーニングボタンを少し長めに押してください。**
	本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。
	インク残量は十分ありますか？ 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 インクカートリッジの交換方法は、本書 74 ページ「インクカートリッジの交換方法」を参照してください。
連続して印刷をしている途中に 印刷速度が遅くなった	長時間印刷を続けると、ディスクの搬送や印刷が一時的に停止することがあります。これは、製品のオーバーヒートや損傷を防ぐために印刷スピードが抑えられているためです。 この場合、印刷を続けることは可能ですが、製品の動作を停止させ、電源を入れたまま 30 分程度放置することをお勧めします。（電源オフの状態では、約 3 時間で通常の状態に復帰します。）
ディスクを発行できない	本書 117 ページ「ディスクが発行できない」を参照してください。

ランプが点滅 / 点灯している

ランプの点滅 / 点灯の組み合わせで、本製品の状態を確認します。

注意	エラー発生後にレーベル印刷を行うときは、必ずノズルチェックをしてプリントヘッドの状態を確認してください。 ノズルチェックの詳細は、本書 77 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

参考	エラーの内容および対処方法は、EPSON Total Disc Utility の [操作ガイダンス] でも確認できます。 詳細は、EPSON Total Disc Utility ののヘルプを参照してください。

本書では、ランプの状態を以下の記号で表示しています。

正常な状態

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	電源がオンの状態です。 発行できます。
点灯	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	JOB 実行中です。 登録されている JOB がすべて終了するまで、しばらくお待ちください。
点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	初期化中です。 動作が終了するまでしばらくお待ちください。
速い点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	終了処理中です。 電源が切れるまでしばらくお待ちください。
点灯	速い点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	スタッカー 4 に排出動作中です。(PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ) スタッカー 4 を引き出さないでください。

エラー状態

カバーに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
🟢	⚫	🟠	⚫	⚫	⚫	⚫	⚫	ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いています。 ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーを閉じてください。
								JOB 実行中にディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いたため、JOB が復帰待ち処理中になっています。 JOB が復帰待ち状態になるまでしばらくお待ちください。

ディスクの搬送に関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
🟢	⚫	🟠	⚫	⚫	⚫	⚫	⚫	アームがディスクのピック（つかむこと）に失敗しました。 以下の手順で対処してください。 ①ディスクカバーを開け、供給元スタッカーのディスクをよくばらします。 ②ディスクカバーを閉じ、ディスクを再発行します。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								アームが複数枚のディスクを搬送しました。 以下の手順で対処してください。 ①ディスクカバーを開けます。 ②ドライブトレイとプリンタートレイ上のすべてのディスクを取り除きます。 ③ディスク同士の貼り付きを防ぐため、供給元スタッカーのディスクをばらします。 ④ディスクカバーを閉じ、ディスクを再発行します。 ディスクを取り出さずに電源をオン / オフしないでください。本製品が故障するおそれがあります。

<table>
<tr><th colspan="8">ランプ</th><th rowspan="3">状態 / 対処方法</th></tr>
<tr><th rowspan="2">電源</th><th rowspan="2">ビジー</th><th rowspan="2">エラー</th><th rowspan="2">インク</th><th colspan="4">スタッカー</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr>
<tr><td rowspan="3">◐</td><td rowspan="3">●</td><td rowspan="3">◐</td><td rowspan="3">●</td><td rowspan="3">●</td><td rowspan="3">●</td><td rowspan="3">●</td><td rowspan="3">●</td><td>アームが搬送中にディスクを落としたか、エラーが発生しました。
以下の手順で対処してください。
①本製品の電源をオフにします。
②ディスクを取り除きます。
③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。

何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>アームがディスクの排出に失敗しました。
以下の手順で対処してください。
①本製品の電源をオフにします。
②ディスクを取り出します。
アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。
アームがピックしているディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。
それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。
ディスクがドライブトレイやプリンタートレイ内に取り残された場合は、本書 121 ページ「ディスクが出てこない」を参照し、ディスクを取り出してください。

何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>内部エラーが発生しました。
以下の手順で対処してください。
①本製品の電源をオフにします。
②ディスクカバーを開け、内部に異物があれば取り除き、ディスクカバーを閉じます。
アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。
アームがピックしているディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。
③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。

何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</td></tr>
</table>

スタッカーに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
								PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ **標準モード時、または外部排出モード(排出先をスタッカー4に設定)時にスタッカー3がセットされています。** スタッカー 3 を取り外してください。
								スタッカー 1 が正しくセットされていません。 スタッカー 1 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 1 を正しくセットしてください。
								スタッカー 2 が正しくセットされていません。 スタッカー 2 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 2 を正しくセットしてください。
								PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ **外部排出モード(排出先をスタッカー 3 に設定)時、またはバッチ処理モード時にスタッカー 3 が正しくセットされていません。** スタッカー 3 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 3 を正しくセットしてください。
								スタッカー 1 のディスクがなくなりました。 スタッカー 1 にディスクを補充してください。
								スタッカー 2(供給元として使用)のディスクがなくなりました。 スタッカー2(供給元)にディスクを補充してください。
								スタッカー 1 のディスクが多すぎます。 セットしたディスクがスタッカーの赤い線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。
								スタッカー 2(供給元として使用)のディスクが多すぎます。 セットしたディスクがスタッカーの赤い線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。
								スタッカー 3 のディスクが多すぎます。 スタッカー3のディスクをすべて取り出してください。
								スタッカー 2(排出先として使用)のディスクがフル(一杯)になりました。 スタッカー 2(排出先として使用)に排出された作成済みディスクを取り出してください。
								スタッカー 3 がフル(一杯)になりました。 スタッカー 3 の作成済みディスクを取り出してください。
								スタッカー 4 がフル(一杯)になりました。(PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ) スタッカー 4 から作成済みディスクを取り出してください。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	◐	スタッカー 4 が引き出されています。(PP-100II/PP-100/PP-100AP のみ) スタッカー 4 を閉じてください。

供給元スタッカーのディスクがなくなるとスタッカーランプが点滅しますが、点滅開始のタイミングはディスクがなくなるタイミングより少し前後することがあります。

インクに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	◐	●	●	●	●	**点滅している色のインクの残量が少なくなりました。** 新しいインクカートリッジを用意してください。インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。
●	●	●	●	●	●	●	●	**点灯している色のインクが交換時期になりました。または点灯している色のインクカートリッジが正しくセットされていません。** インクカートリッジを交換、またはセットし直してください。インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。 本製品は、プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には、多少のインクが残ります。 インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。 インクカートリッジの交換方法は、本書 74 ページ「インクカートリッジの交換方法」を参照してください。

プリンターに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
								メンテナンスボックスの交換時期になりました。またはメンテナンスボックスが正しくセットされていません。(PP-100II/PP-100AP のみ) メンテナンスボックスを交換、またはセットし直してください。メンテナンスボックスを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着していることがあります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。 メンテナンスボックスの交換方法は、本書 96 ページ「交換方法」を参照してください。
								インク吸収材の交換時期になりました。(PP-100/PP-50 のみ) インク吸収材は、お客様ご自身による交換はできません。エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								プリンターメンテナンスエラーが発生しました。 詳細は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ドライブに関するエラー(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
								ドライブトレイの開閉に失敗しました。 以下の手順で対処してください。 ①本製品の電源をオフにし、電源コードを抜きます。 ②ディスクカバーを開け、内部に異物があれば取り除き、ディスクカバーを閉じます。 ③電源コードを差し込み、電源をオンにします。 ④ディスクを再発行します。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								ドライブで内部エラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。 ①本製品の電源をオフにし、電源コードを抜きます。 ②ディスクカバーを開け、内部に異常がないか確認してディスクカバーを閉じます。 ③電源コードを差し込み、電源をオンにします。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	**書き込みエラーが発生しました。** 以下の手順で対処してください。 ①書き込みをしたディスクに問題がないか確認し、問題があればディスクを交換してから、JOB を再開します。 ②背面の冷却用ファンフィルターにホコリが溜まっていないか確認します。ホコリが付いている場合は清掃してから、JOB を再開します。 詳細は、本書 90 ページ「通風孔のお手入れ（PP-100II/PP-100/PP-50 のみ）」を参照してください。 ③ PP-100II の場合、メンテナンス情報を確認し、ドライブが交換時期になっていたら交換します。 メンテナンス情報の確認方法は、本書 93 ページ「メンテナンス情報の確認」を参照してください。ドライブの交換方法については、本書 100 ページ「ドライブの交換（PP-100II のみ）」を参照してください。 それでも解決しない場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								不正ディスクを検出しました。 以下の項目を確認してください。 ① EPSON Total Disc Utility で設定したディスク種類と、ドライブに搬送されたディスクの種類は同じですか？ ディスクの種類が異なる場合は、EPSON Total Disc Utility で設定したディスクと同じ種類のディスクを使用してください。設定手順は、本書 12 ページ「本製品のプロパティー設定」を参照してください。 ②ディスクの容量が不足していませんか？ 書き込むデータに対し、容量が十分なディスクを使用してください。 ③ブランクディスクを使用していますか？ すでにデータが書き込まれているディスクは使用できません。ブランクディスクを使用してください。 以上を確認しても問題が解決されない場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

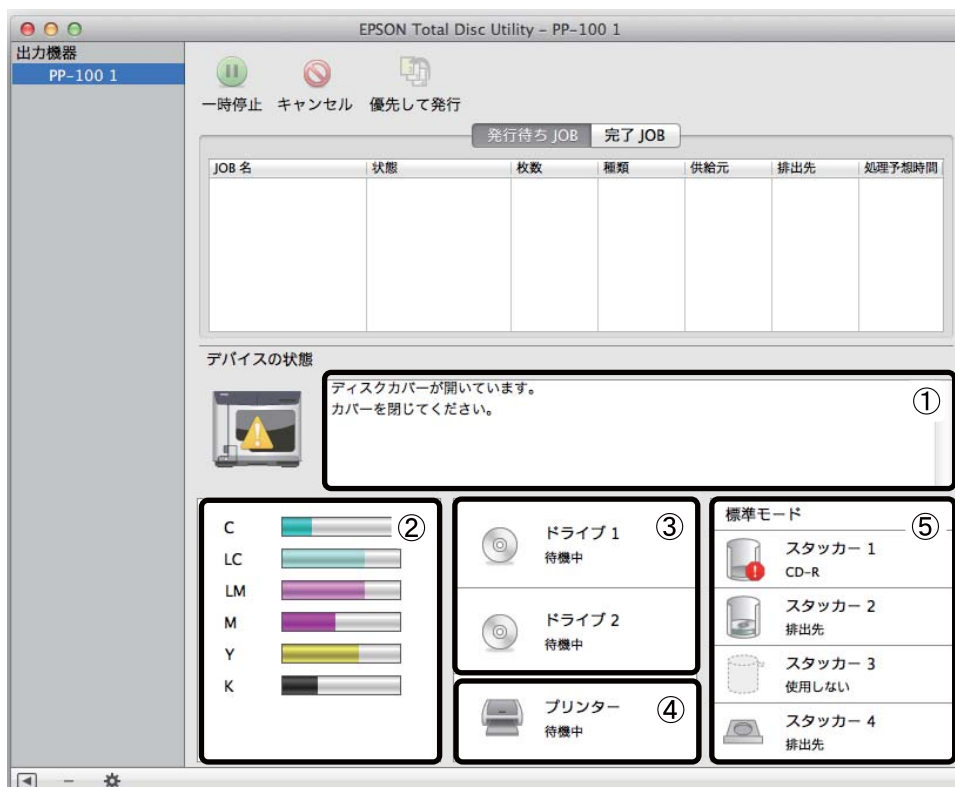
その他のエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
◐	●	◐	●	●	●	●	●	状態不正エラーが発生しました。 本製品の電源を入れ直してください。

参考

処置した後もエラーが続くときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

EPSON Total Disc Utilityで確認する

EPSON Total Disc Utility で本製品の状態とエラーの対処方法を確認できます。
EPSON Total Disc Utility の 起動方法は、本書24ページ「EPSON Total Disc Utilityの起動」を参照してください。

①	操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。 表示される対処方法を参考にし、本製品を確認してください。
②	インクの状態	インク残量が表示されます。 が表示されたときは、インク残量が少なくなっています。新しいインクカートリッジを用意してください。が表示されたときは、インク交換時期です。新しいインクと交換してください。インクカートリッジ交換の詳細は、本書 73 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。
③	ドライブの状態 (PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)	ドライブの状態が表示されます。 が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、本製品のドライブを確認してください。
④	プリンターの状態	プリンターの状態が表示されます。 が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、本製品のプリンターを確認してください。が表示されたときは、をクリックして表示されるメッセージを確認してください。
⑤	スタッカーの状態	スタッカーの状態が表示されます。 が表示されたときは、供給元スタッカー内のディスクが少なくなっているか、排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいています。供給元スタッカーのディスクが少なくなっている場合は、新しいディスクを用意してください。排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいている場合は、次の JOB を発行する前にディスクを取り出しておくことをお勧めします。が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、スタッカーおよびディスクを確認してください。

ディスクが発行できない

EPSON Total Disc Maker で [発行] をクリックしてもディスクが発行されない、または本製品が動作しない場合は、以下のチェックをしてください。

チェック 1: EPSON Total Disc Utility をチェック

EPSON Total Disc Utility にエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON Total Disc Utility で、接続されている本製品の状態を確認し、エラーが発生している場合は対処してください。

EPSON Total Disc Utility の詳細は、以下を参照してください。

- 本書 24 ページ「EPSON Total Disc Utility」
- EPSON Total Disc Utility のヘルプ

チェック 2: 本製品をチェック

電源ランプは点灯していますか？

電源ランプが点灯していない場合は、本製品の電源がオフになっています。

本書 103 ページ「電源 / 操作パネルのトラブル」を参照し、電源をオンにしてください。

操作パネルのランプが点滅 / 点灯していませんか？

操作パネルのエラーランプ、インクランプ、およびスタッカーランプが点滅 / 点灯している場合は、本製品に何らかのエラーが発生しています。

エラー内容の確認、対処方法は、本書 109 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。

チェック 3: 本製品とパソコンの接続をチェック

USB ケーブルが外れていませんか？

USB ケーブルが接続されているかを確認してください。また、USB ケーブルが断線していないか、折れ曲がっていないか確認してください。

USB ケーブルがパソコンや本製品の仕様に対応していますか？

本製品に同梱されている以外の USB ケーブルをご使用の場合は、USB ケーブルが仕様に対応しているかを確認してください。

- Hi-Speed USB 規格準拠の USB インターフェイス
- Hi-Speed USB パフォーマンスを確保した USB インターフェイス

ATI 製チップセットの Hi-Speed USB インターフェイスは未対応です。本製品が動作しないチップセットについては、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/disc/）を確認してください。

USB ハブを使用していませんか？

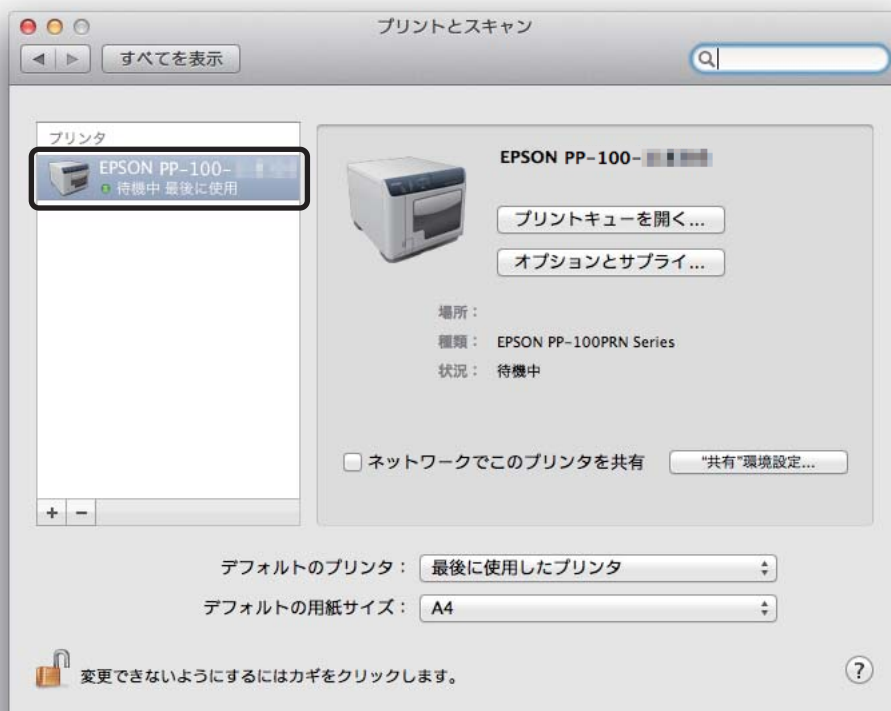
USB ケーブルは、USB ハブを中継せずに直接パソコンに接続してください。

チェック 4: プリンタードライバーの設定をチェック

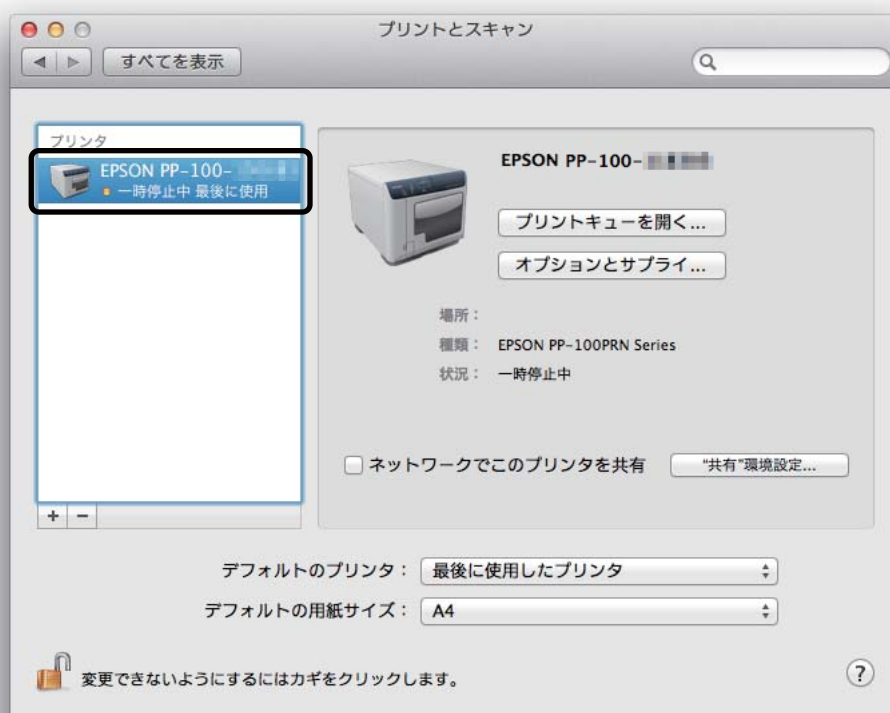
プリンタードライバーは、登録されていますか？

1 Dock の [システム環境設定] をクリックします。

2 [ハードウェア]の [プリントとスキャン](Mac OS X v10.6の場合は[プリントとファックス]）をクリックします。

3 [プリンタ] に [EPSON PP-xxx-xxxxxx] があることを確認します。

[EPSON PP-xxx-xxxxxx] がない場合は、プリンターが登録されていません。本書 10 ページ「プリンターの登録」を参照し、プリンターを登録してください。

プリンターが一時停止になっていませんか？

[EPSON PP-xxx-xxxxxx] に [一時停止中] と表示されている場合は、以下の手順でプリンターを再開してください。

1 [EPSON PP-xxx-xxxxxx] を選択し、[プリントキューを開く ...] をダブルクリックします。

2 [プリンタを再開] をクリックします。

上記をすべて確認しても解決しないときは、ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性があります。ソフトウェアをアンインストール（削除）し、再度インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、本書 19 ページ「ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

ソフトウェアのインストール方法は、本書 7 ページ「インストール手順」を参照してください。

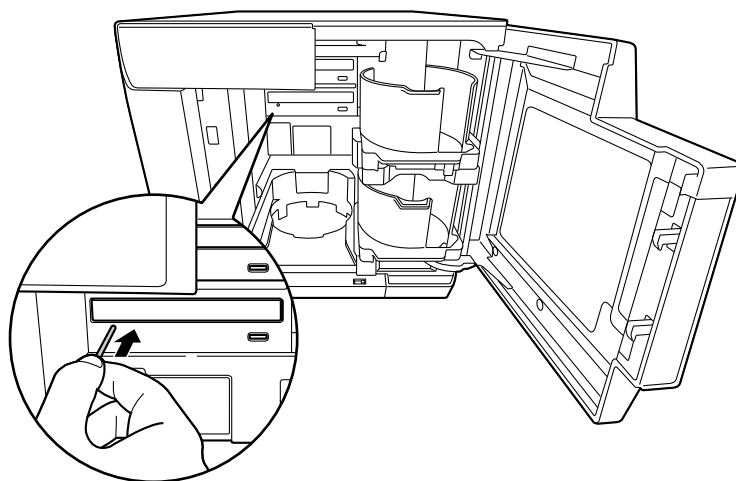
それでもトラブルが解決しないときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

ディスクが出てこない

ドライブトレイまたはプリンタートレイが出てこないためにディスクが排出されない場合は、以下の操作を行ってください。

ドライブトレイが出てこない（PP-100II/PP-100/PP-50 のみ）

本製品の電源を入れ直してください。それでもドライブトレイが出てこない場合は、以下の操作を行ってください。

1. 電源をオフにします。
   本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
2. 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. ディスクの回転が止まるまで約 1 分間待ち、ディスクカバーを開けます。
4. ドライブのイジェクト穴に硬いピンを差し込んでトレイを開けます。

> **注意** イジェクト穴にピンを差し込むときは、必ず本製品の電源をオフにしてください。

5. ディスクを取り出し、ドライブトレイを軽く押して閉じます。

> **注意** ドライブトレイを開けたまま本製品の電源をオンにすると、本製品が破損するおそれがあります。
> ドライブトレイは必ず閉じてください。

6. ディスクカバーを閉じます。
7. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

プリンタートレイが出てこない

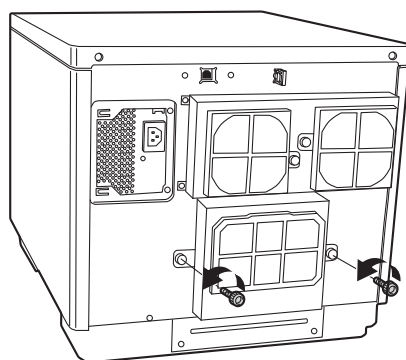
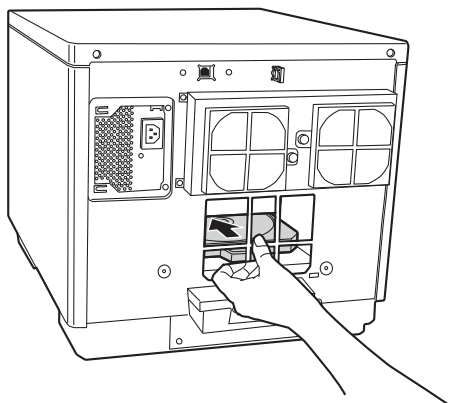
本製品の電源を入れ直してください。それでもプリンタートレイが出てこない場合は、以下の操作を行ってください。

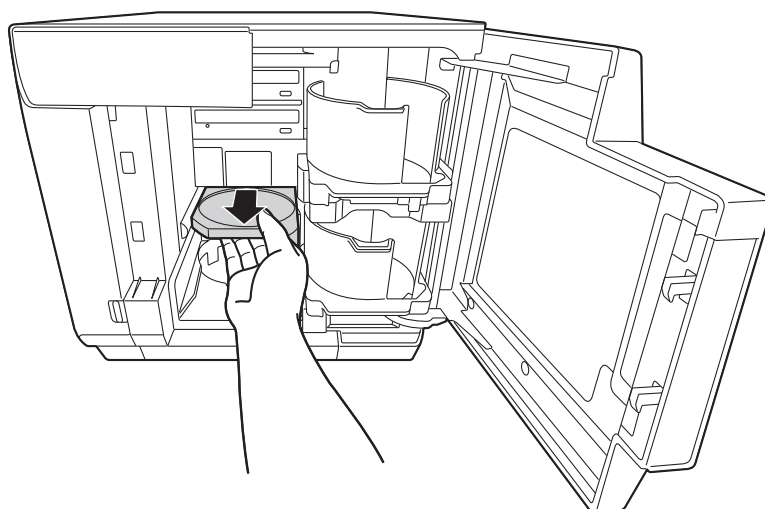
PP-100II の場合

1 電源をオフにします。

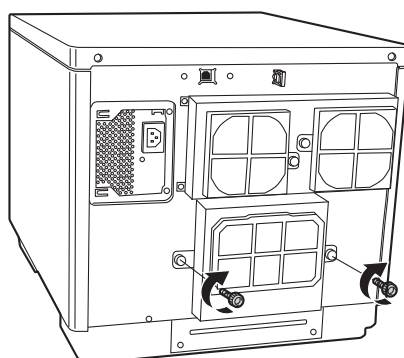
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 2 個のネジを緩め、メンテナンスボックスカバーを取り外します。

4 プリンタートレイを前方向に押し出します。

5 ディスクカバーを開けます。

6 プリンタートレイを引き出します。

7 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉めます。

プリンタートレイは、手順 9 で電源をオンにすると自動で閉まります。

8 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

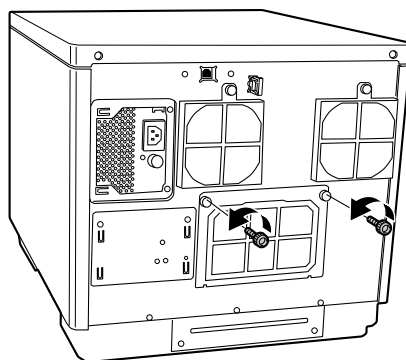
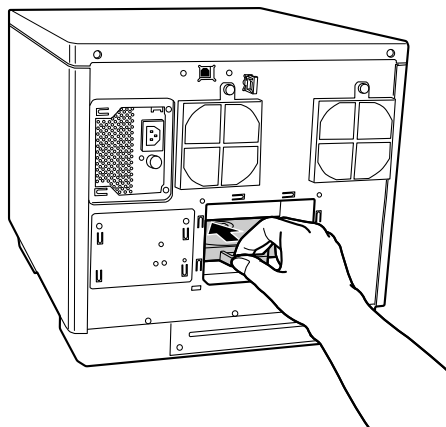
PP-100/PP-50 の場合

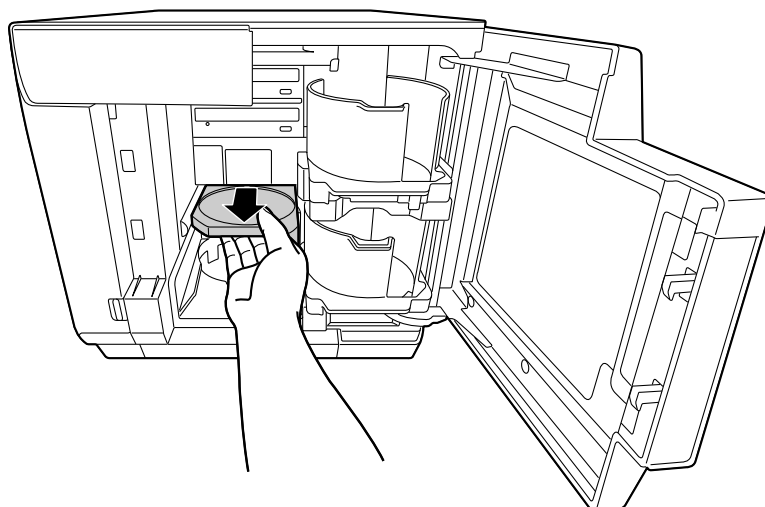
1 電源をオフにします。

本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

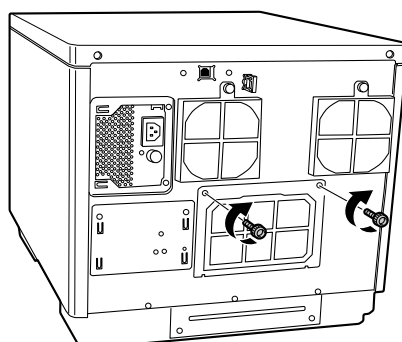
2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 2 個のネジを緩め、背面プリンターカバーを取り外します。

ディスクが取り出せる場合は、ディスクを取り出し、背面プリンターカバーを取り付けてください。取り出せない場合は、次の手順に進んでください。

4 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

5 ディスクカバーを開けます。

6 プリンタートレイを引き出します。

7 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉じます。

プリンタートレイは、手順 9 で電源をオンにすると自動で閉じます。

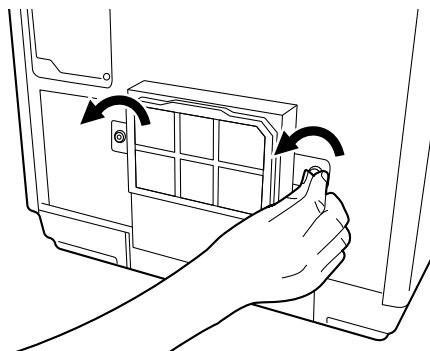
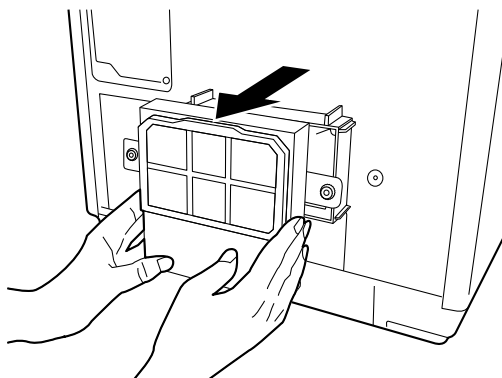
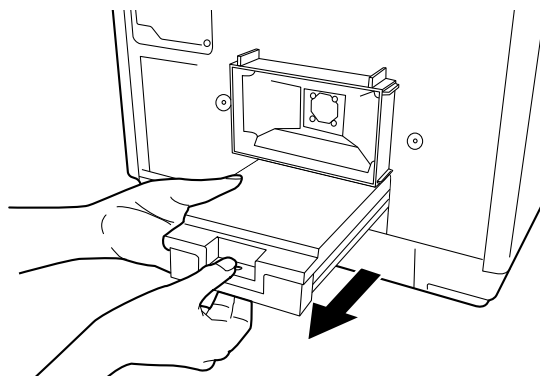
8 背面プリンターカバーを取り付けます。

9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

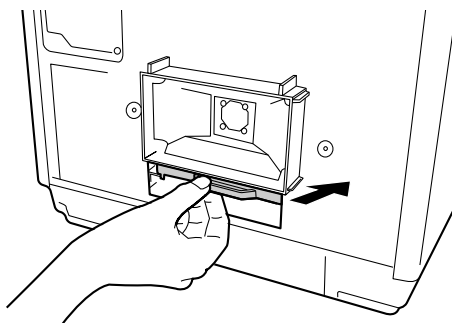
PP-100AP の場合

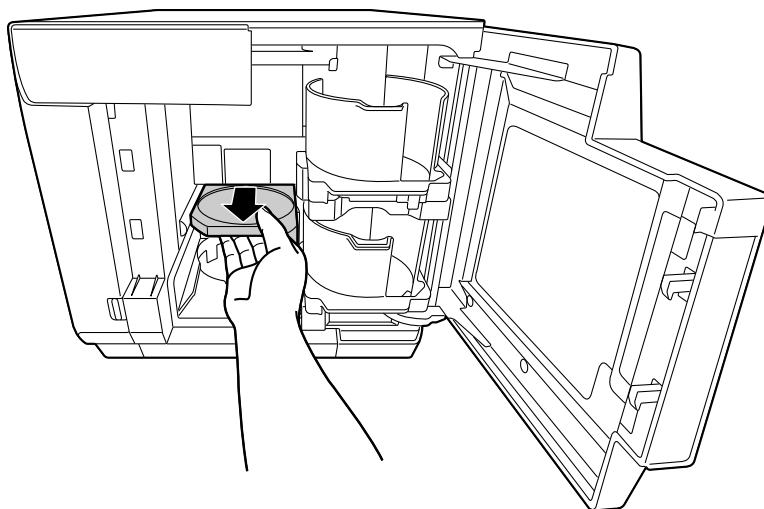
1 電源をオフにします。

本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

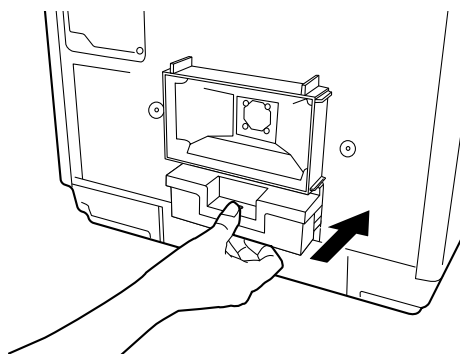
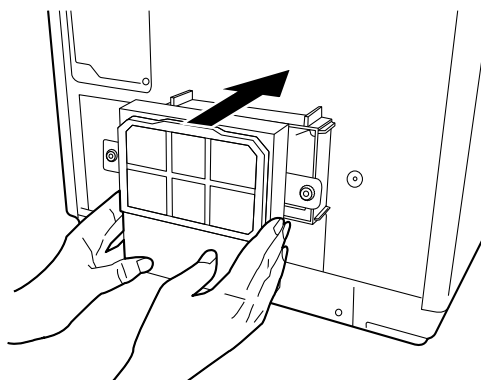
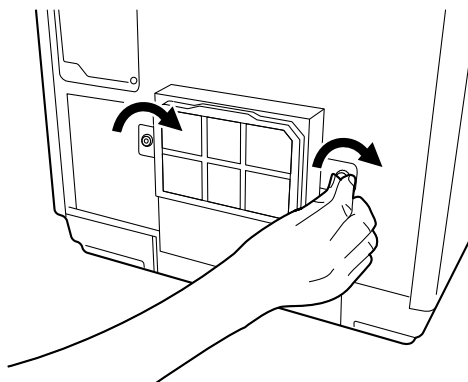
2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 背面の２個のネジを緩めます。

4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

注意	・メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。 ・本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

7 ディスクカバーを開けます。

8 プリンタートレイを引き出します。

9 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉じます。

プリンタートレイは、手順 13 で電源をオンにすると自動で閉じます。

10 メンテナンスボックスを取り付けます。

11 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

12 2 個のネジを締めます。

13 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

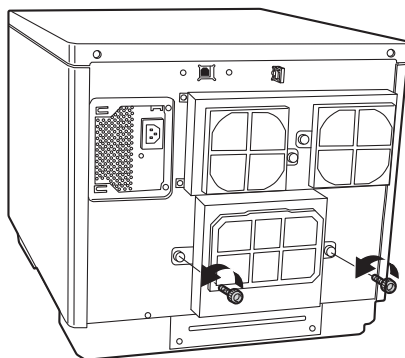
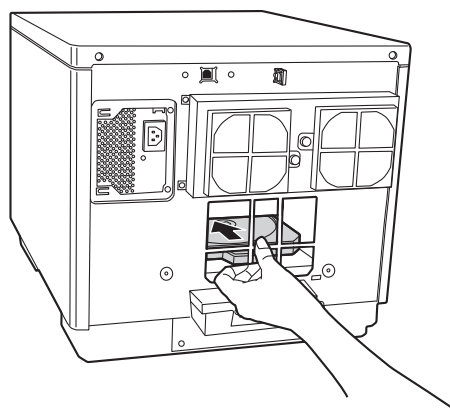
ディスクの記録面がインクで汚れる

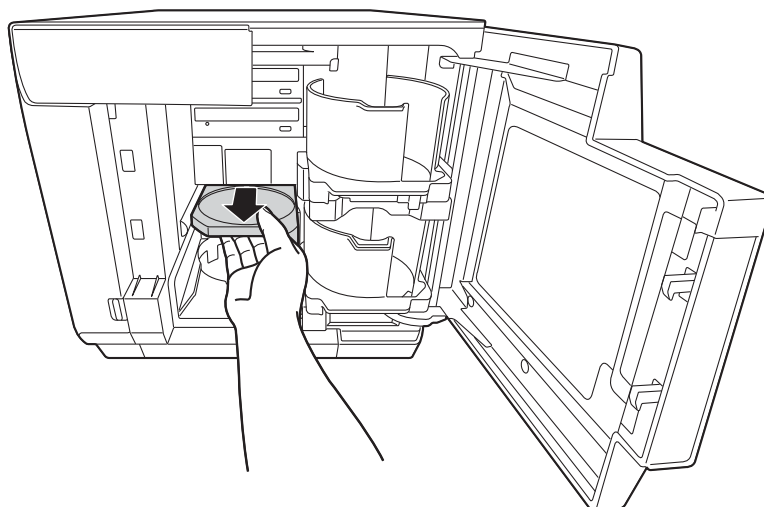
ディスクの記録面がインクで汚れる場合は、プリンタートレイが汚れている可能性があります。以下の手順で、プリンタートレイのお手入れをしてください。

PP-100II の場合

1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

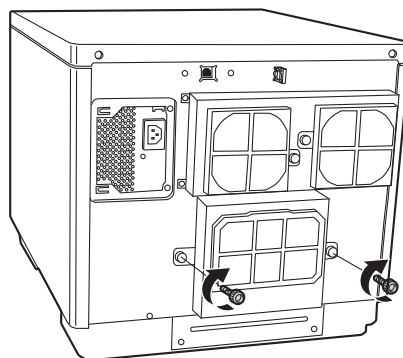
2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 2 個のネジを緩め、メンテナンスボックスカバーを取り外します。

4 プリンタートレイを前方向に押し出します。

5 ディスクカバーを開けます。

6 プリンタートレイを引き出します。

7 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

8 ディスクカバーを閉じます。

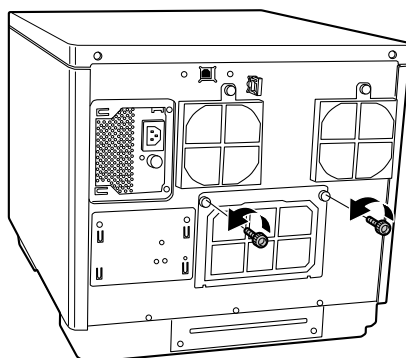
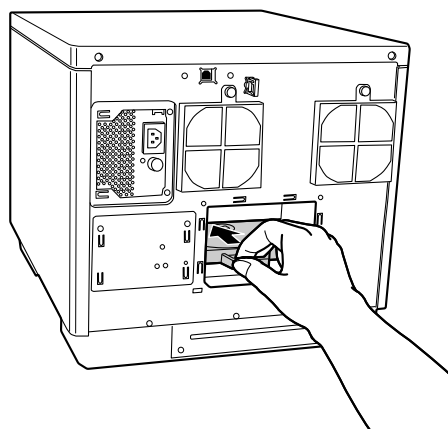
プリンタートレイは、手順 10 で電源をオンにすると自動で閉じます。

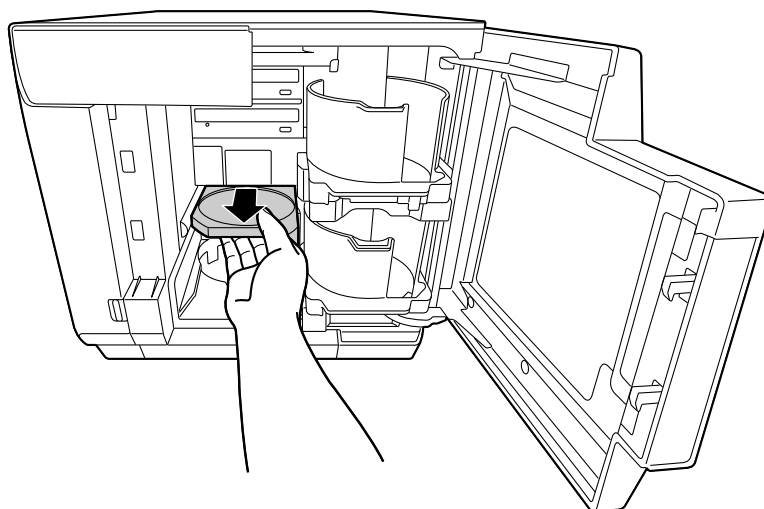
9 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

10 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

PP-100/PP-50 の場合

1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

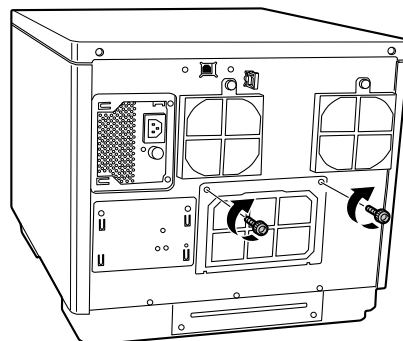
2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 2 個のネジを緩め、背面プリンターカバーを外します。

4 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

5 ディスクカバーを開けます。

6 プリンタートレイを引き出します。

7 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

8 ディスクカバーを閉じます。

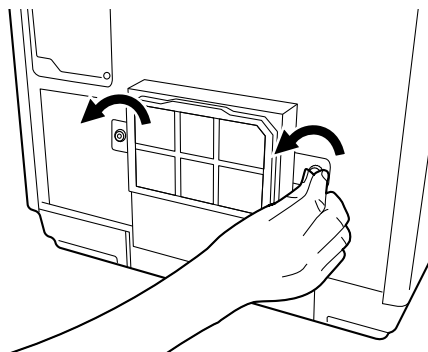
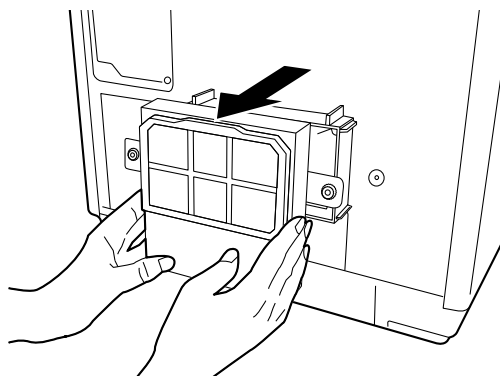
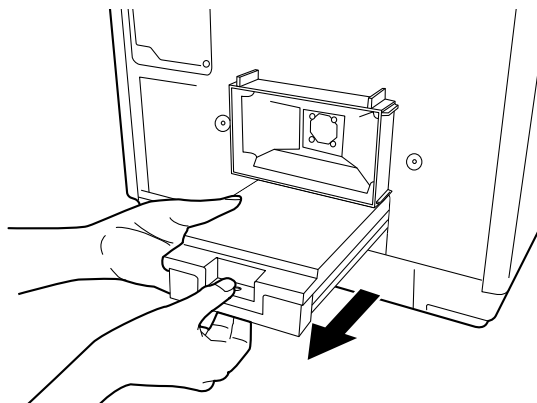
プリンタートレイは、手順 10 で電源をオンにすると自動で閉じます。

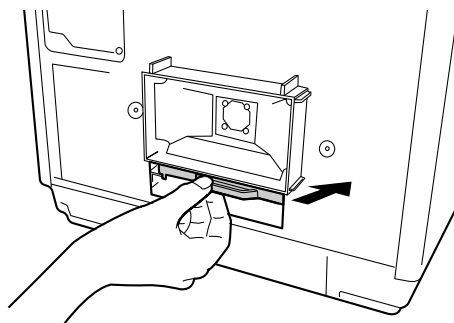
9 背面プリンターカバーを取り付けます。

10 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

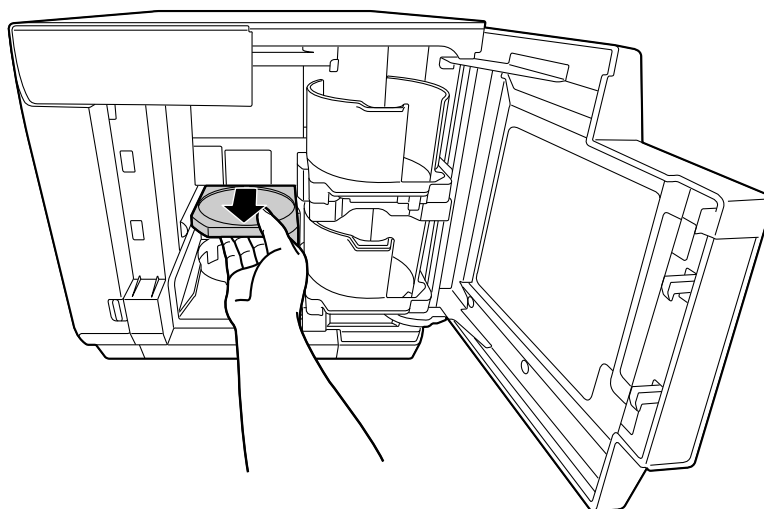
PP-100AP の場合

1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

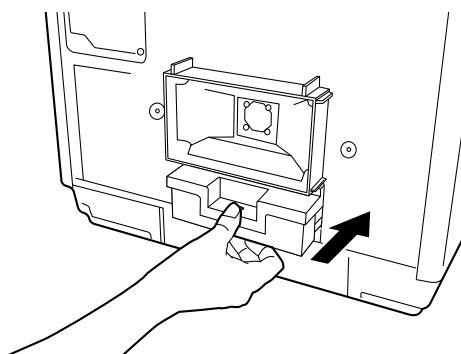
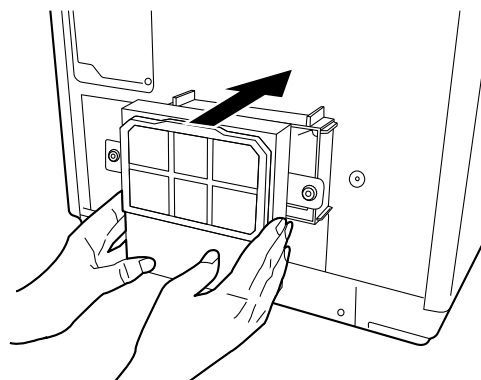
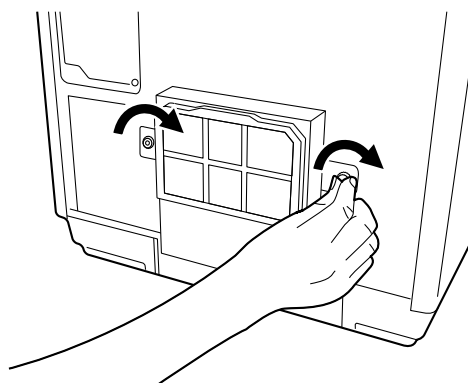
3 背面の２個のネジを緩めます。

4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

注意	・メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。 ・本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

7 ディスクカバーを開けます。

8 プリンタートレイを引き出します。

9 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

10 ディスクカバーを閉じます。

プリンタートレイは、手順 14 で電源をオンにすると自動で閉じます。

11 メンテナンスボックスを取り付けます。

12 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

13 2 個のネジを締めます。

14 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

- 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダー契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタードライバーやマニュアルは、エプソンのホームページ上で提供されています。

アドレス	http://www.epson.jp/

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンターに関するさまざまなご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間および電話番号につきましては本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナー、デジタルカメラ、プリンターそしてパソコン。分厚い解説本を見た途端、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。

エプソンデジタルカレッジ	http://www.epson.jp/school/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書 103 ページ「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後６年間です。

※ 改良などにより、予告なしに外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間	午前 9：00 ～午後 5：30 月曜日～金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

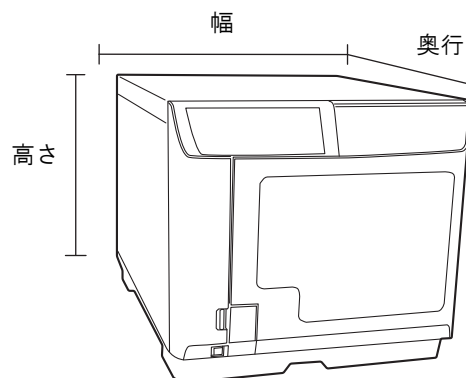
保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンター、またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理の都度発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理をいたします。 • 修理の都度発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 * 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償 （出張料のみ）	出張料＋技術料＋部品代を修理完了後、その都度お支払いください。
持込／送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代を修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

製品仕様

基本仕様

外形・質量

PP-100II

項目	内容
外形寸法	377mm（幅）x 493mm（奥行き）x 348mm（高さ）
質量	約 24kg（スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。）

PP-100

項目	内容
外形寸法	377mm（幅）x 465mm（奥行き）x 348mm（高さ）
質量	約 24kg（スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。）

PP-100AP

項目	内容
外形寸法	377mm（幅）x 465mm（奥行き）x 348mm（高さ）
質量	約 22kg（スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。）

PP-50

項目	内容
外形寸法	377mm（幅）x 465mm（奥行き）x 324mm（高さ）
質量	約 21kg（スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。）

注意 本製品は、メッキ鋼板を使用しているため、端面にサビが発生することがありますが、本来の機能を損なうものではありません。

JOB 処理能力

下記は Mac OS X v10.7 の場合です。JOB 処理能力は、使用環境によって異なります。

注意	使用するディスクやパソコンにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。（記録品質確保のため）

PP-100II/PP-100

項目		内容
書き込みと印刷	CD	30 枚 /H 条件：EPSON 認定 CD-R 使用、ドライブ速度 40 倍速、書き込みデータの容量600MB、速い / 双方向印刷のとき
	DVD	15 枚 /H 条件：EPSON 認定 DVD-R 使用、ドライブ速度 12 倍速、書き込みデータの容量3.8GB、速い / 双方向印刷のとき

PP-100AP

項目		内容
印刷	印刷モード設定（きれい / 速い）：3	95 枚 /H 条件：双方向印刷のとき
	印刷モード設定（きれい / 速い）：2	75 枚 /H 条件：双方向印刷のとき
	印刷モード設定（きれい / 速い）：1	50 枚 /H 条件：双方向印刷のとき

PP-50

項目		内容
書き込みと印刷	CD	15 枚 /H 条件：EPSON 認定 CD-R 使用、ドライブ速度 40 倍速、書き込みデータの容量600MB、速い / 双方向印刷のとき
	DVD	8 枚 /H 条件：EPSON 認定 DVD-R 使用、ドライブ速度 12 倍速、書き込みデータの容量3.8GB、速い / 双方向印刷のとき

接続台数

項目			内容
PC 1 台に対する接続台数 *	書き込みと印刷	CD	3 台まで
		DVD	1 台
	印刷のみ		4 台まで

* 接続 PC1 台からの発行 JOB を同時に処理できる台数（動作保証台数）です。
PP-50 は複数台接続することはできません。

印刷仕様

項目			内容
印刷方式			オンデマンドインクジェット方式
ヘッドノズル数		ブラック シアン マゼンタ イエロー ライトシアン ライトマゼンタ	180 ノズル 180 ノズル 180 ノズル 180 ノズル 180 ノズル 180 ノズル
印刷解像度	PP-100II/PP-100/PP-50	印刷モード設定（速い / きれい）:1	1,440 x 1,440dpi
		印刷モード設定（速い / きれい）:2	1,440 x 720dpi
	PP-100AP	印刷モード設定（速い / きれい）:1	1,440 x 1,440dpi
		印刷モード設定（速い / きれい）:2	1,440 x 720dpi
		印刷モード設定（速い / きれい）:3	720 x 720dpi
印刷方向			双方向印刷、単方向印刷

dpi：25.4mm あたりのドット数（dots per inch）

インクカートリッジ

項目		内容	
形態		各色別体型インクカートリッジ	
色		ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ	
推奨使用期限		個装箱に記載されている期限。開封から 6ヶ月以内	
保存温度	個装保存時	-20 ℃～ 40 ℃	40 ℃の場合は 1ヶ月以内
	本体装着時	-20 ℃～ 50 ℃	50 ℃の場合は 1ヶ月以内
	個装輸送時	-20 ℃～ 60 ℃	60 ℃の場合は 5 日間以内
寸法		42.0mm（幅） x 83.0mm（奥行き） x 26.4mm（高さ）	
インク		染料インク	

ドライブ仕様(PP-100II/PP-100/PP-50 のみ)

項目		内容
搭載数		PP-100II/PP-100:2 台　PP-50:1 台
ローディング方式		トレイ式
書き込み速度	CD-R	40 倍 /32 倍 /24 倍 /16 倍 /10 倍 /4 倍
	DVD-R	12 倍 /8 倍 /6 倍 /4 倍 /2.4 倍 /2 倍 /1 倍
	DVD+R	12 倍 /8 倍 /6 倍 /4 倍 /2.4 倍 /2 倍 /1 倍
	DVD-R DL	8 倍 /6 倍 /4 倍 /2.4 倍 /2 倍
	DVD+R DL	8 倍 /6 倍 /4 倍 /2.4 倍 /2 倍

注意

- DVD-R または DVD-R DL を使用する場合、書き込み速度を 2.4 倍に設定しても、実際には 2 倍速で書き込みが行われます。
- DVD+R または DVD+R DL を使用する場合、書き込み速度を 2.0 倍に設定しても、実際には 2.4 倍速で書き込みが行われます。
- 本製品のドライブで作成した CD/DVD は、ドライブやプレーヤーとの相性により認識、再生、読み込みされないことがあります。
- ディスクの読み込み中や書き込み中に、振動や衝撃を与えないでください。ドライブが故障したり、ディスクが使用できなくなったりするおそれがあります。
- CD/DVD ドライブにマイナスドライバーやクリップなどの異物は挿入しないでください。故障の原因になります。
- 使用するディスクやパソコンにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。(記録品質確保のため)

電気関係

項目		内容			
		PP-100II	PP-100	PP-100AP	PP-50
定格電圧		AC100V			
定格周波数		50Hz ～ 60Hz			
定格電流		1.0A			
消費電力	動作時平均	約 52W	約 41W	約 30W	約 40W
	待機時平均	約 27W	約 24W	約 20W	約 28W
適合規格、規制		VCCI Class A JIS C 61000-3-2	VCCI Class B JIS C 61000-3-2		VCCI Class A JIS C 61000-3-2
電源コード		AC ケーブル（同梱）			

環境条件

項目			内容
温度 / 湿度	動作時	10 ℃～ 35 ℃	40 ℃の場合：1ヶ月以内 60 ℃の場合：120 時間以内
	保存時	-20 ℃～ 40 ℃	
	輸送時	-20 ℃～ 60 ℃	
	動作時	20%～ 80%RH	結露のないこと
	保存時	5%～ 85%RH	結露のないこと
	輸送時	5%～ 85%RH	結露のないこと
	動作保証領域		以下の条件による 27 度 55% 湿度（%） 温度（℃）

インターフェイス

項目	内容
規格	USB 2.0
通信速度	• Hi-Speed（480 Mbps） • Full-Speed（12 Mbps）

消耗品

本製品で使用可能な消耗品およびオプション品の紹介をします。以下の記載内容は 2013 年 4 月現在のものです。

EPSON 認定ディスク

ディスクの品質が印刷 / 書き込みの品質に影響することがあります。EPSON 認定 CD/DVD のご使用をお勧めします。EPSON 認定 CD/DVD は、以下の通りです。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
< http://www.epson.jp/disc/ >

- CD-R：CDR80WPPSB-WS（太陽誘電株式会社）
- DVD-R：DVD-R47WPPSB16-WS（太陽誘電株式会社）

注意　上記 EPSON 認定ディスクをご使用の場合でも、ディスク個体の品質によって書き込みエラーが発生することがあります。

参考　ディスクの取り扱い方法や注意事項については、本書 39 ページ「ディスクの取り扱い」およびディスクの取扱説明書をご覧ください。

インクカートリッジ

インクカートリッジは 6 色あります。本製品で使用可能なインクカートリッジは以下の通りです。
Discproducer シリーズ専用インクは、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
< http://www.epson.jp/disc/ >

色	製品名
シアン	PJIC1（C）
ライトシアン	PJIC2（LC）
ライトマゼンタ	PJIC3（LM）
マゼンタ	PJIC4（M）
イエロー	PJIC5（Y）
ブラック	PJIC6（K）

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

インクカートリッジの回収について

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。
回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。
最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/ >

メンテナンスボックス（PP-100II/PP-100AP）

PP-100II/PP-100AP 専用メンテナンスボックス（PJMB100）は、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
<http://www.epson.jp/disc/>

メンテナンスボックスは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収について

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。

回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。

<http://www.epson.jp/>

ドライブ

PP-100II 専用ドライブは、以下の通りです。製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
＜ http://www.epson.jp/disc/ ＞

- DVD ドライブ：BDR-PR1EPDV（コード：C32C891002）

注意	• PP-100II に上記以外のドライブを絶対に取り付けないでください。PP-100II およびドライブが破損するおそれがあります。 • Mac OS では、PP-100II にオプションの BD ドライブを装着して使用することはできません。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制　－注意－

PP-100/PP-100AP：
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B
PP-100II/PP-50：
この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正･変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

* 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070

・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。　*梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

*引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

*年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8099　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8584へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム

*詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　[illegible]

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。（2013年4月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

2013 年 4 月発行